

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

第10冊

奥の坊遺跡群X
(奥の坊遺跡 VI区 遺物包含層出土遺物編)

二〇一二年三月

2012年3月

高松市教育委員会

例　　言

- 1 本報告書は、高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第10冊で、高松市高松町に所在する奥の坊遺跡VI区（おくのぼういせきろく）の遺物包含層出土遺物の報告を収録した。
- 2 発掘調査地ならびに調査期間は次のとおりである。
調査地：高松市高松町奥ノ坊
発掘調査：1999年12月14日～2000年3月3日
整理作業：2009年1月5日～2011年12月28日
- 3 発掘調査から報告書の編集まで高松市教育委員会教育部文化財課（2007年度までは文化部文化振興課）が行った。発掘調査と遺物の基礎整理を文化財専門員 大嶋和則が担当し、本書の編集を大嶋と協議のうえ、文化財専門員 波多野篤が行つた。なお、本書に掲載した土器・土製品の整理作業と図版作成を文化財調査係長 山元敏裕、土器・土製品の挿図作成と原稿執筆を波多野、石器の整理作業および原稿執筆・図版作成を文化財専門員 舟築紀子が担当した。
- 4 発掘調査から整理作業、報告書執筆を実施するにあたって、下記の方々および関係諸機関から御教示を得た。記して厚く謝意を表する（五十音順、敬称略）。
香川県教育委員会、片岡宏二、川部浩司、地元自治会、地元水利組合、乗松真也、古高松土地改良区
- 5 現地での発掘調査や整理作業にあたっては、下記の方々の御協力を得た。記して厚く謝意を表する（敬称略）。
大野宏和・川部浩司・信吉純恵・増田ゆず・山内康郎（当時 徳島文理大学大学院）、四方大輔・高瀬智充・高崎誠・水田貴士・林田真典（当時 徳島文理大学）、末光甲正（当時 讀岐文化遺産研究会）
- 6 本調査に関連して、以下の業務を委託発注により実施した。
航空写真測量 アジア航測 株式会社（成果品については既刊の報告書に掲載）
遺物写真撮影 西大寺フォト（成果品については本書に掲載）
- 7 挿図として、国土地理院発行1/25,000地形図「高松北部」「高松南部」「五剣山」「志度」を一部改変して使用した。
- 8 本報告の高度値はT.P.を基準とし、座標は国土座標第IV系（日本測地系）に従つた。また、方位は座標北を示す。
- 9 本書で使用している挿図の縮尺は、土器実測図は1/4、石器実測図は1/2を原則とした。石器実測図のアミかけは、使用痕の範囲を示す。また、写真図版における遺物の縮尺はすべて任意である。
- 10 発掘調査で得られたすべての資料は高松市教育委員会で保管している。

本文目次

第1章 調査の経緯と経過		第4章 遺物	
第1節 発掘調査と整理の経過	1	第1節 Ⅲ層出土遺物の概要	10
第2章 地理的・歴史的環境		第2節 土器・土製品	10
第1節 地理的環境	3	第3節 石器	10
第2節 歴史的環境	3		
第3章 調査の概要		第5章 総括	
第1節 調査区の概要と調査方法	6	第1節 土器・土製品について	37
第2節 基本層序	6	第2節 石器について	38
第3節 遺構と遺構出土遺物の概要	9	第3節 まとめ	39

挿図目次

図1 奥の坊遺跡の位置とおもな河川	1	図20 出土土器・土製品 実測図13 (1/2・1/4)	24
図2 東部運動公園整備事業発掘調査地 (1/2,500)	2	図21 出土土器・土製品 実測図14 (1/4)	25
図3 周辺の遺跡分布図 (1/40,000)	4	図22 出土土器・土製品 実測図15 (1/4)	26
図4 VI区 グリッド配置図 (1/600)	6	図23 出土土器・土製品 実測図16 (1/4)	27
図5 北壁土層断面図1 (1/40)	7	図24 E2区出土石器 実測図 (1/2)	28
図6 北壁土層断面図2 (1/40)	8	図25 E3区出土石器 実測図 (1/2)	29
図7 調査区 平面図 (1/250)	11	図26 F5区出土石器 実測図 (1/2)	29
図8 出土土器・土製品 実測図1 (1/2・1/4)	12	図27 E4区出土石器 実測図 (1/2)	30
図9 出土土器・土製品 実測図2 (1/4)	13	図28 G2区出土石器 実測図 (1/2)	30
図10 出土土器・土製品 実測図3 (1/4)	14	図29 F3区出土石器 実測図 (1/2)	31
図11 出土土器・土製品 実測図4 (1/2・1/4)	15	図30 F4区出土石器 実測図1 (1/2)	32
図12 出土土器・土製品 実測図5 (1/4)	16	図31 F4区出土石器 実測図2 (1/2)	33
図13 出土土器・土製品 実測図6 (1/2・1/4)	17	図32 G3区出土石器 実測図 (1/2)	34
図14 出土土器・土製品 実測図7 (1/4)	18	図33 G4区出土石器 実測図 (1/2)	35
図15 出土土器・土製品 実測図8 (1/4)	19	図34 Ⅲ層出土石器 実測図 (1/2)	36
図16 出土土器・土製品 実測図9 (1/4)	20	図35 F2区出土石器 実測図 (1/2)	36
図17 出土土器・土製品 実測図10 (1/2・1/4)	21	図36 G5区出土石器 実測図 (1/2)	36
図18 出土土器・土製品 実測図11 (1/4)	22	図37 石礫形態	39
図19 出土土器・土製品 実測図12 (1/4)	23		

表目次

表1 東部運動公園整備事業に伴う発掘調査経過	2	表4 土器・土製品 観察表 (1) ~ (10)	42
表2 調査地周辺の遺跡	5	表5 石器 観察表 (1) ~ (3)	52
表3 掲載遺物種別点数	39		

写真図版目次

図版1 出土土器1	図版7 出土石器1	図版13 出土石器7
図版2 出土土器2	図版8 出土石器2	図版14 出土石器8
図版3 出土土器3	図版9 出土石器3	図版15 出土石器9
図版4 出土土器4	図版10 出土石器4	図版16 出土石器10
図版5 出土土器5	図版11 出土石器5	図版17 出土石器11
図版6 出土土器6	図版12 出土石器6	図版18 出土石器12

第1章 調査の経緯と経過

第1節 発掘調査と整理の経過

調査地は、高松市の西側に位置する高松町奥ノ坊に所在する。事業全体の経緯と経過、および発掘調査の経緯の詳細については、昨年度までに刊行している同一事業の報告書である『奥の坊遺跡群I～IX』に記しているため、本書では省略する。なお、東部運動公園整備事業に伴い実施した発掘調査の調査区配置図を図2に、調査を実施した期間や各地区的報告書刊行年度などを表1にまとめている。

a. 発掘調査の経過

本書では、1999年度に調査したVI区の調査成果のうち、遺物包含層（Ⅲ層）出土遺物について報告する。なお、VI区の構造と遺構出土遺物については、2010年度に刊行した『奥の坊遺跡群IX』で報告している。本書は、その報告書に掲載することができなかった同一地区の遺物包含層から出土した遺物を報告するものである。

VI区の調査面積は約1,100m²で、VI区の調査は隣接するVII区の調査と並行して実施し、1999年12月14日～2000年3月3日までの期間で行った。

b. 整理作業の経過

VI区の遺物包含層出土遺物の整理作業は次のとおり実施した。2009年1月～2010年3月に遺物実測、2011年4～12月に挿図のレイアウトとトレース、2011年10～12月に原稿の執筆を行った。なお、整理期間中の2011年12月に、VI区の遺物包含層出土遺物の写真撮影を、西大寺フォトに委託して実施した。

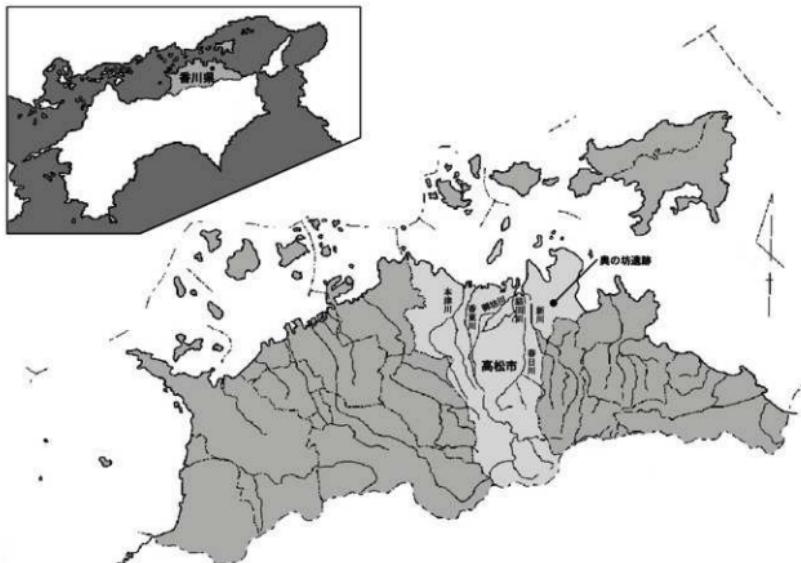


図1 奥の坊遺跡の位置とおもな河川

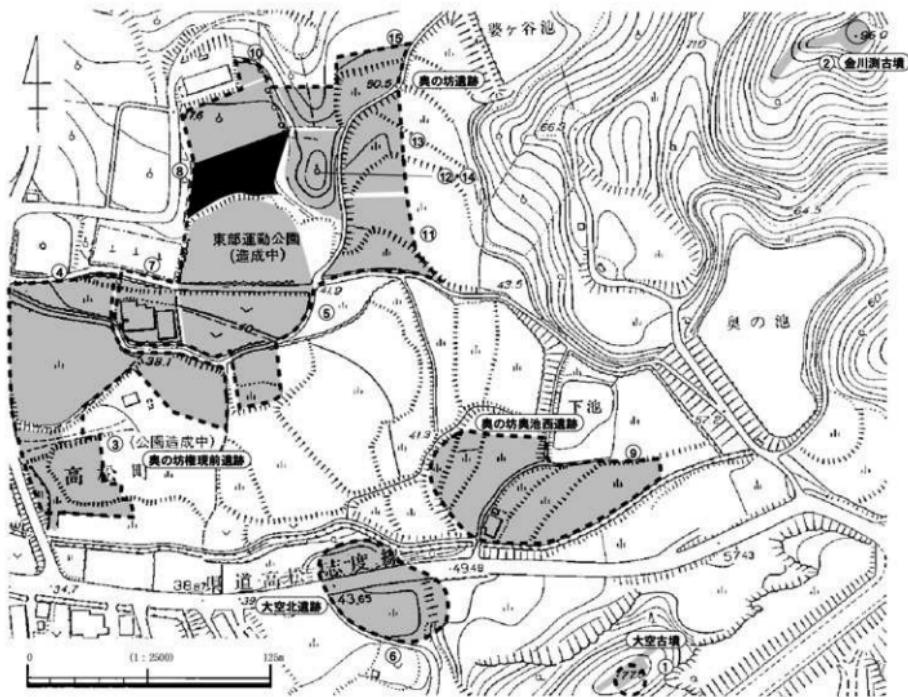


図2 東部運動公園整備事業発掘調査地(1/2,500)

表1 東部運動公園整備事業に伴う発掘調査経過

番号	遺跡名	調査区名	調査期間	調査面積(m ²)	調査方法	報告書シリーズ名(刊行年月)
一	試掘調査	全城	1995. 8. 4~1997. 10. 8	2,997	直営	
①	大空古墳	全城	1996. 2. 14~1996. 2. 23	150	直営	奥の坊遺跡群Ⅰ (1999. 3)
②	金川渓古墳	全城	1996. 2. 23~1996. 3. 8	300	直営	
③	奥の坊現前遺跡	I ~ III	1997. 2. 10~1997. 3. 24	1,560	委託	奥の坊遺跡群Ⅱ (2004. 3)
④	奥の坊現前遺跡	IV ~ VI	1997. 10. 7~1998. 3. 13	5,200	委託	
⑤	奥の坊遺跡	I ~ II	1998. 9. 14~1999. 2. 19	4,900	委託	奥の坊遺跡群V (2006. 12)
⑥	大空北遺跡	III ~ IV				未刊
⑦	奥の坊遺跡	V	1999. 5. 28~1999. 7. 13	700	直営	奥の坊遺跡群VI (2007. 12)
					委託	(遺構・構造出土遺物編) 奥の坊遺跡群IX (2011. 3)
⑧	奥の坊遺跡	VI	1999.11.10~2000. 3. 3	2,300	委託	(遺物包含層出土遺物編) 本書
		VII			委託	奥の坊遺跡群VII (2010. 3)
⑨	奥の坊奥池西遺跡	全城	2000. 4. 17~2000. 7. 25	3,600	直営	奥の坊遺跡群III (2004. 12)
⑩	奥の坊遺跡	VIII	2000. 10. 2~2000. 12. 28	300	直営	奥の坊遺跡群VII (2009. 3)
⑪	奥の坊遺跡	IX	2000. 10. 5~2001. 1. 12	1,180	委託	奥の坊遺跡群VII (2009. 3)
⑫	奥ノ坊古墳群(測量)	全城	2001. 6. 5~2001. 6. 27	—	直営	奥の坊遺跡群IV (2006. 3)
⑬	奥の坊遺跡	X	2001. 8. 27~2002. 1. 18	1,320	委託	奥の坊遺跡群VII (2009. 3)
⑭	奥ノ坊古墳群	全城	2001. 9. 4~2001. 11. 28	1,020	直営	奥の坊遺跡群IV (2006. 3)
⑮	奥の坊遺跡	X I	2002. 4. 2~2002. 7. 5	1,180	直営	奥の坊遺跡群VII (2009. 3)
一	久米池遺跡	全城	2003. 1. 8~2003. 1. 21	200	立会	奥の坊遺跡群IV (2006. 3)

番号は、図2の番号に対応する。

第2章 地理的・歴史的環境

第1節 地理的環境

高松市は香川県のほぼ中央に位置する県都で、2005年9月および2006年1月に近隣6町と合併し、人口約42万人、面積約375km²の新たな高松市が誕生した（図1）。市域の大部分を占めるのが高松平野と呼ばれる平野部で、讃岐山脈に端を発する中小河川によって形成された沖積地である。高松平野には、西から本津川、香東川、御坊川、詰田川、春日川、新川の六河川が瀬戸内海に向けて流れ込んでいる。とりわけ、現在の春日川以西の沖積平野を形成したのが香東川と考えられている。一方、調査地の位置する古高松（高松町・新田町・春日町）地区は春日川と新川に近い地域で、両河川は水量が少なく、平野中央部を流れる香東川のように大規模な扇状地は形成していない。また、古高松地区の北部は、江戸時代初期の干拓により陸地化されたものであり、寛永10（1633）年の『讃岐国絵図』によると、その頃の海岸線はかなり内陸に入り込んでおり、古高松地区的北に位置する屋島は島として描かれている。北を屋島に面した海岸（旧地形による）、東を立石山山塊、南を久米山丘陵、西を春日川によって限られた高松平野北東部の一角は、古代・中世を通じて「高松」（讃岐國山田郡高松郷）と呼ばれたが、天正16（1588）年の生駒親正による高松城築造以後は、城下町の高松に対して「古高松」と呼称されてきた。江戸時代以前の古高松の地形を推定できる史料として、古老の話を元に香西成資が享保4（1719）年に編纂した『南海通記』がある。その中に天正10（1582）年の頃として「…春日ノ里ニ至ル、此所ハ屋島山、石清尾山兩受ノ間、入海ニテ山田郡小山ノ下マデ潮サシ来ル、遠干潟ナ春日里ト木太郷ノ間、海ノ中道アツテ通用ス。…」との記述がある。ここで言う小山とは、現在の高松市新田町小山にあたると考えられ、この小山近辺まで海岸線あるいは河口が湾状に入り込んでいたと想定できる。

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査事業として調査を行った「奥ノ坊」は高松町の北東端にあたり、地形的には旧高松市と旧牟礼町（現、高松市牟礼町）にまたがる標高100～200mの山塊の西側低丘陵地の尾根および谷部に位置する。現在、当地は内陸部としての景観をなすが、上記の推定海岸線を考慮すると海岸から1.0～1.5kmと非常に近い場所に位置するものと考えられる。

第2節 歴史的環境

調査地周辺では、おもに発掘調査によって旧石器時代から近世にかけての遺構・遺物が検出されている（図3）。各時代のおもな遺跡と概要については表2に整理したが、ここでは奥の坊遺跡の集落が最も盛行した弥生時代に限定して、周辺の遺跡を概観する。

奥の坊遺跡の南西側約100mの地点には、奥の坊橈現前遺跡〔4〕が位置する。遺跡の中心は後期前半であるが、調査では中期前半の竪穴住居跡もわずかに検出されており、奥の坊遺跡の集落との密接な関連が想定される。また、奥の坊遺跡から南東へ約450mの地点には、香川県の後期前半の標式となる土器が出土した大空遺跡〔10〕が所在する。

次に調査地の西側を概観すると、調査地の南西約3kmの地点には諏訪神社遺跡〔42〕があり、前期後半頃の環濠と考えられる溝が検出されている。諏訪神社遺跡は標高25～28mの丘陵尾根先端部に営まれた遺跡で、溝はその丘陵を囲むように配置されている。溝の内側には同時期の遺構・遺物はほとんど認められず、一般的な環濠集落とは様相を異にする点が注目される。諏訪神社遺跡では中期前半の溝も確認されているが、中期後半には木棺墓3基を造墓し、遺跡の性格が変化している点にも留意すべきだろう。諏訪神社遺跡から南東へ600mの位置には、中期後半の高地性集落である久米池南遺跡〔40〕がある。久米池南遺跡では、掘立柱建物跡を囲んで竪穴建物跡が構築されており、集落の外縁部には土壙墓が造墓されている。さらに、久米池南遺跡からは鉄斧や絵画土器が出土した点は注目される。一方、調査地から丘陵を隔てて東へ約3kmの地点には、後期から終末期を中心に営まれた原中村遺跡〔45〕が位置し、竪穴建物などを中心とした集落を形成している。また、奥の坊遺跡から東へ約1.5kmの地点には、明治14・15年頃の開墾中に細形銅劍が出土した羽間遺跡〔44〕が位置する。

以上のように、調査地周辺には奥の坊遺跡、奥の坊橈現前遺跡、大空遺跡などの集落が中期から後期にかけて営まれ、さらに調査地から3km圏内には前期から後期にかけての遺跡が点的に分布する状況が読み取れる。いずれも長期間継続する集落や墓域は認められず、高松平野に所在する遺跡全体の動向と同様の傾向である。当事業では広範囲を調査したこと多くの情報が把握できた。高松平野における弥生時代中期の集落の具体的な状況を示す重要な調査例となるだろう。



図3 周辺の遺跡分布図 (1/40,000)

1 奥の坊遺跡	2 奥ノ坊2~4号墳	3 奥ノ坊2~4号墳	4 奥の坊稚貝現前遺跡	5 奥の坊奥池西遺跡	6 大空古遺跡
7 金川原古墳	8 大空古墳	9 スベリ山古墳	10 大空遺跡	11 大空南遺跡	12 長崎鼻古墳
13 千間堂跡	14 屋嶋城	15 滝生石器	16 屋島寺	17 北浜1~3号墳	18 中筋古墳
19 星島中央西古墳	20 屋島中央東古墳	21 金刀比羅宮社城古墳	22 東山地古墳	23 星島経塚	24 濁ノ谷1~3号墳
25 高松（青洞）城跡	26 長尾1~3号墳	27 小山・南谷遺跡	28 新田本村遺跡	29 川南・東遺跡	30 川南・西遺跡
31 小山古墳	32 山下古墳	33 山下廃寺	34 岡山小古墳群	35 岡山古墳群	36 雄谷古墳群
37 南谷遺跡	38 久本古墳	39 久米池遺跡	40 久米池南遺跡	41 高松市茶臼山古墳	42 諏訪神社遺跡
43 罐本神社古墳	44 羽間遺跡	45 原中村遺跡	46 原遺跡		

表2 調査地周辺の遺跡

番号	遺跡名	所在地	概要	文献	
18	旧石器～縄文				
40	久米池南遺跡	新田町	ナイフ型石器が出土。	1	
27	小山・南谷遺跡	新田町	落とし穴式の土坑を14基検出。	2	
5	奥の坊無垢西遺跡	高松町	落とし穴と考へられる壙構を検出。	3	
出生時代					
42	羽訪神社遺跡	前田西町	前期後半期の壙構と考えられる遺構を検出。	4	
44	羽間遺跡	牛乳町	離型銅鏡が出土。	5	
40	久米池南遺跡	新田町	中期後半の埴輪や瓦等が出土。	1	
10	大空古墳	高松町	後期後半の標高となる土器が出土。	6	
4	奥の坊現前遺跡	高松町	製塗土器が出土。	7	
11	大空南遺跡	高松町	労士土器が出土。	8	
37	南谷遺跡	高松町	製塗土器が出土。	9	
27	小山・南谷遺跡	新田町	製塗土器が出土。	2	
46	原遺跡	牛乳町	後期後半の標高となる土器が出土。	10	
45	原中村遺跡	牛乳町	漆が付着した土器が多量に出土。	11	
古墳時代					
42	諏訪神社遺跡	前田西町	堅六式石器を3基検出。	4	
41	高松市葉山古墳	前田西町	全周約3mの方墳形石壙。堅六式石器を2基検出。	12	
12	長崎奉古墳	屋島西町	阿蘇奇石垣造りの石壙が出土。	13	
31	小山古墳	新田町	複室造を特徴とする古墳。	9	
32	山下古墳	新田町	巨大的天井石で石室を構築した古墳。	14	
43	高松本吉古墳	前田西町	T字型の石室。	15	
38	久木古墳	新田町	石壙を有し、鏡内型の亀甲型陶棺を設置。	16	
26	長谷古墳群	高松町	壙形は円墳で、崩穴式石室。	9	
35	岡山古墳群	新田町	前方後円墳と円墳からなる古墳群。	9	
34	岡山古墳群	新田町	円墳5基からなる古墳群。	9	
36	藤谷古墳群	新田町	円墳3基からなる古墳群。	17	
5	2・3	奥の坊古墳群	高松町	円墳からなる古墳群。	18
8	大空古墳	高松町	直徑11mの円墳。	6	
7	金川瀬古墳	高松町	直徑10mの円墳。	6	
古代～近世					
14	屋嶋城	屋島西町	城門遺構を検出。	13	
28	新田本村遺跡	新田町	先行条里地割を検出。	19	
27	小山・南谷遺跡	新田町	先行条里地割を検出。	2	
4	奥の坊現前遺跡	高松町	先行条里地割を検出。	7	
33	山下庵寺	新田町	古代の瓦を採取。	20	
13	千間堂跡	屋島西町	10～11世紀の礎石建物などを検出。	13	
12	川南・西遺跡	春日町	10～17世紀の漁港で区画された無数地を検出。	21	
5	奥の坊奥池西遺跡	高松町	溝を検出。	3	
29	川南・東遺跡	春日町	近世の無数地を検出。	22	

*番号は図2の番号に対応する。なお、表2は時代ごとに遺跡を整理したため、複合遺跡の場合は複数回記載した。

表2 引用文献

- 1) 高松市教育委員会1989『久米池南遺跡発掘調査報告書』
- 2) 香川県教育委員会1994『県道高松志度線道路改良事業に伴う発掘調査報告 小山・南谷遺跡 平成5年度』
- 3) 香川県教育委員会1997『県道高松志度線道路改良事業に伴う発掘調査報告 小山・南谷遺跡Ⅰ』
- 3) 高松市教育委員会2004『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第3冊 奥の坊遺跡群Ⅲ（大空北遺跡・奥の坊奥池西遺跡）』
- 4) 高松市教育委員会2007『諏訪神社本殿移築・久米山墓地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 諏訪神社遺跡 久米山遺跡群－諏訪神社御旅所地区』
- 5) 牛乳町史編集委員会（編）1993『牛乳町史』
- 6) 高松市教育委員会1999『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第1冊 奥の坊遺跡群Ⅰ（奥の坊地区（試掘）・大空古墳 金川瀬古墳）』
- 7) 高松市教育委員会2004『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2冊 奥の坊遺跡群Ⅱ（奥の坊現前遺跡）』
- 8) 古高松郷土誌編集委員会（編）1977『古高松郷土誌』
- 9) 高松市歴史資料館1996『高松市歴史資料館収蔵資料目録～考古資料～』
- 9) 古高松郷土誌編集委員会（編）1977『古高松郷土誌』
- 10) 六車恵一1961『香川県木本郡牛乳村原遺跡の土器』『弥生式土器集成2』
- 11) 香川県教育委員会2000『県道高松志度線緊急整備工事および県立医療短期大学建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 原中村遺跡』
- 12) 香川県教育委員会1970『高松市茶臼山古墳緊急発掘調査概報』
- 前田郷土誌編集協議会1989『前田郷土誌』
- 13) 高松市教育委員会2003『史跡天然記念物 屋島－史跡天然記念物屋島基礎調査事業調査報告書Ⅰ－』
- 14) 香川県教育委員会1980『山下古墳調査報告』
- 15) 香川考古刊行会1993『香川考古 第2号』
- 16) 高松市教育委員会2004『高松市指定史跡 久木古墳－保存整備、市道新田町61号線道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』
- 17) 高松市教育委員会2004『漆谷古墳群』
- 18) 高松市教育委員会2006『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第4冊 奥の坊古墳群・久米池遺跡』
- 19) 高松市教育委員会2006『都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書 第3冊 新田本村遺跡』
- 20) 高松市歴史資料館1996『第11回特別展 鉢絞の古瓦展』
- 21) 高松市教育委員会1999『都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書 第1冊 川南・西遺跡』
- 22) 高松市教育委員会2000『都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書 第2冊 川南・東遺跡』

第3章 調査の概要

第1節 調査区の概要と調査方法

VI区では、事業対象地内に東西方に向長い調査区を設けた(図4)。調査区の東側や南側はやや不整形な形状だが、調査面積は約1,100m²である。遺物包含層の調査に至る過程は、後述する基本層序のI・II層をバックホウで掘削・除去し、遺物包含層であるIII層を人力によって掘削し、遺物の取り上げなどを行った。

遺物包含層の調査にあたっては、調査区内に打設した調査杭を基準として行なった。具体的には、遺物包含層から出土した遺物を、調査杭を基準として設けたグリッドごとに取り上げることとした。なお、調査杭は、東西方向を西から順にアラビア数字の1~6、南北方向を北から順にアルファベットのA~Hと命名し、その交点の組み合わせを調査杭の個別名称とした。また、グリッドの名称は、グリッドの南東隅の調査杭の呼称を用いることにした。例えば、VI区北東端のグリッドは「D6」グリッドとなる。

第2節 基本層序

VI区の層序は、大別してI~IV層にまとめることができる(図5・6)。

I層は現代耕作土で、層厚は5~35cm

である。II層は緑灰色~灰黄褐色砂混粘質土で、層厚は25~75cmである。III層は灰黄褐色や褐灰色などの色調を呈する砂混粘質土層で、層厚は10~35cmである。IV層はにぶい黄橙色粗砂である。II層は、包含する遺物や周辺の調査成果から、近世以降に形成された水田造成に関連した土層と判断できる。III層は、調査区中央付近が最も厚く堆積する土層で、土器や石器を大量に含むことから遺物包含層と判断できる。ただし、東側に向けて地形面が高くなる調査区東端ではIII層が認められず、標高の高い地点では後世の水田造成などによって堆積層が削られたか、あるいは当初よりIII層が存在しなかったかのいずれかが考えられる。III層から出土した遺物はおおむね弥生時代中期前半に帰属することから、III層の形成年代は弥生時代中期前半以降ということになる。なお、VII区でもIII層に対応する土層を確認しており、調査地周辺の谷部にはIII層が広範囲に堆積していることが分かる。IV層は、遺物を含まず、かつ人為的に攪拌された痕跡も認められないことから、当地の基盤をなす自然堆積層(地山)と考えられる。

以上がVI区で確認した層序であるが、このうち遺構については遺物包含層であるIII層を除去したもののIV層上面で検出し調査した。

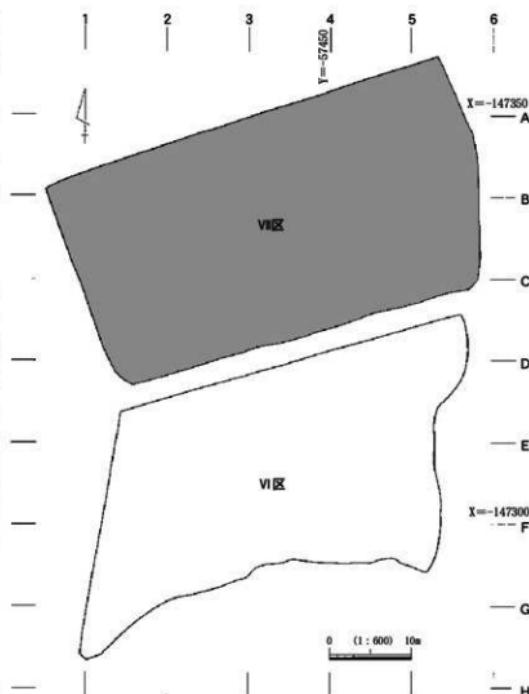
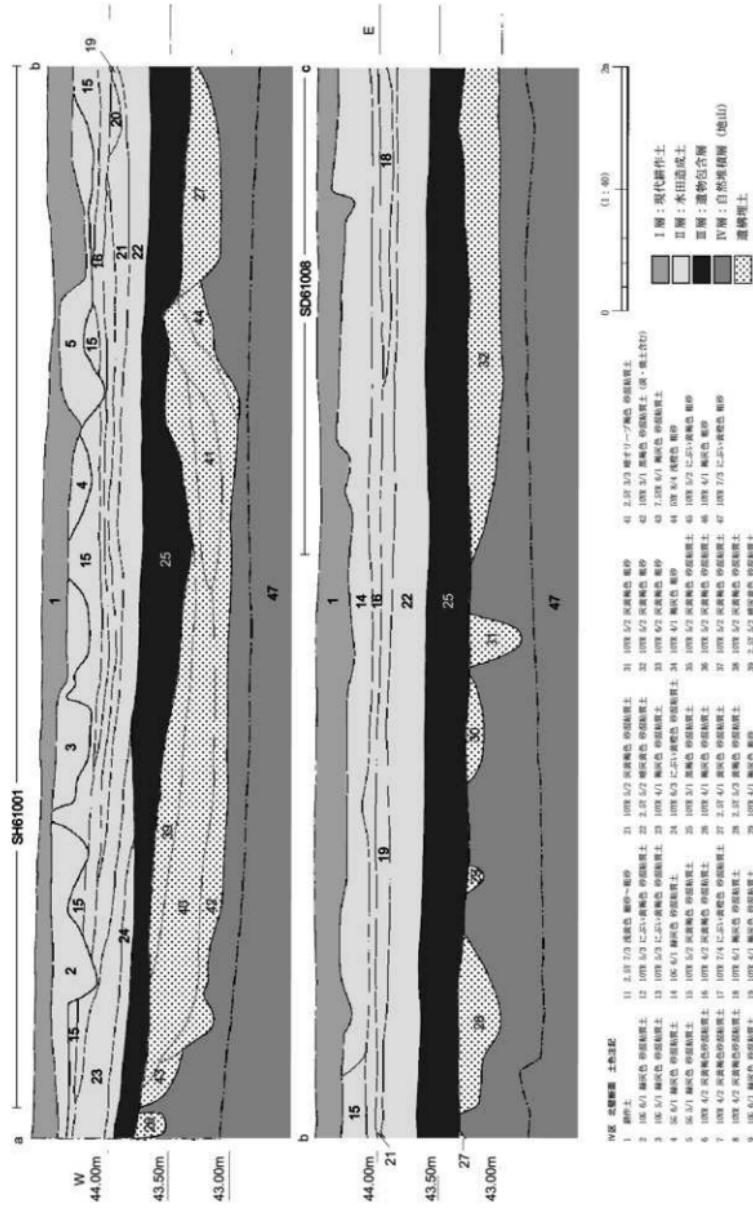


図4 VI区 グリッド配置図 (1/600)



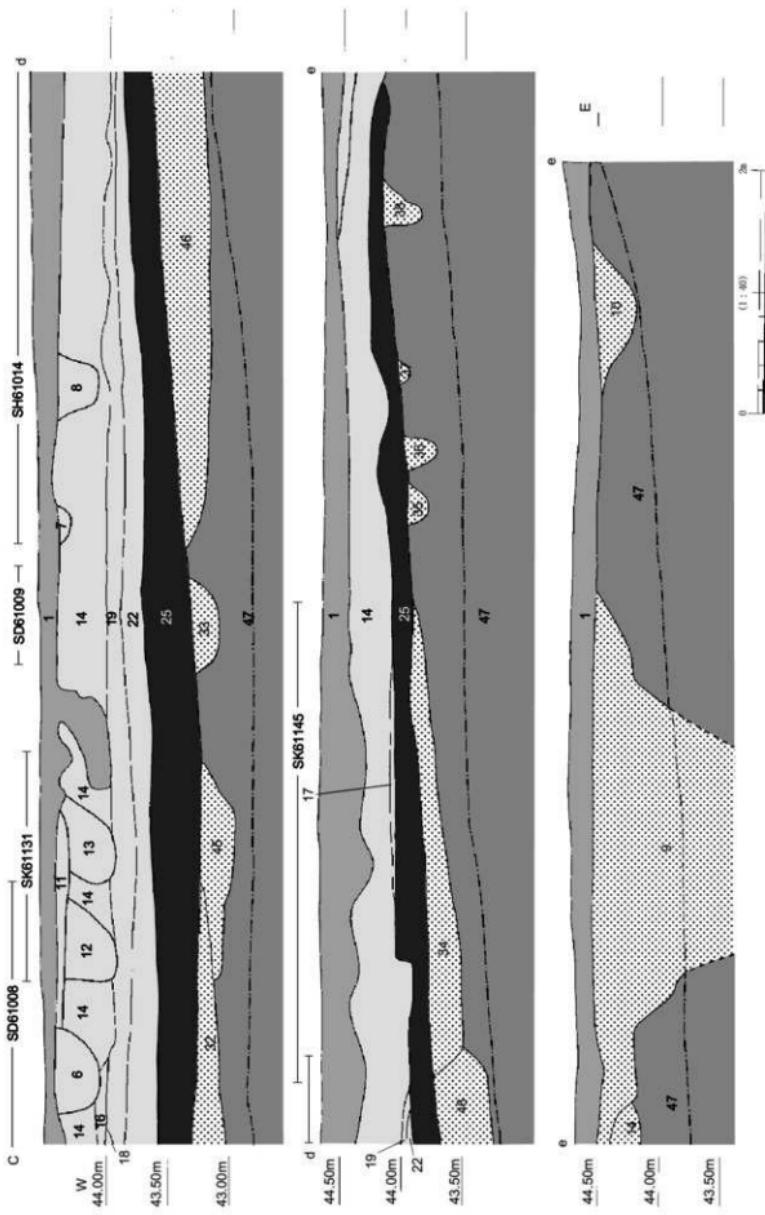


图6 北坡土剖面图 2 (1/40)

第3節 遺構と遺構出土遺物の概要

a. 検出遺構について

既刊の報告書にすでに報告しているが、ここに一節を設けてVI区の遺構分布状況などについて簡単に述べる。VI区では弥生時代中期を主体とする遺構を検出した。遺構ごとの検出数は、竪穴建物15棟（SH61001は1棟とする）、土坑225基、溝25条、ピットが1,144基であり、これらの遺構の大多数は重複関係を有して調査区北東端を除く調査区内に広く分布している。VI区の調査面積が約1,100m²であるから、遺構密度は比較的高いものと言える。VI区の大半の遺構がVII区と同様に弥生時代中期前半に帰属し、VII区との遺構密度の比較や検出遺構の性格を考慮すると、VI区は当該集落の中心的な居住空間と見て良いだろう。

VI区の検出遺構について特記すべき事項として、1棟はあるが松菊里型住居を検出した点にある（VI区：SH61001-a）。残念ながらその建物は重複関係をもつため、それよりも新しい時期の竪穴建物に破壊されており多くの情報を失っていた。しかし、のちに述べる擬朝鮮系無文土器などと合わせて考えると、朝鮮半島との強い関連性を示唆するものと考えられる。

b. 遺構出土遺物について

VI区の遺構出土遺物で特筆できるのが、①廃棄土坑SK61226から擬朝鮮系無文土器が出土した点、②竪穴建物から顔状土製品が出土した点、③竪穴建物から多数の石器が出土した点、以上3点である。①については、擬朝鮮系無文土器は遺構からわずか1点の出土ではあるが、本書で報告する遺物包含層からも数点の擬朝鮮系無文土器が出土しており、当集落を評価するにあたって重要な事実であることを指摘した。②については、SH61001-b・SH61002・SH61012の3棟から顔状土製品が各1点出土した。これら3点の出土状況からはいずれも顔状土製品の使用状況を推定することはできなかったが、SH61012から出土した土製品が下半部を欠損しており、祭祀にあたって土製品の一部を破壊するような行為が行われた可能性を推定した。③については、竪穴建物から出土した石器の出土量に関する定量的な分析を行い、換算値ではあるがSH61002・SH61010・SH61011の3棟で住居1m²あたり10g以上の石器が出土したことが判明した。このことから、他の住居と比較して一定量の石器を保有する住居が集落内に存在することが明らかとなった。

以上のように、VI区の遺構からは集落の性格を推定するうえで極めて重要な遺物が出土している。これらの遺構出土遺物と、本書で報告する遺物包含層出土遺物との関連性を考慮しながら、さらに集落の性格について検討を深める必要があるだろう。

c. 遺構と遺構出土遺物の評価

上記のとおり検出遺構と遺構出土遺物を整理したが、これらの状況から推定する当集落の状況は以下のとおりである。

- ①弥生時代中期前半に営まれた集落で、その期間内に重複して住居を構築する。
 - ②松菊里型住居が存在し、さらに擬朝鮮系無文土器片も出土していることから、朝鮮半島との関連性が想定される。
 - ③一部の住居を除いて大半の住居から一定量の石器が出土しており、集落内の住居で石器製作が行われた可能性がある。
 - ④3棟の住居から顔状土製品が出土しており、住居周辺などで土製品を用いた祭祀が行われた可能性がある。
- 以上4点が集落の性格を示す情報であるが、これらの所見と遺物包含層出土遺物の所見を合わせて評価することで、より鮮明に集落像を描くことができるものと考えられる。

第4章 遺物

第1節 III層出土遺物の概要

a. III層の堆積状況

VI区とその北側に位置するVII区は谷状の地形を呈する箇所に設けた調査区で、双方の調査区ではその地形面を覆い、なおかつ遺構よりも新しい時期に堆積したIII層（遺物包含層）が調査区のほぼ全域に分布していた。

VI区におけるIII層の堆積状況は、前述したとおり地形的に低くなる調査区中央付近にもっとも厚く堆積していた。この点を図5・6で示したVI区の北壁断面図で見ると、調査区北側中央付近のIII層は30~40cm、調査区西・東端は10~20cmの厚さで堆積しており、この断面からも地形的に低い箇所により厚くIII層が堆積していることが分かる。

VII区におけるIII層の平面的な分布は上記のとおりだが、今回の報告にあたっては、各グリッドのIII層出土遺物の量とその下で検出した遺構の分布密度に関連性が存在する可能性があるため、その点についても留意して検討していく。

b. III層出土遺物について

昨年度に報告した遺構出土遺物も相当数あったが、今回報告するIII層の出土遺物も相当量ある。本来はこれらを同一の報告書で報告すべきところだが、①なるべく多くの遺物包含層から出土した遺物を報告し、広く公開するため、②擬朝鮮系無文土器や顔状土製品など集落の性格を検討する場合に重要な遺物が出土している点、以上の諸点から、遺物包含層出土遺物編として独立して報告書を作成した。よって、より詳細にIII層の遺物について明らかにできると考えられる。

さて、III層出土遺物の取り上げにあたっては、10mのグリッド単位で行なった。III層は人力で掘削したため、土層に含まれる遺物の大半は取り上げることができたと考えられる。III層出土遺物の傾向としては、完形のものはほとんどなく、とくに土器・土製品の大半は碎片資料であった。なお、各グリッドの土器・土製品の掲載数を見ると、F3・F4・F5が多い点が特徴と言える。これらグリッドは、堅穴建物を中心として遺構の検出数が多い地点にあたる。この点から、遺構数の多寡とIII層に含まれる遺物の出土数は密接に関連しているものと考えられる。

第2節 土器・土製品

III層から出土した土器・土製品については破片資料が大半である。そのため、口縁部が遺存する遺物を優先的に掲載し、土器の底部など時期の特定が困難な遺物については掲載する数を限定した。このような方法で抽出したIII層出土土器の掲載点数は549点、土製品は7点である。土製品の種類としては、紡錘車と顔状土製品があり、VI区の遺構からも同様の遺物が出土している点は注目される。

各土器・土製品の詳細については表4で示す遺物観察表を参照していただき、全体的な傾向については総括で整理している。

なお、昨年度にVI区の遺構出土遺物を報告したが、そのうちSK61226から出土した土器2点が未報告であったため、本書で追加して報告する。

第3節 石器

III層から出土した石器については製品を優先して掲載しており、掲載点数は222点である。各遺物の詳細については表5に示し、全体的な傾向については総括の項目で述べているので、そちらを参照されたい。

图7 调查区平面图 (1:250)



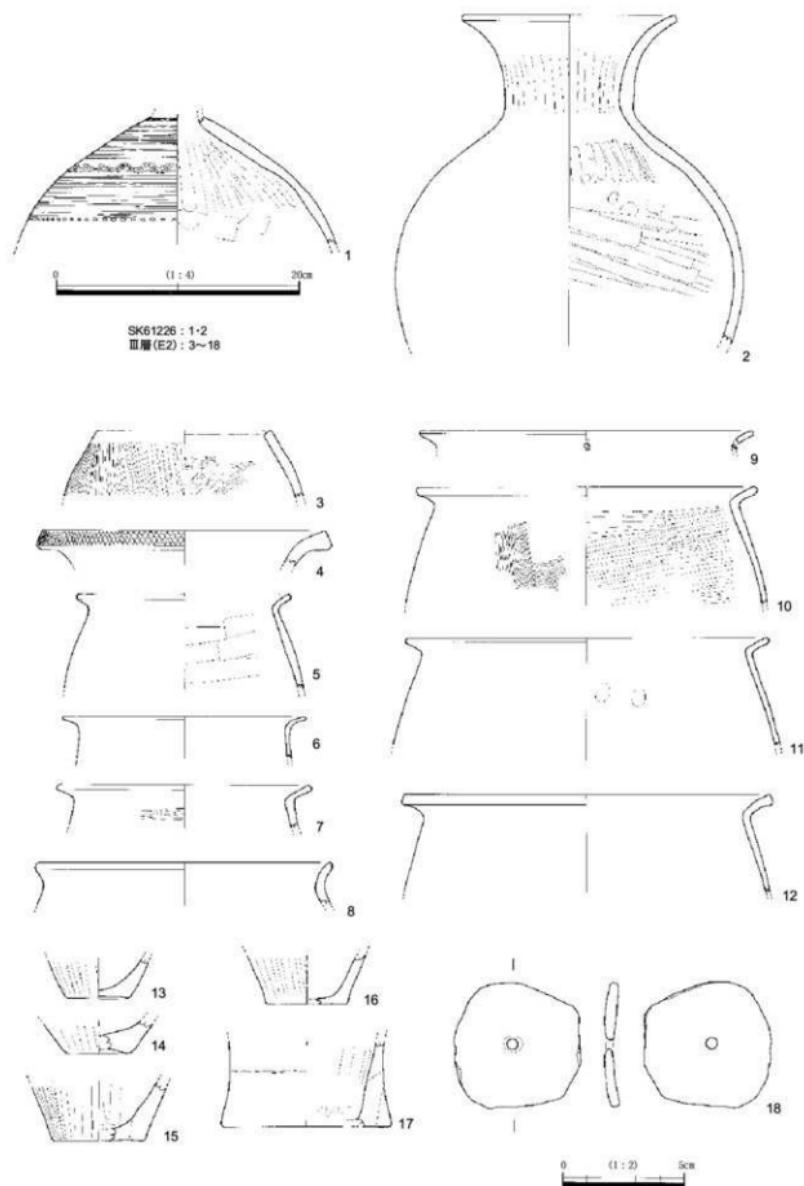


図8 出土土器・土製品 実測図1 (1/2・1/4)

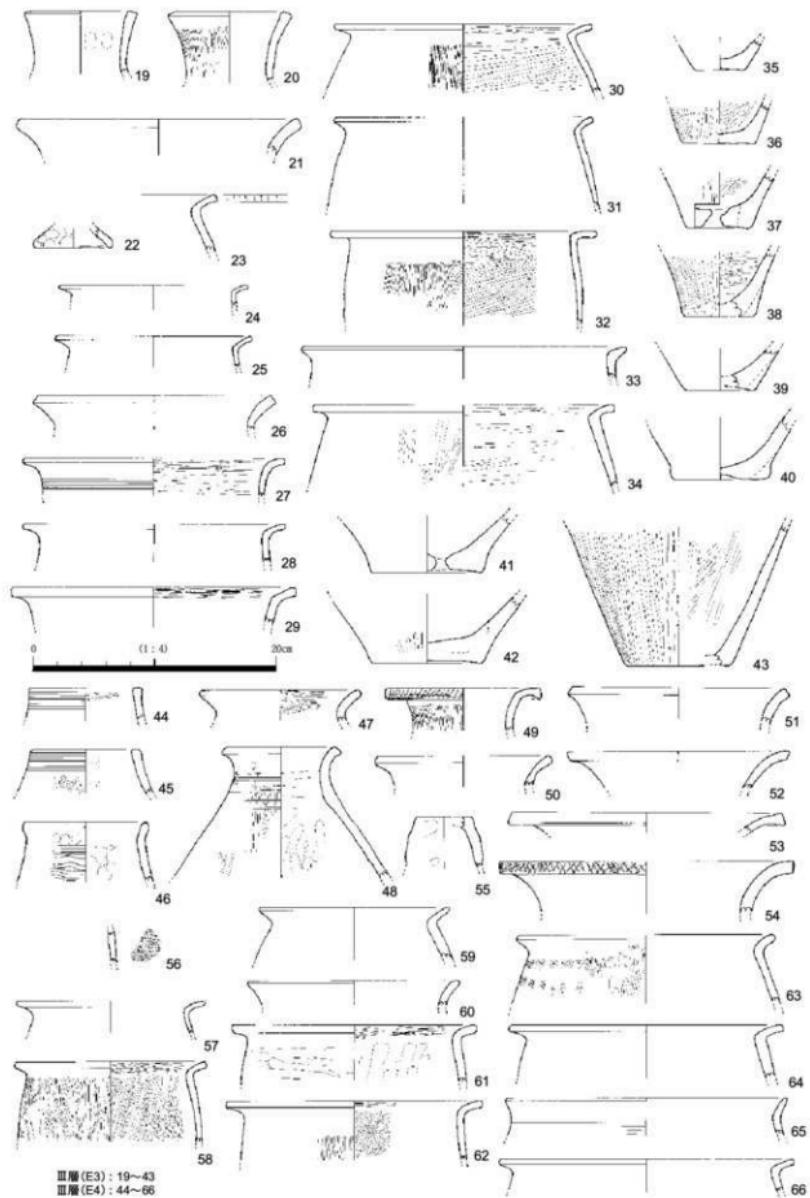


図9 出土土器・土製品 実測図2 (1/4)

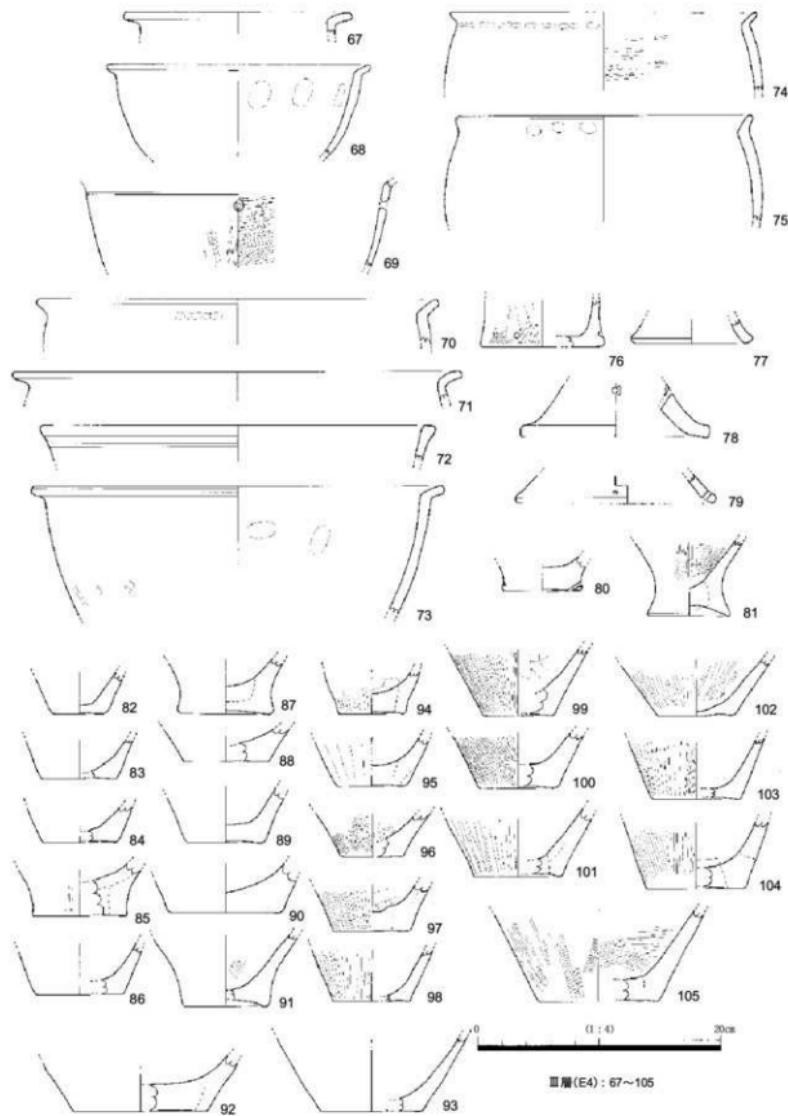
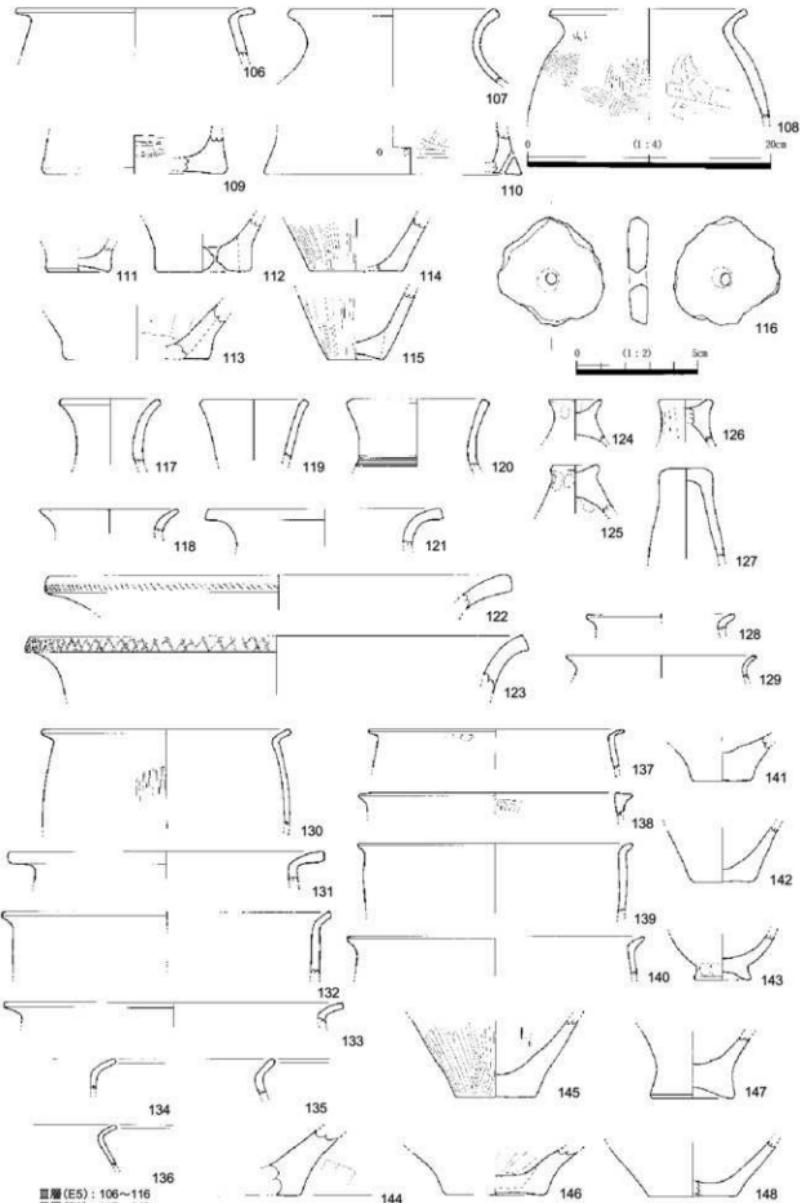


図10 出土土器・土製品 実測図3 (1/4)



三層(E5) : 106~116
三層(F2) : 117~148

図11 出土器・土製品 実測図4 (1/2 + 1/4)

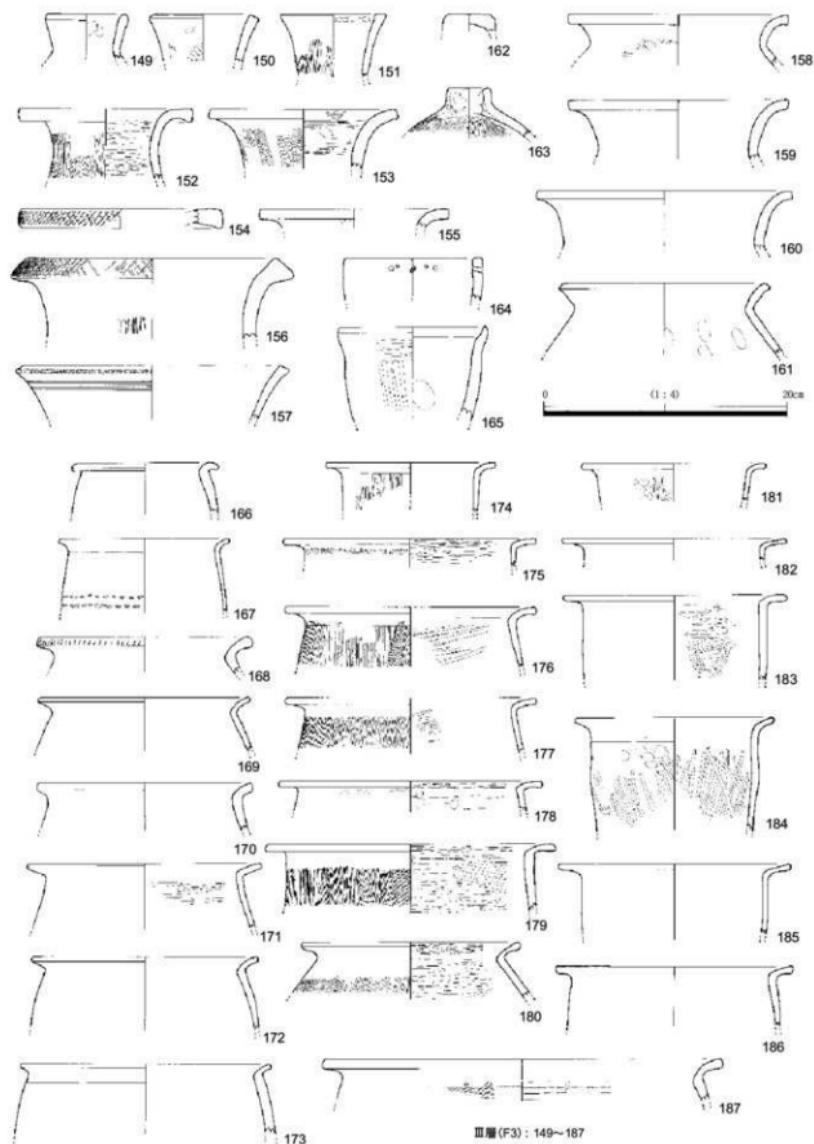


図12 出土土器・土製品 実測図5 (1/4)

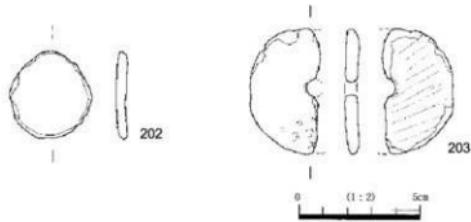
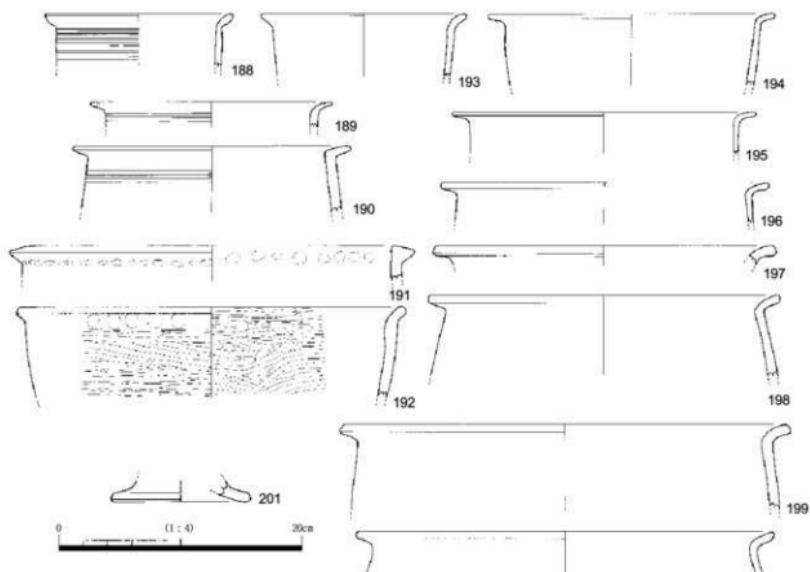


図13 出土土器・土製品 実測図6 (1/2・1/4)

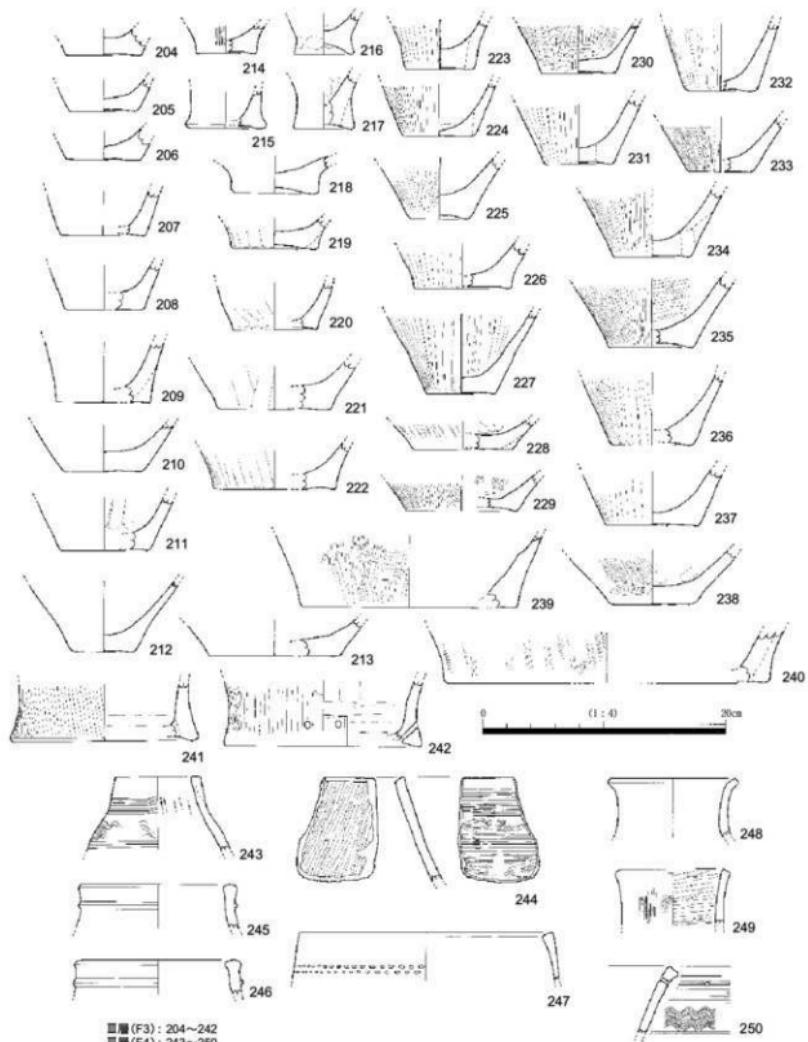


図14 出土土器・土製品 実測図7 (1/4)

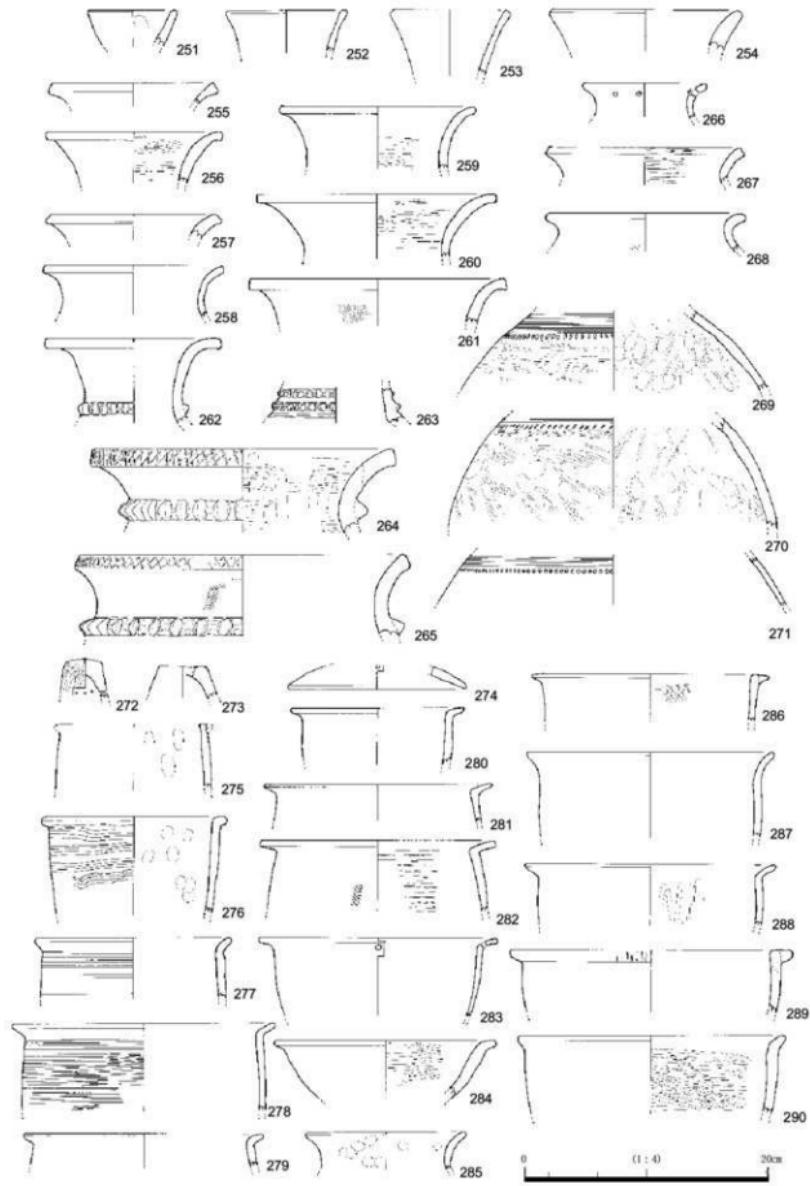


図15 出土土器・土製品 実測図8 (1/4)

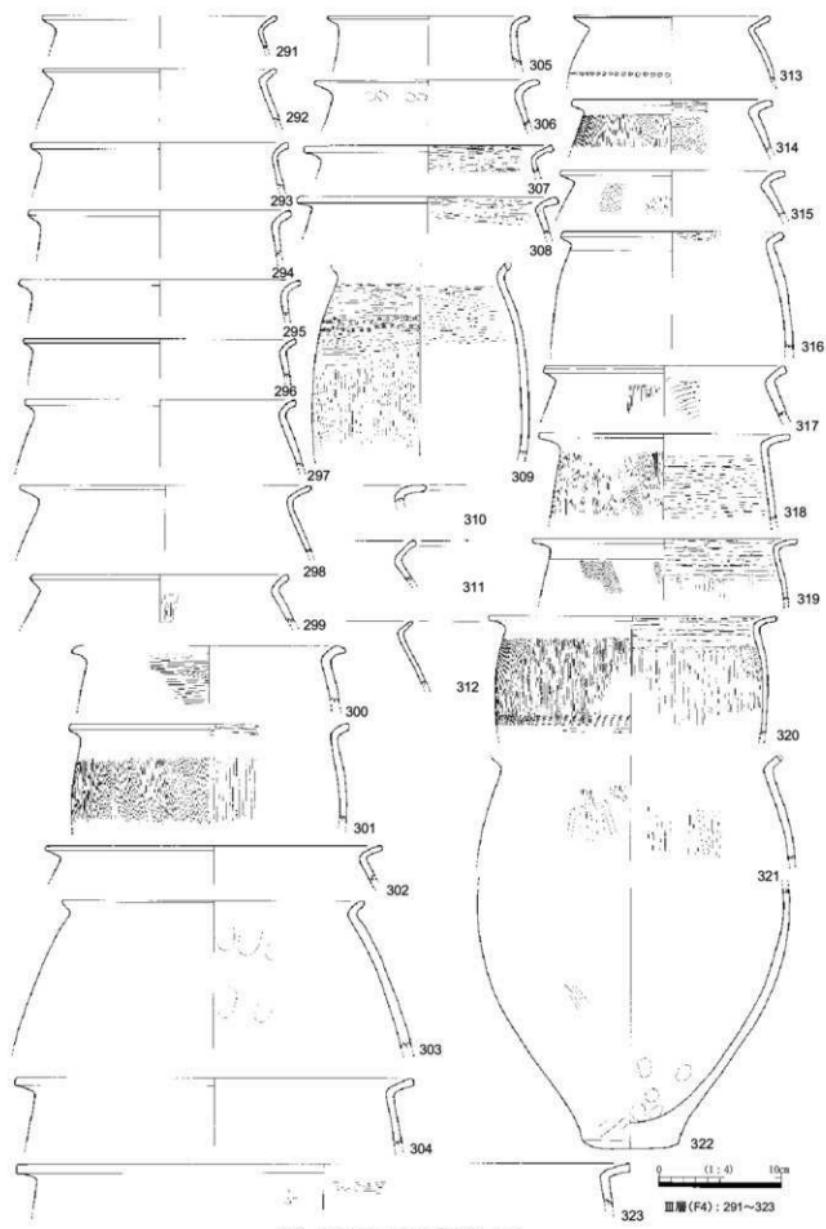


図16 出土土器・土製品 実測図9 (1/4)

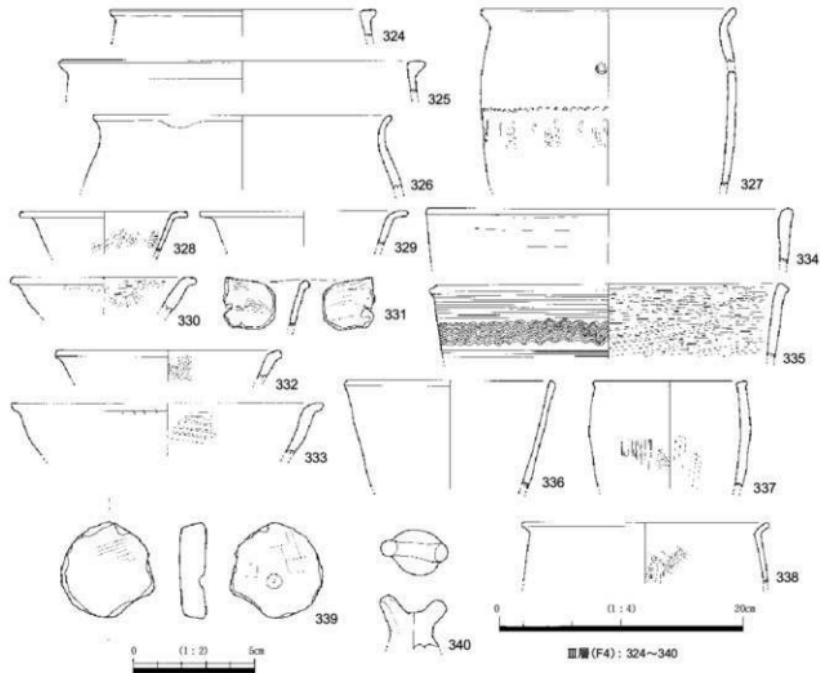


図17 出土土器・土製品 実測図10 (1/2・1/4)

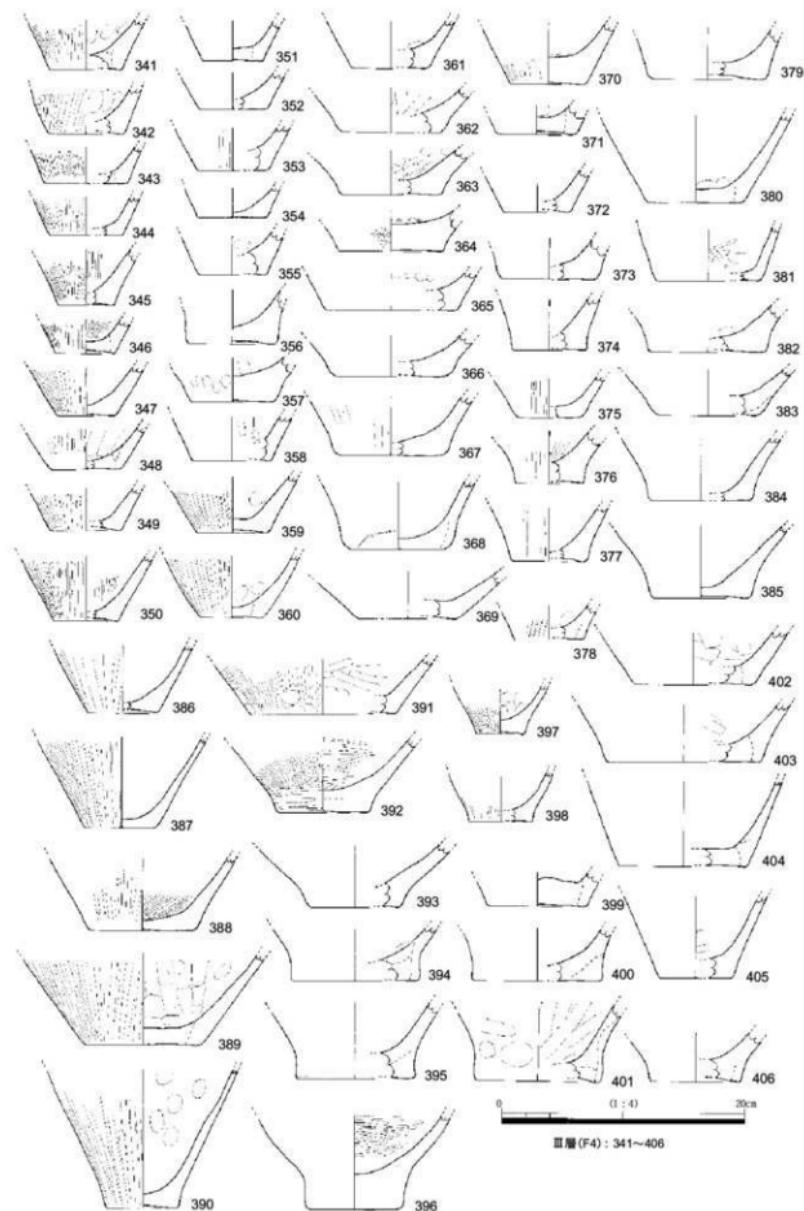


図18 出土土器・土製品 実測図11 (1/4)

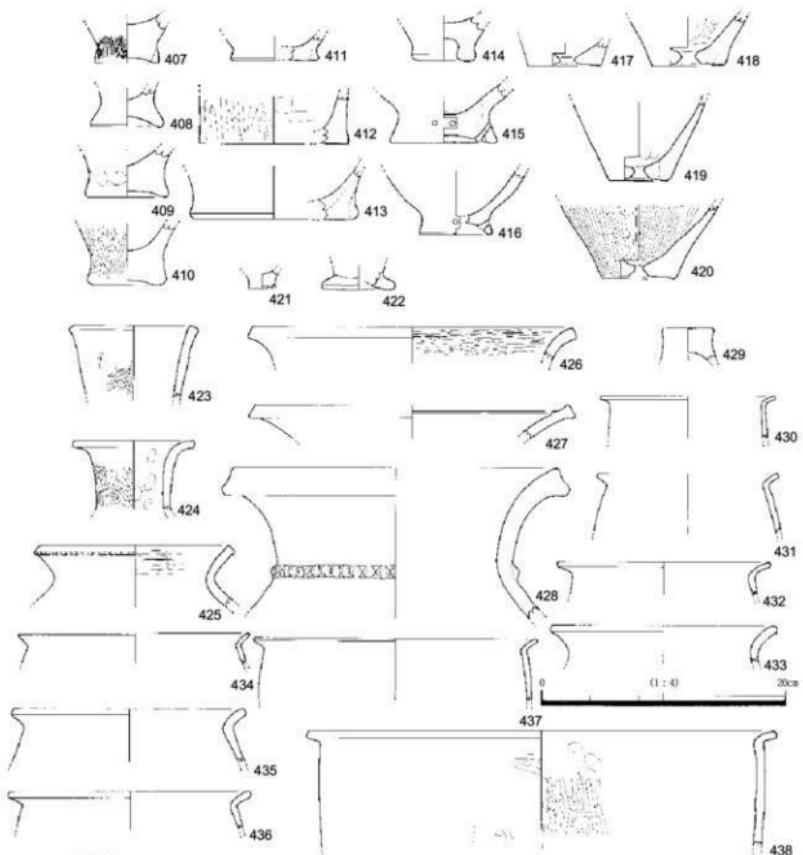


図19 出土土器・土製品 実測図12 (1/4)

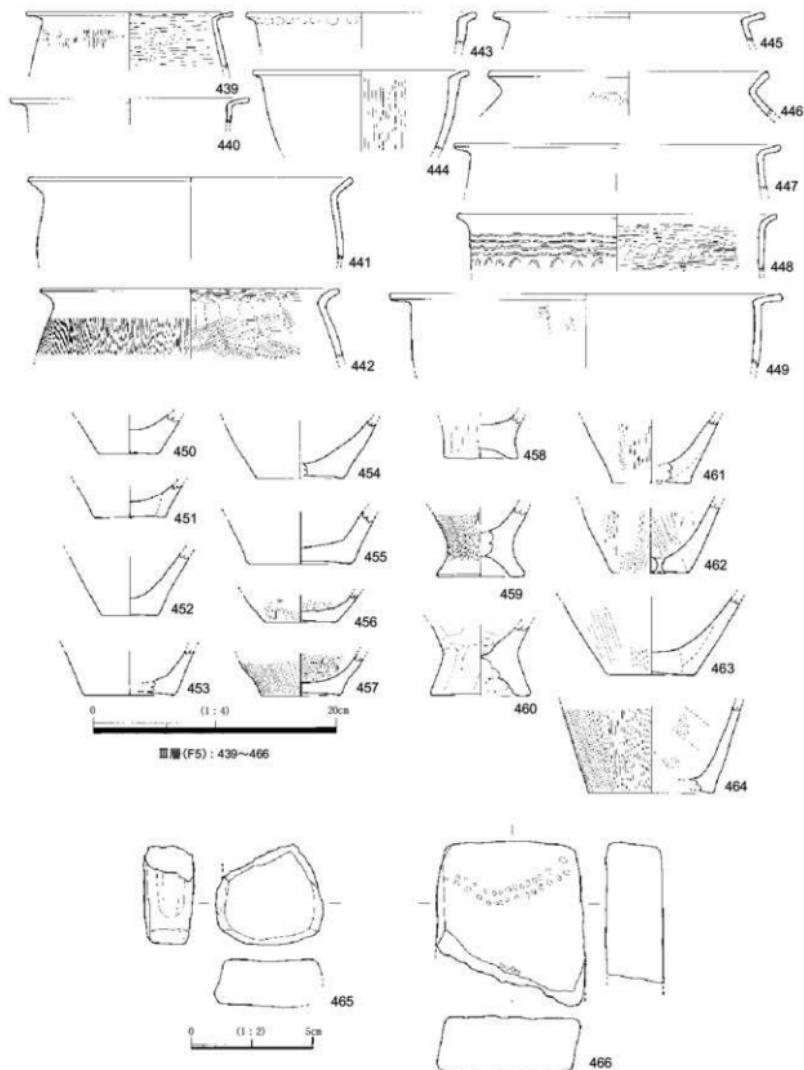


図20 出土土器・土製品 実測図13 (1/2・1/4)

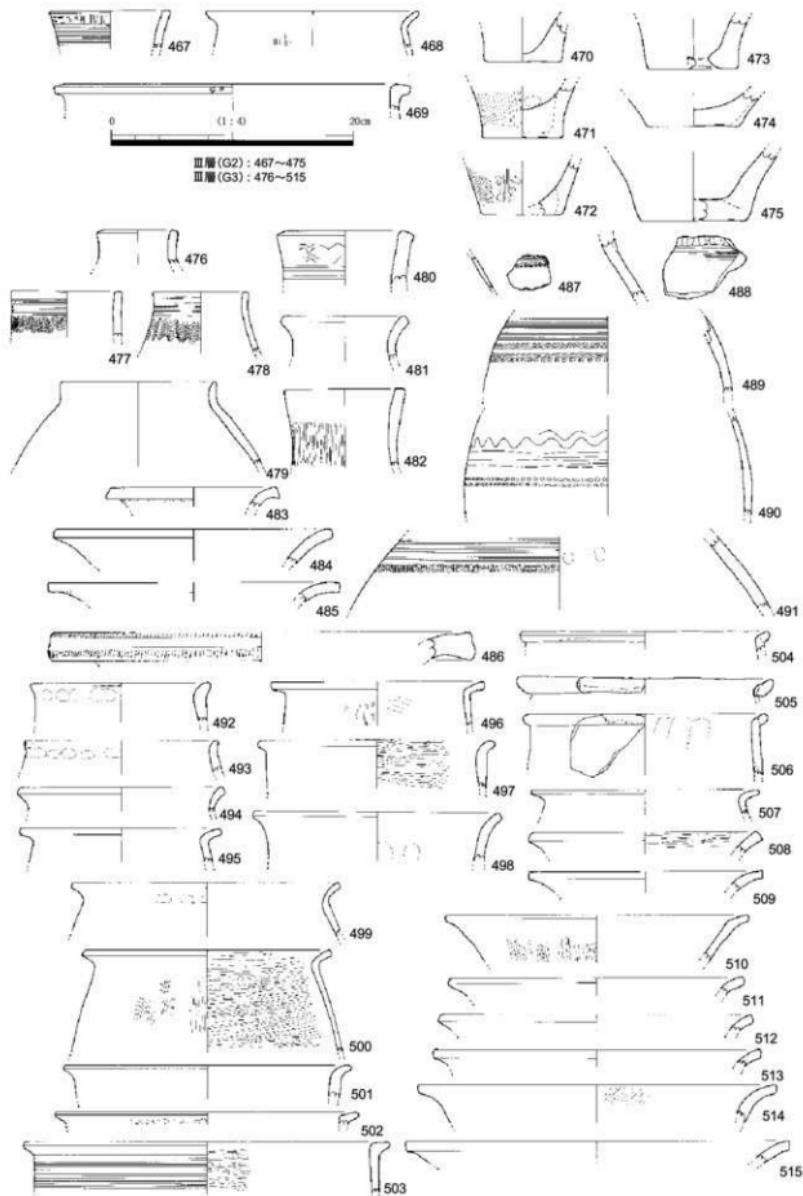


図21 出土土器・土製品 実測図14 (1/4)

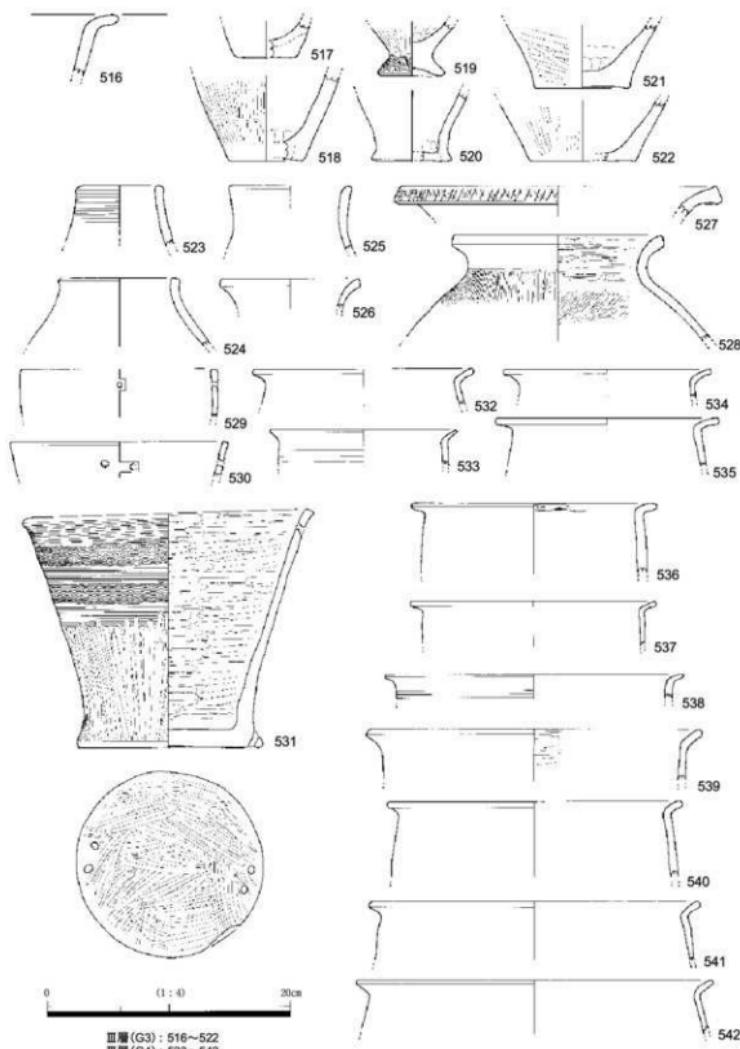
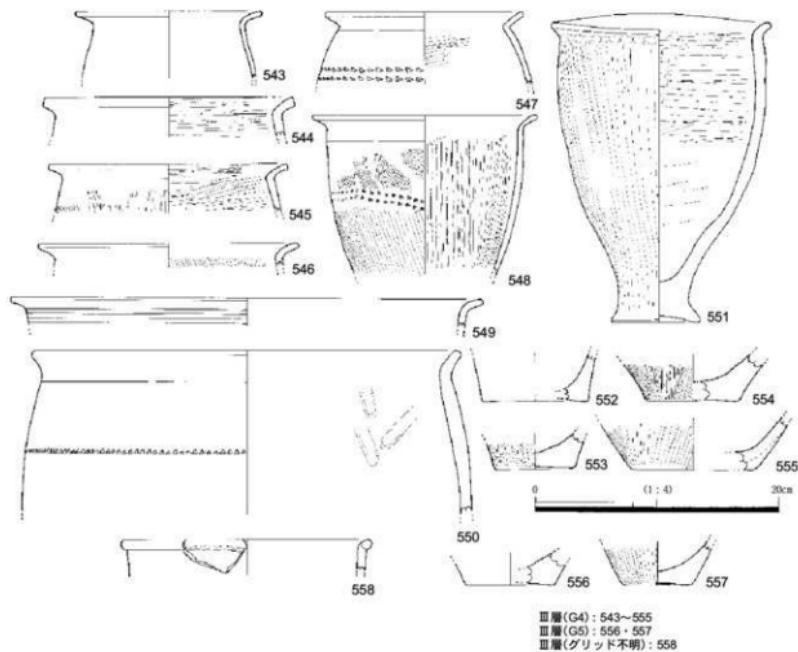


図22 出土土器・土製品 実測図15 (1/4)



■層(G4) : 543~555
 ■層(G5) : 556・557
 ■層(グリッド不明) : 558

図23 出土土器・土製品 実測図16 (1/4)

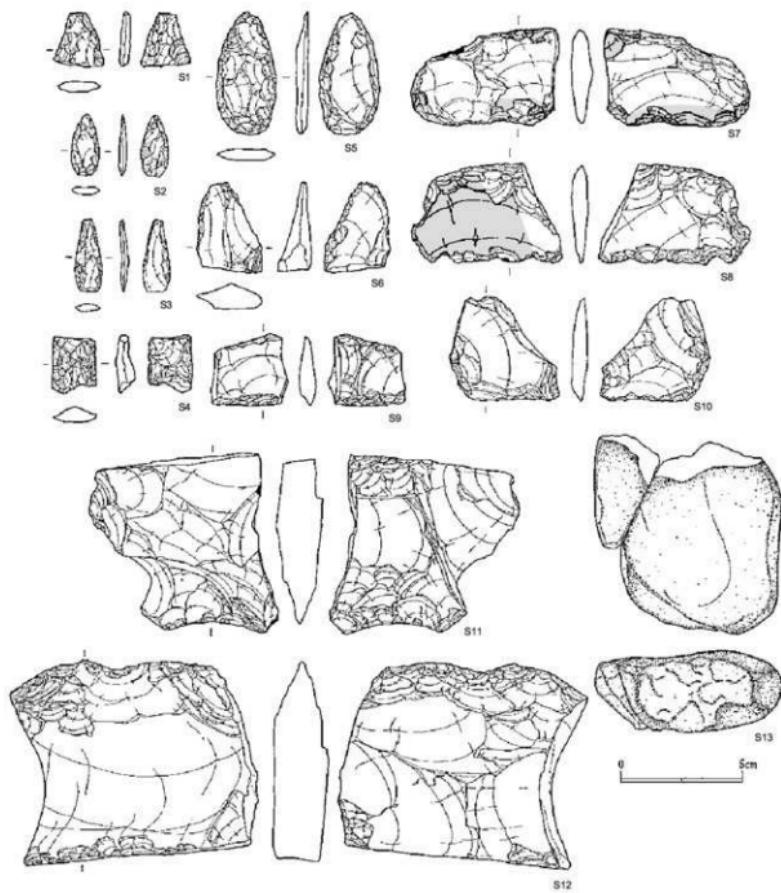


図24 E2区出土石器 実測図 (1/2)

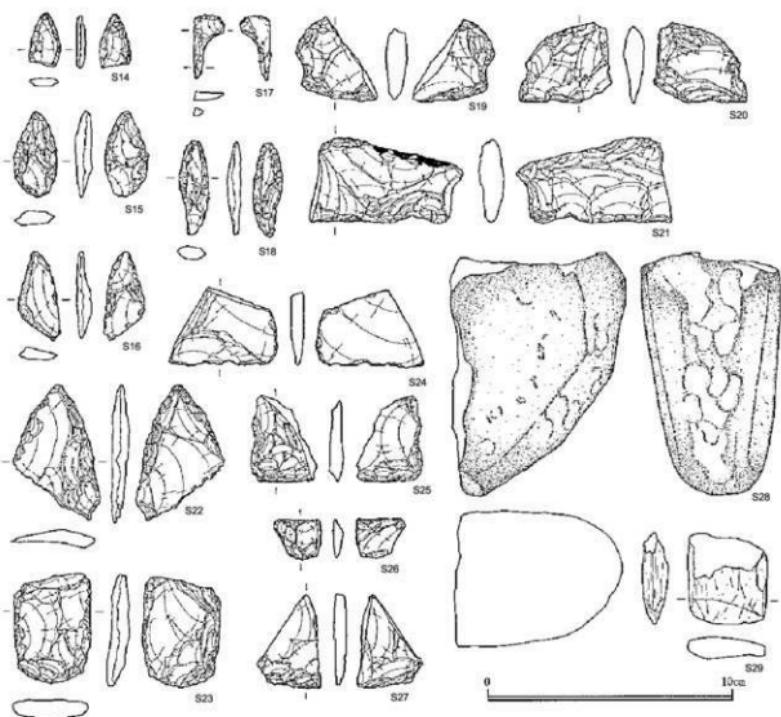


図25 E3区出土石器 実測図 (1/2)

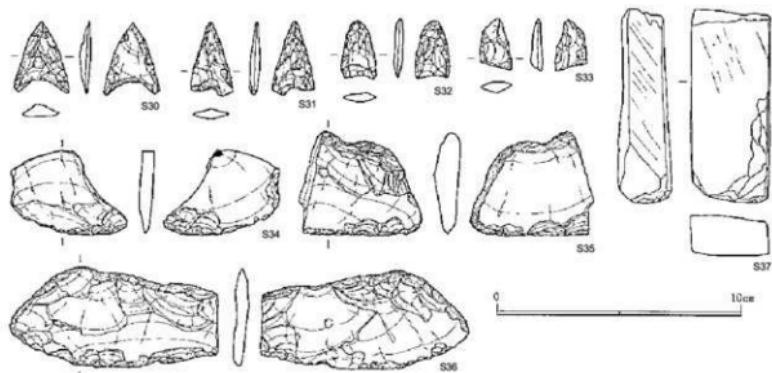


図26 F5区出土石器 実測図 (1/2)

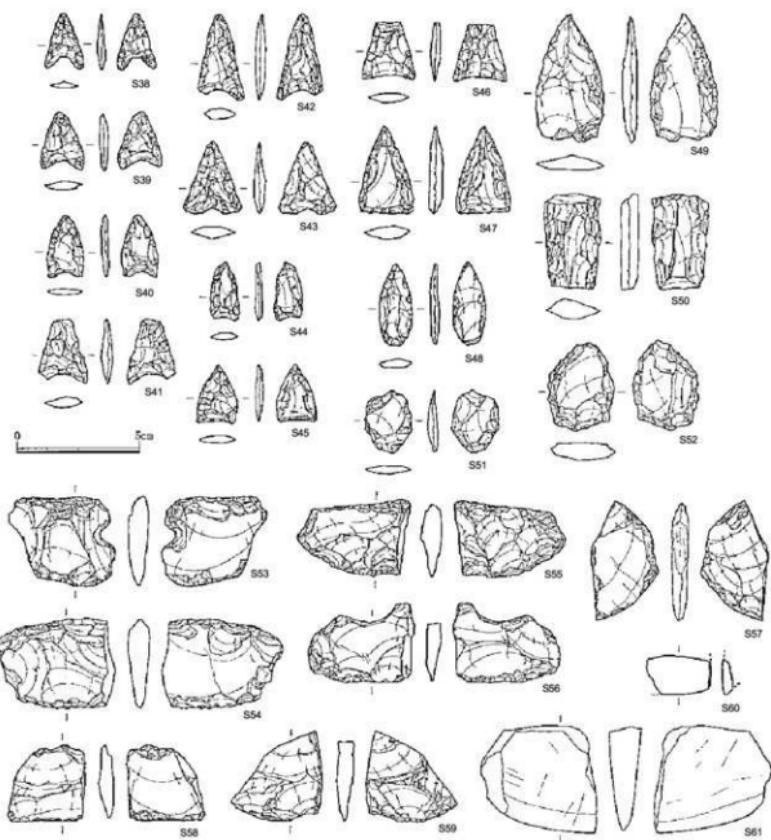


図27 E4区出土石器 実測図 (1/2)

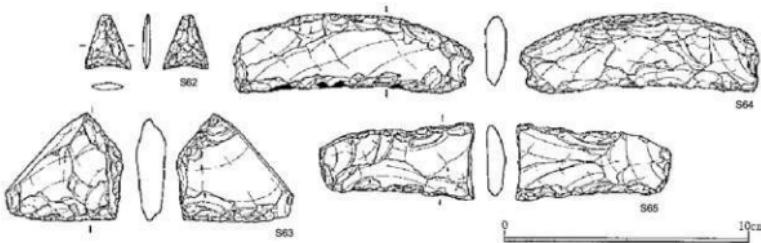


図28 G2区出土石器 実測図 (1/2)

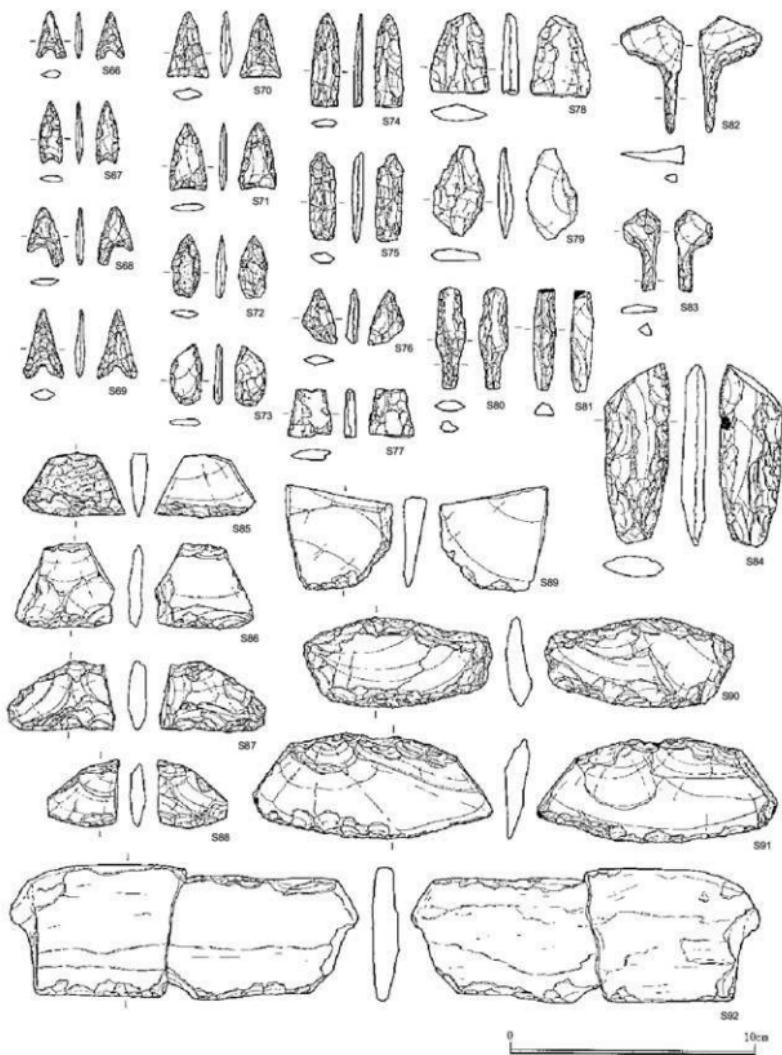


図29 F3区出土石器 実測図 (1/2)

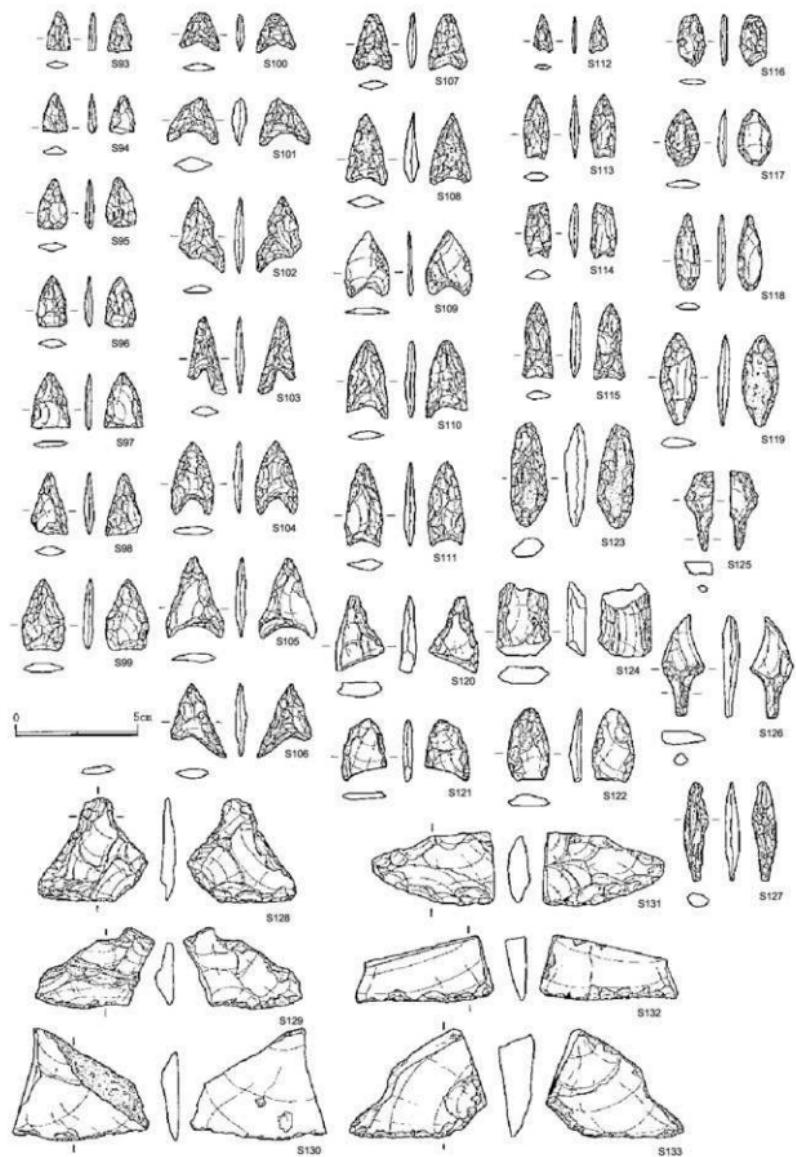


图30 F4区出土石器 实物图1 (1/2)

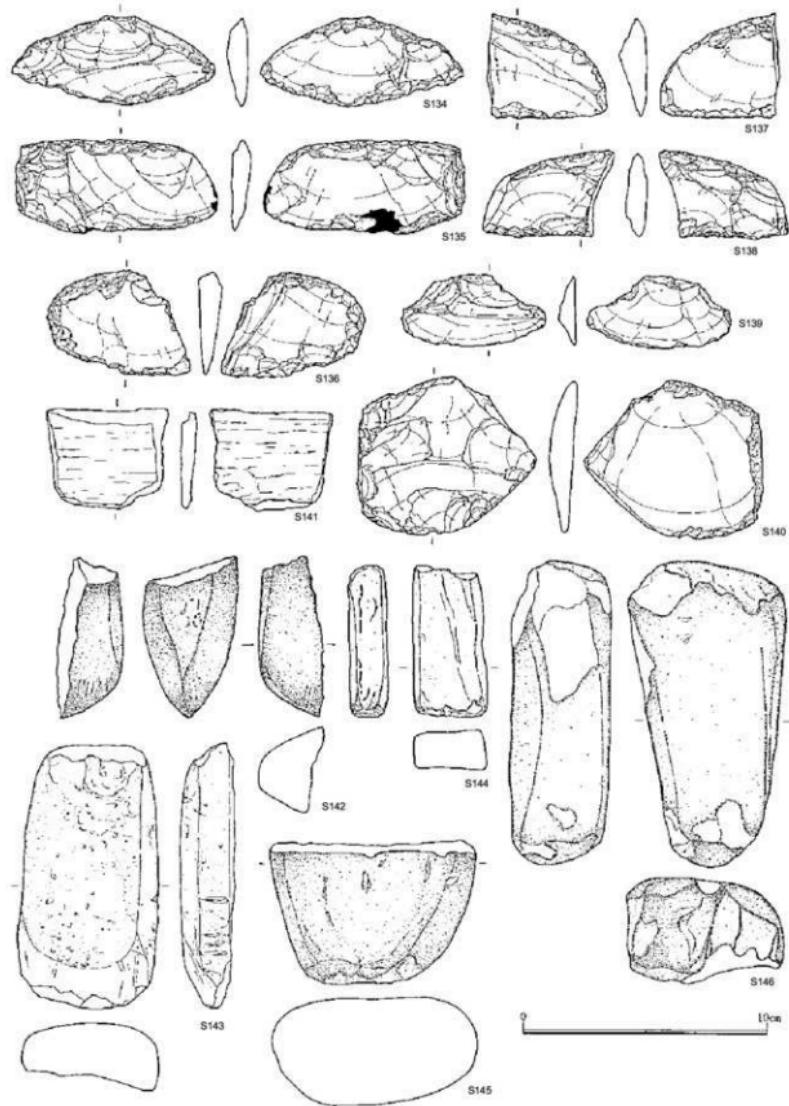


図31 F4区出土石器 実測図2 (1/2)

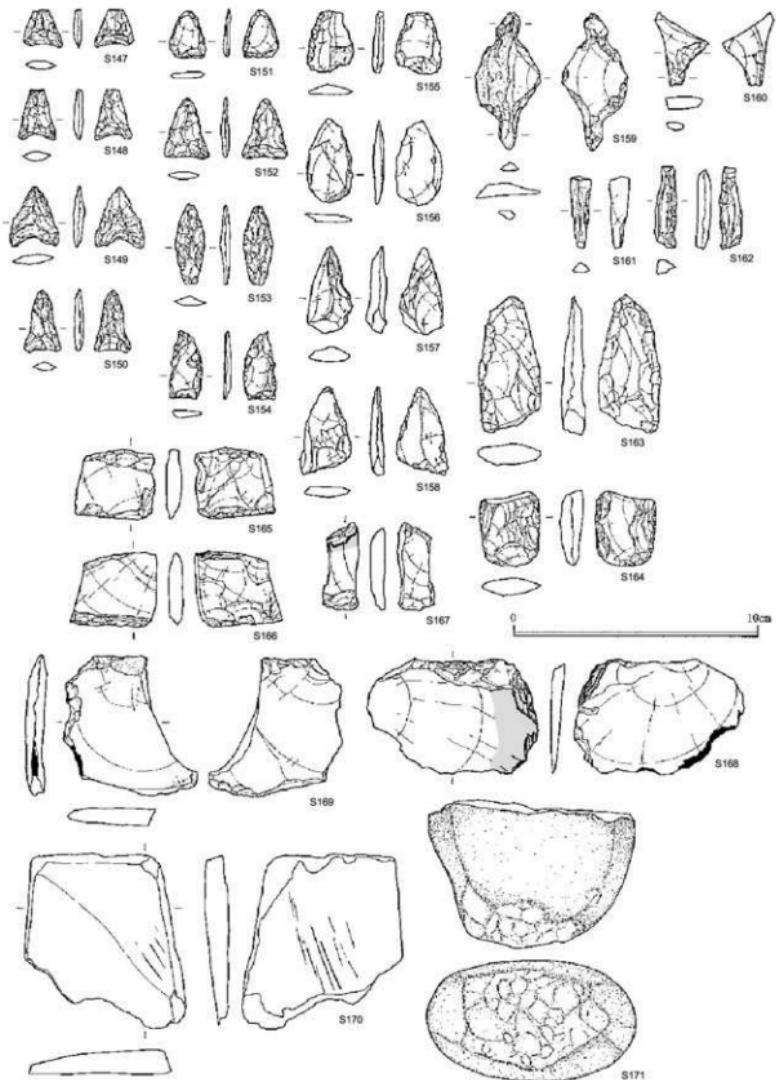


図32 G3区出土石器 実測図 (1/2)

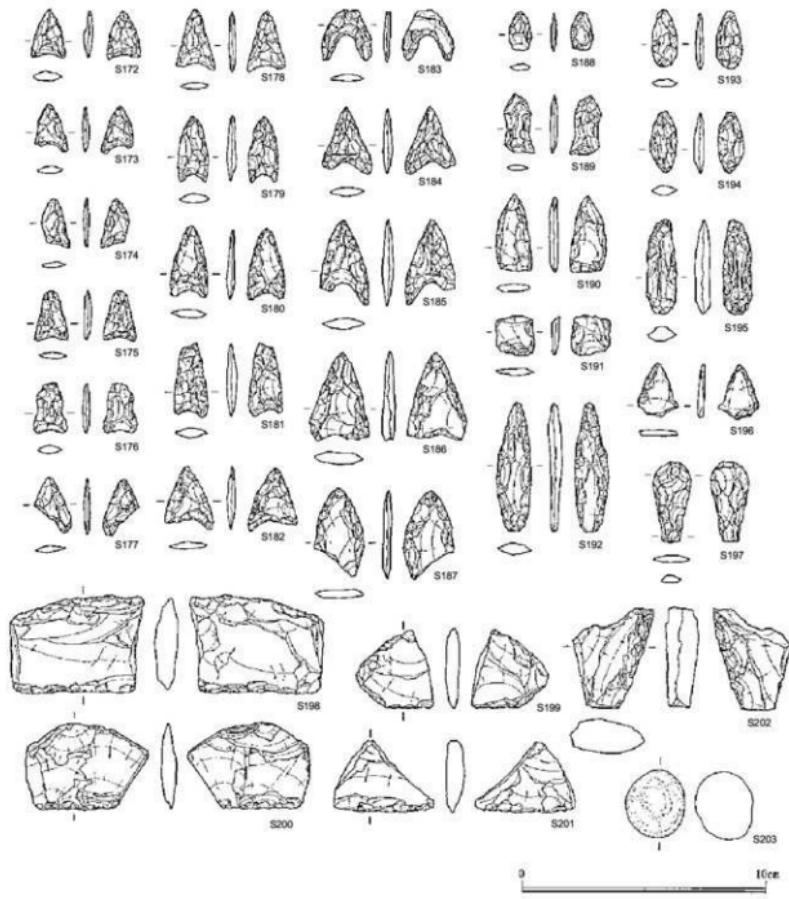


図33 G4区出土石器 実測図 (1/2)

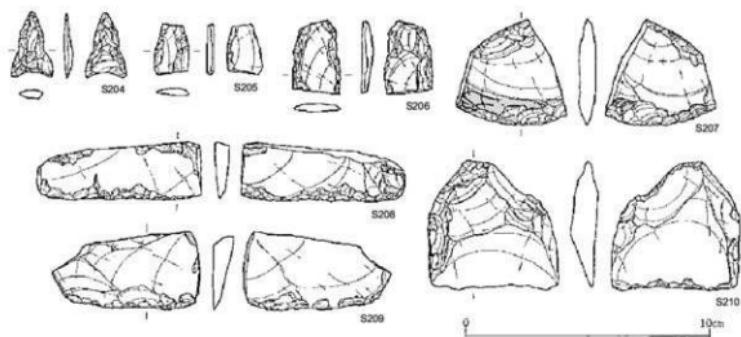


图34 Ⅲ层出土石器 实测图 (1/2)

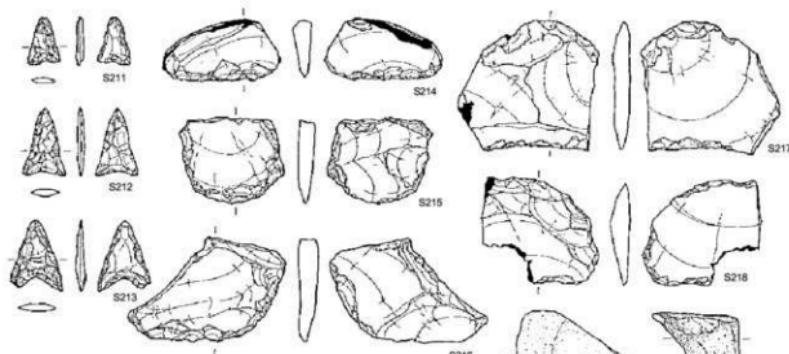


图35 F2区出土石器 实测图 (1/2)



图36 G5区出土石器 实测图 (1/2)

第5章 総括

第1節 土器・土製品について

a. 出土グリッドの傾向

VI区の調査では、一定量の遺構出土遺物のほかに、遺構を被覆する遺物包含層（Ⅲ層）から大量の遺物が出土した。Ⅲ層出土遺物を報告し、土器・石器の組成や出土傾向を見ることで、弥生時代中期前半の集落のありかたについても検討を深めることができると考えられる。

まず、Ⅲ層から出土した土器・土製品のグリッド別の傾向を見たい。今回報告した土器・土製品のなかで、比較的多くの土器・土製品が出土したのがF 3・F 4・F 5のグリッドである。これらグリッドについては、調査区の中央付近に位置する10m四方の完全なグリッドである。一方、E 5を除くそれ以外のグリッドは、グリッドが調査区の外側に続くため、完全な10m四方のグリッドではない。この点が影響して、F 3・F 4・F 5グリッドの土器・土製品の出土量が多いと見ることもできる。ただし、ここで留意したいのは、F 3・F 4・F 5グリッドでは、Ⅲ層の下位で竪穴建物を多数検出している点である。VI区では調査区の中央付近、すなわちF 3・F 4・F 5グリッド付近に竪穴建物が重複して構築されており、この点はⅢ層の遺物の多寡に影響を与えている可能性がある。

b. 土器について（図21・23）

今回報告したⅢ層出土の土器を見ると、器種の組成は壺・甕・鉢が大半を占めており、この点からこれらが主要な器種と見ることができる。また、少量ではあるがそれに蓋・高杯が加わる。この中で、特に壺と甕が組成の大半を占めるが、この点についてはVI区の遺構から出土した遺物の傾向と同じである。また、これらの土器は弥生時代中期前半のものと考えられるため、VI区の遺構出土遺物の年代観と大きな違いは認められない。なお、VI区のSK61226から擬朝鮮系無文土器の甕が1点出土しているが、Ⅲ層でもG 3グリッドから3点（504～506）。出土グリッドは不明であるがさきに1点（558）の合計4点の擬朝鮮系無文土器が出土している。SK61226はG 3グリッド付近に位置することから、VI区から出土した擬朝鮮系無文土器の大半はG 3グリッド付近で出土したことになる。SK61226から出土した1点も含めると、VI区では合計5点の擬朝鮮系無文土器が出土しており、当該集落が朝鮮半島と何らかの関連性を持つ可能性を考えることができる。

ここで、重要な遺物と指摘した擬朝鮮系無文土器について、個別の詳細を述べる¹³⁾。

504は口縁部の粘土帯が遺存する甕である。復元口径は20.0cmで、粘土帯は外上方に開く断面楕円形を呈する。505は甕で、口縁部の粘土帶部分のみ遺存する。口縁部から貼り付けられた粘土帯の内面は、上端まで横ナデで仕上げ、粘土帶は外側上方に長い楕円形を呈する。506も甕で、復元口径は20.0cm、遺存する高さは5.0cmで、口縁部から体部にかけての破片である。斜め上方から粘土帯を貼り付けており、接合の痕跡を明瞭に残す。口縁部外面下端は、下方から連続して指で押さえつけて整形した痕跡が認められる。体部は、下方にむけてやや外側に開き、丁寧なナデで仕上げる。558も甕で、口縁部から体部にかけての破片が遺存する。粘土帯を斜め上方から貼り付け、その下端は接合痕を明瞭に残す。口縁部外面下端は、506と同様に下方から指で連続的に押し付けた痕跡を残す。口縁部は横ナデ、それ以外の箇所はナデで丁寧に仕上げる。口縁部の形状は、やや丸みを持つ楕円形で、同様に口縁部内面も内傾するもののやや丸みを持つ。

また、昨年度報告したSK61226出土の甕についてもここで見ておく¹³⁾。該当するのは、昨年度の報告書の図37に掲載した461で、器種は甕である。口縁部から体部の小破片が遺存する。口縁部は斜め上方に突出し、断面形状は円形に近い。ただし、成形方法は、Ⅲ層から出土した506・558などと同じで、口縁部は横ナデ、それ以外はナデで仕上げる。

以上、見てきたように、Ⅲ層およびSK61226から出土した5点の擬朝鮮系無文土器はいずれも小破片ながら、特に口縁部の形態や成形技法についての観察が可能であった。その形態的特徴から、明瞭に在地の弥生土器との相違を見出せる。このうち、505のように口縁部に貼り付けられた粘土帯の断面形態が明瞭に楕円形を呈するものもあれば、一方で506・558のように丸みを持つものまで認められる。これらの観察所見から、朝鮮系無文土器の製作技術を反映させたと見られる個体から、在地の弥生土器製作技術の影響を受けてその形態に変化が生じたと見られる個体までが存在すると考えられる。

以上のことから、これらの資料は、朝鮮半島との関連性を推定できる資料として、当該集落の評価を行なう場合に看過できない遺物と位置づけることができるだろう。

ここまで、土器についてのおおまかな傾向を概観したがここで改めて整理すると、今回報告したⅢ層出土の土器は弥生時代中期前半に帰属し、組成なども含めてVI区の遺構出土遺物と同様の傾向であると考えられる。

c. 土製品について（図20）

次に土製品について見ると、Ⅲ層からは遺構出土遺物と同様に紡錘車と顔状土製品が出土している。VI区の遺構からもほぼ同じ形態の土製品が出土しており傾向は同じであるが、特に顔状土製品は分銅形土製品の祖形となる可能性もあるため、今後類例を精査する必要がある。なお、遺構から出土した顔状土製品は、SH61001-b・SH61002・SH61012のいずれも竪穴建物跡から出土している³⁾。一方、Ⅲ層から出土した2点の顔状土製品（465・466）は、いずれもF5グリッドからの出土である。F5グリッドは、先述したSH61012の東側の一部が該当するグリッドであることから、SH61012とその周辺で合計3点の顔状土製品が出土したことになる。

ここで、Ⅲ層出土土製品の観察所見を以下に述べる。

465は厚さ約1.9cmを測る土製品で、表裏で明瞭な加工の跡は認められない。上部を欠損するが、下半は丸みを持ち、上方に向けて内側にすばまる形状を呈する。466は厚さ2.4cmの土製品で、一方の面に列点を配することから、その配置などを考慮して顔状土製品と推定する。列点は、観察できる部分でV字状に配置される。土製品の形態は、角に丸みを持つが、下半部は欠損するため詳細は不明である。

これら土製品については、昨年度報告した顔状土製品の形態に類似する。顔面表現については双方の資料では明確ではないが、466は列点などにより顔面を意識した表現を施している可能性が高いと考えられるため、遺構から出土した顔状土製品と関連づけて今後類例を精査していく必要がある。

d. 小結

Ⅲ層から出土した土器・土製品の組成と帰属時期をVI区の遺構出土遺物と比較したが、双方は同様の傾向と見ることができる。また、特徴的な遺物として取り上げた擬朝鮮系無文土器と顔状土製品の出土位置についても、同じ遺物が出土した遺構が位置するグリッドと調和的であった。以上がⅢ層から出土した土器・土製品の特徴と言える。

さて、Ⅲ層出土の土器・土製品の整理をとおして考えられることは、Ⅲ層は上流部から流れ込んできた堆積とは異なる可能性がある点である。Ⅲ層出土遺物の傾向を考えると、本来は遺構に帰属する遺物が後世に何らかの要因で遺構から遊離し、それを調査でⅢ層出土遺物として取り上げるに至った可能性などが考えられる。いずれにしても、Ⅲ層出土の土器・土製品の整理から、当該集落が弥生時代中期前半の集落であるという結論を変更する必要はないことが明らかになった。

第2節 石器について

包含層から出土した石器のうち、製品を優先して222点について掲載した。内訳は打製石器が195点、磨製石器が7点、礫石器類が8点、石器製作関連の石器が12点である（表3）。打製石器では石鏃と石鎌未製品で114点を占め、全体の半数を超える。次いで打製石包丁、削器となる。ここでは、出土量の多い石鏃、石鎌、打製石庖丁についてまとめを行う。

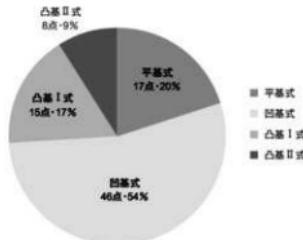
石鏃では、形態がわかる86点の内訳として、凹基式が46点と全体の54%を占め、次いで平基式が17点・20%、凸基I式が15点・17%、凸基II式が8点・9%である。有茎式は出土していない（図37）。また、最大長3cm・重量2gを超える大型石鏃は12点あり、凸基式の割合が高い傾向にある。

石鎌は、頭部と錐部との境が明瞭で、錐部が細長い形態のI類が8点・62%を占め、次いで頭部と錐部の境がなく、ほぼ一定の幅をもつ棒状の形態のIII類が4点・31%である。分厚い多角形状を呈するII類は1点のみであり、ここでも特定の形態が優勢する傾向がみられる。

打製石包丁は、抉りを持つものと、持たないものの両方の形態があり、総じて刃部に摩滅痕や体部に光沢痕を持つもの、幅の個体差が大きい傾向にある。これらの痕跡は複数回の使用や刃部の再成形

表3 掘載遺物器種別点数

器種	点数
石核	99
石核 未製品	15
石核	14
打製石削	6
尖頭器	3
未鋸形 未製品	1
削器	35
石鏃	1
打製石斧	1
磨製石包丁 未製品	1
大型船刃石斧	1
扁平片刃石斧	2
柱状片刃石斧 未製品	1
磨製石斧	1
敲き石	2
砾石	3
投擲	1



によって形成されたと考えられるが、完形品が少ないとことから、形態差を含めた詳細な分析は行えなかった。今後の課題としたい。

第3節まとめ

以上、土器・土製品・石器の全体的な傾向を概観したが、これら所見を取りまとめる、VI区のⅢ層出土遺物の特徴は以下のとおりに整理できる。

①土器の年代観から、Ⅲ層出土遺物はVI区の遺構出土遺物の年代観とほぼ同じである。

②特徴的な遺物として抽出できる擬朝鮮系無文土器や顔状土製品の形態や出土グリッドは、同様の遺物が出土した遺構の位置と調和的に理解できる。従って、Ⅲ層出土遺物は本来下位の遺構に帰属した遺物が遊離した可能性が考えられる。

③打製石器の中で出土量の多い石鏃については、全体の約54%が凹基式である。

以上のように考えられるが、VI区で検出した遺構については、Ⅲ層出土遺物の整理からも長期的に営まれた集落とは言いたい。従って、当調査区においては、弥生時代中期前半に集落が営まれるが、その集落は、出土遺構・遺物より朝鮮半島との何らかの関連性を持つ特徴的な集落として位置づけることができる。

さて、高松市教育委員会では当事業に伴う報告書作成を十数年かけて進めてきたが、その報告書の刊行も平成25年度で終了する予定である。今後の報告書刊行予定は、平成24年度にⅢ区の遺構編、平成25年度にⅣ区の遺物編という順で計画している。Ⅲ区はVI区の南側に位置する調査区で、VI区と同様に多数の遺構・遺物が出土した調査区である。加えて、VI区で出土した擬朝鮮系無文土器がⅢ区からも出土しており、奥の坊遺跡を考える場合、非常に重要な調査区と言える。Ⅲ区の調査成果を整理することで、弥生時代中期前半の集落の様相を明らかにできるだけでなく、奥の坊遺跡群全体の時期別の変遷を明らかにできるものと考えられる。今後の報告書作成にあたっては、これまでの成果を総括して、遺跡全体の様相をより具体的に整理することに努めたい。

引用 参考文献

- 1) 擬朝鮮系無文土器の製作技法や傾向については、片岡宏二氏に御教示いただいた。記して謝意を表す。
- 2) 高松市教育委員会(編) 2011『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第9冊 奥の坊遺跡群Ⅸ』高松市教育委員会
- 3) 許(2) 前掲

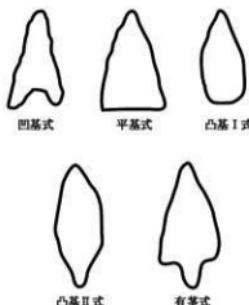


図37 石鏃形態

遺物觀察表

表4 土器・土製品 観察表(1)

監査番号	種類番号	地区	遺物名	基準	量 (cm)		調査		色調		出土	成因
					口径	底径	高さ	外観	内面	上：外側 下：内面		
1	8	03	5001226	新規直	-	-	(16.0)	縫合直筒X4.5-1底高・縫合直筒状 玉造直筒X4.5-1底高・縫合直筒X4.5-1底 高・縫合直筒	縫合ナデ、ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 5.3 に古い褐色	灰 茶以外の石高・灰石・鐵色・金屬色を含む	良好
2	8	03	5001226	新規直	17.1	-	(27.1)	縫合X4.5-1底高	縫合ナデ、ナデ+ナシ、ヘラナデ	T.5W 7.0 灰色 1998 6.0 に古い黄色	灰 茶以外の石高・灰石・鐵色・金屬色を含む	良好
3	9	02	直筒	無縫直	(14.1)	-	(3.6)	ナデ、ヘラナデ。縫合+ガキ	ナデ、ヒガキ	T.5W 4.0 灰色 T.5W 4.0 灰色	灰 2~3cm以下の石高・飛石・雲母付	良好
4	8	02	直筒	広口直	(20.0)	-	(2.6)	口縫合直筒・斜縫合子文	ナデ	T.5W 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石付	良好
5	8	02	直筒	直	(17.2)	-	(7.6)	縫合(不明)	縫合ナデ	T.5W 7.0 灰色	灰 茶以外の石高・灰石・非褐色含む	良好
6	8	02	直筒	直	(20.10)	-	(3.4)	縫合(不明)	縫合ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・灰石含む	良好
7	8	02	直筒	直	(20.03)	-	(3.6)	ナデ、縫合+ガキ	ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
8	8	02	直筒	直	(24.0)	-	(3.15)	縫合(不明)	ナデ	T.5W 4.0 に古い褐色 T.5W 5.0 灰色	灰 茶以外の石高・灰石・非褐色含む	良好
9	8	02	直筒	直	(27.1)	-	(1.6)	縫合(不明)	縫合ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石付	良好
10	9	02	直筒	直	(27.7)	-	(9.7)	ナデ、縫合+ハケ	ナデ、ヒガキ	T.5W 7.0 灰色 1998 7.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石付	良好
11	8	02	直筒	直	(20.10)	-	(3.9)	縫合(不明)	縫合ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石付	良好
12	8	02	直筒	直	(20.05)	-	(3.6)	縫合(不明)	縫合ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石付	良好
13	8	02	直筒	直	(0.5)	-	(3.1)	縫合+ガキ、無オナニ	縫合ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
14	8	02	直筒	(GRD)	-	(0.2)	(2.7)	縫合直ナデ+ヒガキ	ナデ	T.5W 6.0 灰色	小柄	良好
15	8	02	直筒	(GRD)	-	(1.6)	(4.6)	縫合直ナデ、ナデ	縫合ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石・非褐色含む	良好
16	8	02	直筒	(GRD)	-	(6.7)	(4.6)	縫合+ガキ	ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石・非褐色含む	良好
17	8	02	直筒	(GRD)	-	(13.6)	(7.6)	ナデ	縫合ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
18	8	02	直筒	直	(20.0)	-	(3.6)	縫合(不明)	縫合ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
19	9	02	直筒	直口直	(0.4)	-	(5.1)	ナデ	縫合ナデ	T.5W 4.0 灰色 T.5W 5.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
20	9	02	直筒	直口直	(0.6)	-	(3.7)	ナデ、縫合+ハケ	ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
21	9	03	直筒	広口直	(22.7)	-	(3.6)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 7.0 灰色	小柄	良好
22	9	03	直筒	剪刀土器(直筒)	-	(16.2)	(1.6)	ナデ+オナニ	ナデ	T.5W 4.0 灰色 1998 5.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
23	9	03	直筒	直	-	(4.7)	(0.6)	縫合直筒・斜縫合子文	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
24	9	03	直筒	直	(18.45)	-	(3.6)	縫合(不明)	縫合ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
25	9	03	直筒	直	(18.03)	-	(3.6)	ナデ	ナデ	T.5W 7.0 に古い褐色 1998 7.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
26	9	03	直筒	直	(18.01)	-	(3.9)	ナデ	ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
27	9	03	直筒	直	(21.0)	-	(3.6)	ナデ、縫合直筒X4.5-1底高	縫合+ガキ	T.5W 4.0 に古い褐色 1998 4.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
28	9	03	直筒	直	(21.0)	-	(3.2)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
29	9	03	直筒	直	(20.2)	-	(3.12)	ナデ	ナデ、縫合+ガキ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
30	9	03	直筒	直	(21.2)	-	(5.6)	縫合+ハケ	縫合+ガキ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
31	9	03	直筒	直	(21.0)	-	(7.2)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
32	9	03	直筒	直	(21.7)	-	(7.4)	ナデ、縫合+ハケ	ナデ+ヒガキ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
33	9	03	直筒	直	(28.4)	-	(4.6)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
34	9	03	直筒	直	(24.0)	-	(6.7)	縫合+ガキ、無オナニ	縫合+ガキ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
35	9	03	直筒	(GRD)	-	(4.1)	(3.6)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
36	9	03	直筒	(GRD)	-	(3.6)	(3.6)	縫合+ガキ	縫合+ガキ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
37	9	03	直筒	直	(0.9)	-	(3.6)	ナデ、縫合+ガキ	縫合+ガキ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
38	9	03	直筒	(GRD)	-	(3.6)	(3.2)	ナデ、縫合+ガキ	縫合+ガキ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
39	9	03	直筒	直	(0.4)	-	(3.4)	ナデ	ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
40	9	03	直筒	(GRD)	-	(7.4)	(2.6)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
41	9	03	直筒	直	(0.6)	-	(4.2)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
42	9	03	直筒	(GRD)	-	(0.6)	(4.6)	縫合+ガキ	縫合+ガキ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
43	9	03	直筒	(GRD)	-	(4.1)	(11.6)	縫合+ガキ	縫合+ガキ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石・非褐色含む	良好
44	9	04	無縫直	(GRD)	(0.9)	-	(2.7)	縫合直筒・斜縫合子文	縫合+ガキ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
45	9	04	無縫直	(GRD)	(0.4)	-	(3.6)	縫合ハケ	ナデ、縫合ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
46	9	04	無縫直	(GRD)	(0.6)	-	(4.9)	縫合+ガキ	ナデ+ヒガキ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
47	9	04	無縫直	広口直	(13.0)	-	(3.6)	ナデ	ナデ、縫合+ガキ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
48	9	04	無縫直	広口直	(0.9)	-	(19.6)	ナデ、縫合+ハケー+縫合直筒X4.5-1底高	縫合ナデ、無オナニ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
49	9	04	無縫直	広口直	(12.0)	-	(3.6)	縫合直筒・斜縫合子文	ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
50	9	04	無縫直	広口直	(0.6)	-	(3.6)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
51	9	04	無縫直	広口直	(17.1)	-	(3.6)	ナデ	ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
52	9	04	無縫直	広口直	(17.0)	-	(3.1)	ナデ	ナデ	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
53	9	04	無縫直	広口直	(20.0)	-	(1.7)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
54	9	04	無縫直	広口直	(21.0)	-	(4.3)	縫合直筒・斜縫合子文	縫合(不明)	T.5W 6.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
55	9	04	無縫直	直	(4.4)	-	(4.2)	ナデ、縫合ナデ	ナデ、縫合ナデ	T.5W 7.0 灰色 1998 6.0 灰色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
56	9	04	無縫直	直	-	(2.6)	(2.6)	縫合(不明)	縫合(不明)	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好
57	9	04	無縫直	直	(15.4)	-	(2.6)	ナデ	ナデ	T.5W 6.0 に古い褐色 1998 6.0 に古い褐色	小柄 灰 茶以外の石高・飛石含む	良好

土器・土製品 観察表(2)

監査番号	種類番号	地区	遺跡名	基層	流量(cm)		調査		色調	出土	感想
					口径	底高	外側	内側			
58	9	84	■■■	■■■	(15.6)	-	(8.4) 錫銅とガキ	■■■・錫銅とガキ	■■■ 7.4cm に近い褐色 7.5cm 7.4cm に近い褐色	■■■	良好
59	9	84	■■■	■■■	(15.6)	-	(4.2) ナヂ	ナヂ	■■■ 7.4cm に近い褐色 7.5cm 7.4cm に近い褐色	■■■	良
60	9	84	■■■	■■■	(17.2)	-	(3.6) ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
61	9	84	■■■	■■■	(19.6)	-	(4.6) ナヂ、ヘナナヂ	口銃・錫・錫銅とガキ 錫銅とガキ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.4cm に近い褐色	■■■	やや古 錫銅の石英・長石、 6.5~7cmの金剛石含む
62	9	84	■■■	■■■	(20.9)	-	(4.6) 錫銅とガキ	錫・錫銅とガキ	■■■ 6.5cm に近い褐色	■■■	良
63	9	84	■■■	■■■	(20.6)	-	(5.7) 錫銅ハケー錫銅とガキ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
64	9	84	■■■	■■■	(22.0)	-	(4.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色	■■■	良
65	9	84	■■■	■■■	(23.0)	-	(3.1) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 7.0cm に近い褐色	■■■	良好
66	9	84	■■■	■■■	(24.0)	-	(2.7) ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
67	10	84	■■■	■■■	(24.6)	-	(1.6) ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色	■■■	良
68	10	84	■■■	■■■	(21.4)	-	(7.5) 錫銅(不明)	錫銅オナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色	■■■	良
69	10	84	■■■	■■■	-	-	(6.6) 錫銅とガキ 錫銅とガキ、錫銅とガキ	ナヂ、錫銅とガキ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
70	10	84	■■■	■■■	(21.0)	-	(3.4) ナヂ、錫銅オナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
71	10	84	■■■	■■■	(24.6)	-	(2.4) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色	■■■	良
72	10	84	■■■	■■■	(21.6)	-	(3.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
73	10	84	■■■	■■■	(20.6)	-	(18.6) ナヂ、錫銅とガキ	ナヂ、錫銅とガキ、錫オナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
74	10	84	■■■	■■■	(24.8)	-	(4.6) 錫オナヂ	錫銅とガキ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
75	10	84	■■■	■■■	(21.6)	-	(5.7) ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
76	10	84	■■■	■■■	(20.9)	-	(3.6) 錫銅ハケー	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
77	10	84	■■■	■■■	(20.6)	-	(6.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 7.0cm に近い褐色	■■■	良
78	10	84	■■■	■■■	(15.5)	(4.4) ナヂ、錫銅とガキ	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良	
79	10	84	■■■	■■■	(14.6)	(2.4) ナヂ、錫銅とガキ	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良	
80	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(3.6) 錫銅とガキ 錫銅とガキ、錫銅とガキ、内鉢スカリ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好	
81	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	(2.6) 錫銅とガキ、錫銅とガキ	錫銅とガキ、錫銅ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 7.0cm に近い褐色	■■■	良好
82	10	84	■■■	■■■	(4.6)	(3.6) 錫銅(不明)	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好	
83	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	(3.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
84	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	(2.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
85	10	84	■■■	■■■	(7.6)	(4.3) 錫銅ハケー	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好	
86	10	84	■■■	■■■	(7.6)	(4.2) ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良	
87	10	84	■■■	■■■	(7.4)	(4.5) ナヂ	錫銅(不明)	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
88	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(3.7)	錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
89	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	(4.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
90	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	(2.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
91	10	84	■■■	■■■	(7.6)	(4.3) 錫銅(不明)	錫銅とガキ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好	
92	10	84	■■■	■■■	(11.0)	(4.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好	
93	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	(2.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
94	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(5.5)	錫銅とガキ	錫銅ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
95	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(5.6)	錫銅ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
96	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(5.2)	(3.6) 錫銅とガキ、ナヂ	錫オナヂナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
97	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(3.6)	錫銅とガキ	錫ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
98	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(4.2)	ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
99	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(5.3)	錫銅とガキ	ヘナナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
100	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(4.4)	(4.6) ハラクダギー錫銅とガキ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
101	10	84	■■■	■■■	(7.2)	(3.6) 錫銅とガキ、錫銅とガキ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好	
102	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	錫銅とガキ	錫銅とガキ、板状工具の直面	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
103	10	84	■■■	■■■	(7.6)	(4.6)	ハラクダギー錫銅とガキ	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
104	10	84	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	(2.6) 錫銅とガキ	錫銅ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
105	10	84	■■■	■■■	(9.4)	(4.2)	錫銅ハケー錫銅とガキ	錫銅ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
106	11	85	■■■	■■■	(19.4)	-	(4.6) 錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
107	11	85	■■■	■■■	(8.6)	(8.6)	錫銅(不明)	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
108	11	85	■■■	■■■	(16.8)	-	(3.6) 錫銅ハケー	錫銅とガキ	錫銅工具の直面	■■■	良
109	11	85	■■■	■■■	(14.6)	(3.2)	錫銅とガキ	錫銅とガキ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
110	11	85	■■■	■■■	(21.0)	(3.7)	ナヂ	錫銅とガキ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
111	11	85	■■■	■■■	(4.6)	(3.6)	錫銅ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
112	11	85	■■■	■■■	(7.6)	(4.2)	錫銅(不明)	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
113	11	85	■■■	■■■	(11.6)	(4.4)	ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良
114	11	85	■■■	■■■	(8.6)	(7.4)	錫銅とガキ	錫銅(不明)	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 6.5cm に近い褐色	■■■	良好
115	11	85	■■■	■■■	(8.6)	(4.4)	錫銅ナヂ	ナヂ	■■■ 6.5cm に近い褐色 7.5cm 7.2cm に近い褐色	■■■	良好

土器・土製品 観察表 (3)

土器・土製品 観察表 (4)

番号	国名	地区	選択名	番号	法量 (m)			調査		色図		地土
					口径	高さ	幅員	外観	内観	上：外観 下：内観		
173	12	P3	黒面	偏	(28.2)	-	(1.6)	壁紙(不明)	ナデ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
174	12	P3	黒面	偏	(31.6)	-	(1.6)	壁紙(ハケ)	ナデ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
175	12	P3	黒面	偏	(29.8)	-	(1.4)	ナデ、壁紙ハターナデ	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
176	12	P3	黒面	偏	(28.4)	-	(1.9)	壁紙(ハケ)	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
177	12	P3	黒面	偏	(29.4)	-	(1.6)	壁紙(ハケ)	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
178	12	P3	黒面	偏	(21.6)	-	(1.6)	ナデ、壁紙ハターナデ	壁紙ミボキ、壁オナ-ヘ-板ナデ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
179	12	P3	黒面	偏	(24.6)	-	(1.7)	ナデ、壁紙(ハケ)	ナデ、壁紙ミボキ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
180	12	P3	黒面	偏	(18.0)	-	(1.7)	ナデ、壁紙(ハケ)	ナデ、壁紙ミボキ、ヘラナデ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 7.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・赤褐色合む	良好
181	12	P3	黒面	偏	(18.1)	-	(2.2)	ナデ、壁紙(ハケ)	ナデ	2.18m 4.2 黄緑色 2.18m 4.2 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・赤褐色合む	良好
182	12	P3	黒面	偏	(18.4)	-	(1.6)	ナデ	壁紙(不明)	2.18m 4.2 黄緑色 2.18m 4.2 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
183	12	P3	黒面	偏	(18.0)	-	(7.0)	壁紙(不明)	ナデ、壁紙ミボキ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
184	12	P3	黒面	偏	(18.0)	-	(1.2)	壁紙ミボキ、壁オナニ	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
185	12	P3	黒面	偏	(18.0)	-	(1.7)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 6.0 緑色 2.18m 7.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・赤褐色合む	良好
186	12	P3	黒面	偏	(18.4)	-	(1.6)	ナデ	ナデ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
187	12	P3	黒面	偏	(24.0)	-	(1.6)	壁紙ミボキ	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
188	12	P3	黒面	偏	(18.4)	-	(1.4)	壁紙ミボキ、壁オナニ	壁紙(不明)	2.18m 6.0 緑色 2.18m 6.0 緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
189	12	P3	黒面	偏	(19.0)	-	(2.1)	壁紙(不明)	ナデ	2.18m 6.0 明黄色 2.18m 6.0 明黄色	今やの 壁紙の白面・赤褐色合む	良好
190	12	P3	黒面	偏	(22.6)	-	(1.6)	壁紙(不明)木目模様(木目)	ナデ	2.18m 6.0 明黄色 2.18m 6.0 明黄色	今やの 壁紙の白面・赤褐色合む	良
191	12	P3	黒面	偏	(24.0)	-	(1.6)	ナデ、壁オサ子	ナデ、壁オサ子	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・赤褐色合む	良好
192	12	P3	黒面	偏	(18.1)	-	(7.4)	壁紙ミボキ、壁オナニ	壁紙ナデ-壁紙ミボキ	2.18m 6.0 赤褐色 2.18m 6.0 赤褐色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
193	12	P3	黒面	偏	(17.0)	-	(3.1)	ナデ	壁紙(不明)	2.18m 6.0 赤褐色 2.18m 6.0 赤褐色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
194	12	P3	黒面	偏	(23.0)	-	(1.6)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 7.0 黄緑色 2.18m 7.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
195	12	P3	黒面	偏	(25.0)	-	(1.6)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
196	12	P3	黒面	偏	(27.0)	-	(1.4)	ナデ	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
197	12	P3	黒面	偏	(27.0)	-	(1.4)	ナデ	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
198	12	P3	黒面	偏	(28.0)	-	(1.6)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
199	12	P3	黒面	偏	(28.4)	-	(7.6)	ナデ	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・赤褐色合む	良
200	12	P3	黒面	偏	(24.0)	-	(6.1)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 7.0 黄緑色 2.18m 7.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・赤褐色合む	良
201	12	P3	黒面	偏	(24.0)	-	(1.6)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・赤褐色合む	良
202	12	P3	黒面	偏	(25.0)	-	(2.1)	壁紙(木目)	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
203	12	P3	黒面	偏	(24.0)	-	(1.6)	壁紙(木目)	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良
204	14	P3	黒面	(偏)	-	(6.4)	(4.2)	ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・赤褐色合む	良好
205	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.4)	(2.6)	壁紙ミボキ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
206	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.4)	(2.6)	壁紙(不明)	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
207	14	P3	黒面	(偏)	-	(6.7)	(3.6)	壁紙(不明) + ナデ	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
208	14	P3	黒面	(偏)	-	(6.0)	(3.7)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
209	14	P3	黒面	(偏)	-	(7.6)	(4.9)	ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 7.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
210	14	P3	黒面	(偏)	-	(6.4)	(3.8)	壁紙(不明)	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・赤褐色合む	良好
211	14	P3	黒面	(偏)	-	(7.0)	(4.4)	壁紙+ナデ	壁紙ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
212	14	P3	黒面	(偏)	-	(4.6)	(4.6)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
213	14	P3	黒面	(偏)	-	(18.6)	(3.6)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 7.0 黄緑色 2.18m 7.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
214	14	P3	黒面	(偏)	-	(4.6)	(2.8)	壁紙ミボキ+ナデ	壁紙ミボキ+ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・壁紙合む	良好
215	14	P3	黒面	(偏)	-	(6.8)	(3.0)	ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・壁紙合む	良好
216	14	P3	黒面	(偏)	-	(4.4)	(2.8)	ナデ、壁オサ子	ナデ、壁オサ子	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
217	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.6)	(3.0)	壁紙ミボキ+ナデ	壁紙ミボキ+ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
218	14	P3	黒面	(偏)	-	(7.6)	(3.4)	壁紙(不明)	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
219	14	P3	黒面	(偏)	-	(7.0)	(3.5)	壁紙ミボキ+ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
220	14	P3	黒面	(偏)	-	(7.6)	(3.6)	壁紙ミボキ+ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・金属性合む	良好
221	14	P3	黒面	(偏)	-	(9.2)	(4.6)	壁紙	壁紙(不明)	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
222	14	P3	黒面	(偏)	-	(18.0)	(3.6)	壁紙ミボキ+ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
223	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.6)	(4.1)	壁紙ミボキ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
224	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.6)	(4.2)	壁紙ミボキ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石・壁紙合む	良好
225	14	P3	黒面	(偏)	-	(4.4)	(5.1)	壁紙ミボキ+ナデ、壁紙ミボキ+ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
226	14	P3	黒面	(偏)	-	(7.6)	(7.7)	壁紙ミボキ+ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
227	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.6)	(4.2)	壁紙ミボキ	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
228	14	P3	黒面	(偏)	-	(8.2)	(3.4)	壁紙ミボキ+ナデ	壁紙ミボキ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
229	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.6)	(4.3)	壁紙ミボキ+ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好
230	14	P3	黒面	(偏)	-	(5.6)	(4.5)	壁紙ミボキ+ナデ	ナデ	2.18m 6.0 黄緑色 2.18m 6.0 黄緑色	今やの 壁紙の白面・黒石合む	良好

土器・土製品 観察表(5)

監査号	検査番号	地区	遺物名	基準	量 (cm)		調査		色調	出土	感想	
					口径	高さ	外観	内観				
231	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(5.2) (4.9)	縦線とギザ	ナゲ	GPR 4/6 黄褐色	縫	良好	
232	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(5.6)	縦線とギザ	縦線(不規)	GPR 5/6 黄褐色	縫	良好	
233	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(5.2)	縦線とギザ	ナゲ	GPR 5/6 黄褐色	縫	良好	
234	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(6.0)	縦線とギザ	ナゲ	GPR 7/6 黄褐色	縫	良好	
235	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(6.0)	縦線とギザ	縦線(ギザ)	GPR 6/5 に近い褐色	縫	良好	
236	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(6.4)	縦線とギザ	ナゲ	T-STR 6/5 緑色	縫	良好	
237	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(7.6)	縦線とギザ	縦線(不規)	T-STR 6/5 緑色	縫	良好	
238	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(6.2)	縦線とギザ	縦線ナゲ	GPR 5/6 黄褐色	縫	良好	
239	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(7.4)	縦線ハーケー縦線とギザ	ナゲ	GPR 5/6 に近い褐色	縫	良好	
240	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(10.6)	(3.2)	縦線とギザ	縦線(不規)	GPR 6/4 に近い褐色	縫	良好
241	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(14.0)	(4.7)	縦線とギザ	縦線ナゲ	GPR 6/4 に近い褐色	縫	良好
242	14	F2	陶器	(鉢底)	-	(16.0)	(5.4)	縦線とギザ	縦線(ギザ)	GPR 6/4 に近い褐色	縫	良好
243	14	F4	陶器	無底盤	(7.4)	-	(6.2)	縦線とギザ(文様)、縦線模様	ナゲ(縞目)	GPR 5/6 淡褐色	縫	良好
244	14	F4	陶器	無底盤	-	(8.5)	縦線とギザ(文様)、縦線模様	ナゲ	GPR 5/6 に近い褐色	縫	良好	
245	14	F4	陶器	無底盤	(12.3)	-	(3.5)	縦線とギザ	縦線(不規)	GPR 6/4 に近い褐色	縫	良好
246	14	F4	陶器	無底盤	(12.4)	-	(3.4)	縦線(不規)	縦線ナゲ	GPR 6/4 に近い褐色	縫	良好
247	14	F4	陶器	無底盤	(26.6)	-	(4.6)	ナゲ、刷毛文	ナゲ	T-STR 6/5 緑色	縫	良好
248	14	F4	陶器	底口蓋	(0.2)	-	(4.6)	縦線(不規)	縦線(不規)	GPR 4/5 黄褐色	縫	良好
249	14	F4	陶器	底口蓋	(0.4)	-	(4.6)	縦線とギザ	縦線とギザ	GPR 4/5 黄褐色	縫	良好
250	14	F4	陶器	底口蓋	-	(3.6)	口縁部・穿孔孔(縦線模様)、縦線模様文(手写)、縦線模様	ナゲ	GPR 4/5 黄褐色	縫	良好	
251	15	F4	陶器	底?	(7.2)	-	(2.6)	縦線(不規)	縦線ナゲ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
252	15	F4	陶器	底口蓋	(0.4)	-	(3.6)	縦線(不規)	縦線(不規)	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
253	15	F4	陶器	底	(0.2)	-	(3.4)	ナゲ	ナゲ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
254	15	F4	陶器	底	(13.0)	-	(3.4)	ナゲ	ナゲ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
255	15	F4	陶器	底口蓋	(33.3)	-	(1.6)	ナゲ	ナゲ	T-STR 5/6 に近い褐色	縫	良好
256	15	F4	陶器	底口蓋	(4.4)	-	(4.2)	縦線(不規)	縦線とギザ	GPR 4/5 に近い褐色	縫	良好
257	15	F4	陶器	底口蓋	(33.2)	-	(2.1)	ナゲ	ナゲ	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
258	15	F4	陶器	底口蓋	(0.4)	-	(4.2)	縦線(不規)	縦線(不規)	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
259	15	F4	陶器	底口蓋	(0.5)	-	(5.1)	縦線(不規)	縦線とギザ	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
260	15	F4	陶器	底口蓋	(0.6)	-	(5.2)	縦線(不規)	縦線とギザ	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
261	15	F4	陶器	底口蓋	(21.0)	-	(3.6)	縦線ハケ	縦線(不規)	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
262	15	F4	陶器	底口蓋	(44.2)	-	(7.6)	ナゲ	ナゲ	GPR 4/5 に近い褐色	縫	良好
263	15	F4	陶器	底	-	-	(3.4)	縦線・刷毛文、縦オサニ	ナゲ	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
264	15	F4	陶器	底口蓋	(24.6)	-	(6.6)	ナゲ、口縁部ハケ	縦線ナゲ・縦オサニ	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
265	15	F4	陶器	底口蓋	(26.7)	-	(6.7)	縦線ハケ、口縁部ハケ	縦オサニ	GPR 7/6 に近い褐色	縫	良好
266	15	F4	陶器	台付柄	-	(0.4)	(2.9)	内側にカスリ(上口付)	縦線(不規)	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
267	15	F4	陶器	底口蓋	(38.7)	-	(3.6)	ナゲ	ナゲ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
268	15	F4	陶器	底口蓋	(35.6)	-	(3.1)	縦線ハケ	縦線とギザ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
269	15	F4	陶器	底口蓋	-	(6.6)	縦線とギザ	板状・縦線とギザ・縦オサニ	ナゲ	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
270	15	F4	陶器	底口蓋	-	(9.2)	ハケー・縦線とギザ	縦線とギザ	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好	
271	15	F4	陶器	底	-	(4.6)	縦線	縦線	縦線	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
272	15	F4	陶器	不明	5.6	-	(3.2)	縦線とギザ	ナゲ	GPR 5/6 黄褐色	縫	良好
273	15	F4	陶器	底	-	(2.7)	ナゲ	ナゲ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好	
274	15	F4	陶器	底	-	(14.0)	(1.9)	ナゲ、底付(上口付)(鉢底)	ナゲ	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
275	15	F4	陶器	底	(14.1)	-	(5.4)	ナゲ	ナゲ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
276	15	F4	陶器	底	(14.6)	-	(6.0)	縦線(不規)、縦線模様文(手写)、縦線模様	ナゲ	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
277	15	F4	陶器	底	(15.6)	-	(5.6)	ナゲ	ナゲ	T-STR 7/6 黄褐色	縫	良好
278	15	F4	陶器	底	(17.2)	-	(7.2)	ナゲ、縦線模様文(手写)、縦線模様	ナゲ	T-STR 5/6 に近い褐色	縫	良好
279	15	F4	陶器	底	(18.4)	-	(2.8)	ナゲ	縦線(不規)	T-STR 6/5 黄褐色	縫	良好
280	15	F4	陶器	底	(19.2)	-	(4.7)	縦線(不規)	縦線(不規)	T-STR 6/5 黄褐色	縫	良好
281	15	F4	陶器	底	(19.8)	-	(2.6)	縦線(不規)	ナゲ	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
282	15	F4	陶器	底	(20.2)	-	(5.6)	縦線ハケ	縦線とギザ	T-STR 6/5 黄褐色	縫	良好
283	15	F4	陶器	底	(20.6)	-	(6.4)	縦線(不規)、穿孔(上口付)	ナゲ	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
284	15	F4	陶器	底	(20.6)	-	(4.6)	縦線(不規)	ナゲ	T-STR 6/5 黄褐色	縫	良好
285	15	F4	陶器	底	(20.6)	-	(3.1)	ナゲ、縦オサニ	ナゲ	T-STR 6/5 黄褐色	縫	良好
286	15	F4	陶器	底	(21.7)	-	(3.9)	縦線(不規)	縦線ハケ	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
287	15	F4	陶器	底	(20.6)	-	(7.0)	縦線(不規)	縦線(不規)	T-STR 6/5 に近い褐色	縫	良好
288	15	F4	陶器	底	(20.4)	-	(5.6)	縦線(不規)	縦線とギザ	T-STR 6/4 に近い褐色	縫	良好

土器・土製品 観察表 (6)

土器・土製品 観察表(7)

監査号	種類番号	地区	遺跡名	基層	流量(cm)		調査		色調	出土	鑑定	
					口径	高さ	外側	内側				
247	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(4.4)	(4.6)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 7.0 明褐色	やや青	良
248	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.4)	(3.4)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良
249	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.4)	(3.5)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良
250	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.1)	(3.2)	縹緹 ^{ミタキ}	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良好
251	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.4)	(3.3)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良
252	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.2)	(3.6)	ナゲ	ナゲ	T.3W 5.0 にぼい褐色	やや青	良好
253	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.4)	(3.4)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良
254	18	P4	■■■	(遺跡)	-	5.8	(2.4)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 5.0 にぼい褐色	やや青	良好
255	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.4)	(3.1)	ナゲ	ナゲナラ	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良好
256	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(7.0)	(4.5)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 5.0 にぼい褐色	やや青	良
257	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.4)	(3.6)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良好
258	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.2)	(2.7)	ナゲ	ナゲナラ	T.3W 6.0 明褐色	やや青	良好
259	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(4.6)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
260	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.0)	(3.1)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
261	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.9)	(3.9)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
262	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(3.7)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
263	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.4)	(3.7)	縹緹 ^{ミタキ} 一物オナラ	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
264	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.4)	(3.4)	ヒガニ	ヒガニ	T.3W 7.0 明褐色	中や青	良
265	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(14.7)	(2.1)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲナラ	T.3W 5.0 にぼい褐色	やや青	良好
266	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.0)	(3.4)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
267	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(9.3)	(4.6)	縹緹 ^{ミタキ}	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	T.3W 5.0 にぼい褐色	やや青	良好
268	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.3)	(3.6)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
269	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(3.9)	ナゲ	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
270	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.0)	(3.4)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 5.0 にぼい褐色	やや青	良好
271	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.2)	(3.4)	ヒガニ	ヒガニ	T.3W 5.0 にぼい褐色	中や青	良
272	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.4)	(3.6)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
273	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(3.3)	ナゲ	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
274	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(3.9)	ナゲ	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
275	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(4.0)	(3.6)	縹緹 ^{ミタキ}	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
276	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(4.2)	縹緹 ^{ミタキ}	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
277	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.2)	(4.5)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
278	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.5)	(3.8)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
279	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(4.5)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
280	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(7.4)	(7.2)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
281	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.4)	(4.2)	ナゲ	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
282	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.4)	(3.9)	ナゲ	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
283	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.6)	(3.6)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
284	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(9.2)	(3.1)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 5.0 明褐色	中や青	良
285	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.1)	(3.6)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
286	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.7)	(4.6)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 5.0 にぼい褐色	やや青	良好
287	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.0)	(3.4)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
288	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.4)	(6.0)	縹緹 ^{ミタキ}	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
289	18	P4	■■■	(遺跡)	-	9.4	(7.4)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 4.0 にぼい褐色	やや青	良好
290	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(6.0)	(11.4)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 6.0 反対褐色	やや青	良好
291	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(11.4)	(4.6)	縹緹 ^{ミタキ} 一ガニオナラ	ナゲナラ	T.3W 7.0 にぼい褐色	やや青	良
292	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(7.6)	(6.1)	縹緹 ^{ミタキ} 一縹緹 ^{ミタキ}	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
293	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(7.4)	(3.2)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
294	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.4)	(6.0)	縹緹 ^{ミタキ}	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
295	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.0)	(6.2)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
296	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(7.4)	(7.7)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
297	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(9.4)	(4.6)	縹緹 ^{ミタキ}	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
298	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(5.2)	(4.6)	縹緹 ^{ミタキ}	縹緹 ^{ミタキ}	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
299	18	P4	■■■	(遺跡)	-	7.8	(3.6)	ナゲ	ナゲナラ	T.3W 7.0 明褐色	中や青	良
300	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(10.3)	(4.3)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
301	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(10.4)	(6.2)	縹緹 ^{ミタキ} 一ガニオナラ	ナゲナラ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
302	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(8.4)	(4.4)	ナゲ	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良
303	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(12.4)	(4.7)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好
304	18	P4	■■■	(遺跡)	-	(10.6)	(7.4)	縹緹 ^{ミタキ} (不明)	ナゲ	T.3W 6.0 にぼい褐色	やや青	良好

土器・土製品 観察表(8)

監査号	検査番号	地区	遺物名	基準	量 (cm)		調査		色調	出土	級成
					口径	高さ	外観	内面			
405	18	P4	直筒	(鉢底)	-	(8.0)	縁付・縫合(不明)	底ナメ	GTR 6/4 に沿い褐色	やや乾	良好
406	18	P4	直筒	(鉢底)	-	(7.4)	(3.6) ナメ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
407	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(5.0)	(4.6) 縫合ハケ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
408	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(5.6)	(3.6) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
409	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(6.6)	(3.9) 縫合ナメ	ナメ	T. STW 7/3 に沿い褐色	やや乾	良
410	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(5.6)	(3.1) 縫合ミガキ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
411	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(6.0)	(2.6) ナメ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
412	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(13.0)	(3.6) 縫合ミガキ	底ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
413	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(13.0)	(4.4) 縫合(不明)	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
414	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(5.0)	(3.6) ナメ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
415	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(8.0)	(4.8) 縫合・縫合(不明)・縫合(不明)	縫合ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
416	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(5.6)	(3.2) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 7/3 に沿い褐色	やや乾	良好
417	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(6.0)	(1.9) 縫合・縫合(不明)・縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
418	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(6.0)	(4.6) ナメ・縫合(不明)・縫合(不明)	ミガキ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
419	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(6.7)	(6.0) 縫合(不明)	上端:ナメナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
420	19	P4	直筒	(鉢底)	-	(6.0)	(6.0) 縫合ミガキ・縫合(不明)・縫合ミガキ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
421	19	P4	直筒	(縫合)	-	(2.5)	(1.6) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
422	19	P4	直筒	(縫合)	-	(6.0)	(2.6) ナメ	ナメ	T. STW 6/2 に沿い褐色	良	良
423	19	P5	直筒	(縫合)	(2.2)	(3.9)	縫合ハケ	ナメ	T. STW 6/2 に沿い褐色	良	良
424	19	P5	直筒	(縫合)	(9.0)	(3.7)	縫合ミガキ	縫合ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
425	19	P5	直筒	(縫合)	(16.0)	(3.1)	ナメ	縫合ミガキ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
426	19	P5	直筒	(縫合)	(2.0)	(3.9)	ナメ	縫合ミガキ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
427	19	P5	直筒	(縫合)	(2.0)	(3.7)	ナメ	縫合(不明)・縫合(不明)・縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
428	19	P5	直筒	(縫合)	(2.0)	(18.4)	縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
429	19	P5	直筒	(縫合)	-	(4.2)	(3.7) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
430	19	P5	直筒	(縫合)	-	(4.0)	(3.6) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
431	19	P5	直筒	(縫合)	-	(4.0)	(3.6) 縫合(不明)	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
432	19	P5	直筒	(縫合)	-	(17.2)	(3.7) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
433	19	P5	直筒	(縫合)	(18.0)	(3.1)	ナメ	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
434	19	P5	直筒	(縫合)	(18.0)	(3.7)	ナメ	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
435	19	P5	直筒	(縫合)	(18.0)	(4.4)	ナメ	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
436	19	P5	直筒	(縫合)	(18.0)	(3.1) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
437	19	P5	直筒	(縫合)	(2.0)	(3.6) ナメ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
438	19	P5	直筒	(縫合)	(2.0)	(3.6) 縫合ミガキ	縫合ミガキ、底ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
439	20	P5	直筒	(縫合)	(17.0)	(4.6) 縫合ハケ	縫合ミガキ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好	
440	20	P5	直筒	(縫合)	(19.0)	(3.1) ナメ	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
441	20	P5	直筒	(縫合)	(26.0)	(3.7) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
442	20	P5	直筒	(縫合)	(26.0)	(3.6) 縫合ハケ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
443	20	P5	直筒	(縫合)	(26.0)	(3.9) ナメ	縫合ナメ	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
444	20	P5	直筒	(縫合)	(27.0)	(3.6) 縫合(不明)	縫合ミガキ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
445	20	P5	直筒	(縫合)	(27.0)	(3.6) 縫合(不明)	縫合ミガキ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好	
446	20	P5	直筒	(縫合)	(27.0)	(3.7) 縫合ハケ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好	
447	20	P5	直筒	(縫合)	(27.0)	(3.6) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
448	20	P5	直筒	(縫合)	(28.0)	(4.7) ナメ	縫合ハケ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好
449	20	P5	直筒	(縫合)	(28.0)	(4.7) 縫合(不明)	縫合ミガキ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良
450	20	P5	直筒	(縫合)	(35.0)	(3.2) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
451	20	P5	直筒	(縫合)	(35.0)	(3.6) 縫合(不明)	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
452	20	P5	直筒	(縫合)	(35.0)	(4.6) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
453	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(3.7) 縫合(不明)	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
454	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(4.6) 縫合(不明)	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好	
455	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(4.6) ナメ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
456	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(3.9) 縫合ハケ	ヘタケヌ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
457	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(3.4) 縫合ミガキ	ミガキ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
458	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(3.6) 縫合ミガキ	縫合(不明)	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良好	
459	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(3.9) 縫合ミガキ	ナメナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
460	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(3.6) 縫合ナメ	ナメナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	
461	20	P5	直筒	(縫合)	(37.0)	(3.6) 縫合ナメ	ナメ	T. STW 6/3 に沿い褐色	やや乾	良	

土器・土製品 觀察表 (9)

土器・土製品 観察表 (10)

基盤 番号	種類 番号	地区	遺物名 目次番号	基盤	法量 (cm)		調査		色調		出土	識別	
					口径	底径	高さ	外側	内側	上：外側 下：内側			
520	22	63	■■■	(底付)	-	(8.4)	(3.6)	筒オナホ	ナゾ、筒オナホ	T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良	
521	22	63	■■■	(底付)	-	(7.6)	(3.2)	ナゾ、縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良好	
522	22	63	■■■	(底付)	-	(8.4)	(3.6)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良好	
523	22	64	■■■	無底盤	(6.4)	-	(3.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良	
524	22	64	■■■	無底盤	(6.5)	-	(3.6)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色 T.5W 6/3 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良好	
525	22	64	■■■	底付蓋	(9.4)	-	(3.2)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良好	
526	22	64	■■■	底付蓋	(11.2)	-	(2.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良好	
527	22	64	■■■	底付蓋	(28.6)	-	(2.6)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良好	
528	22	64	■■■	底付蓋	(17.0)	-	(3.7)	縦肋ミガキ	縦・横肋ミガキ	T.5W 5/1 に沿う褐色 T.5W 5/1 に沿う褐色 T.5W 5/1 に沿う褐色 T.5W 5/1 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良	
529	22	64	■■■	底付蓋	(18.0)	-	(4.0)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 5/1 に沿う褐色 T.5W 5/1 に沿う褐色 T.5W 5/1 に沿う褐色 T.5W 5/1 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良好	
530	22	64	■■■	底付蓋	(17.4)	-	(2.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 2/7 に沿う褐色 T.5W 2/7 に沿う褐色 T.5W 2/7 に沿う褐色 T.5W 2/7 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良	
531	22	64	■■■	縫	(22.7)	(14.4)	(19.4)	10.61(縫跡)・縫跡状文(縫跡) 10.62(縫跡)・縫跡状文(縫跡) 10.63(縫跡)・縫跡状文(縫跡) 10.64(縫跡)・縫跡状文(縫跡)	縫合ミガキ	T.5W 4/2 に沿う褐色 T.5W 4/2 に沿う褐色 T.5W 4/2 に沿う褐色 T.5W 4/2 に沿う褐色	や や や や	良好	
532	22	64	■■■	縫	(18.0)	-	(3.6)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 4/2 に沿う褐色 T.5W 4/2 に沿う褐色 T.5W 4/2 に沿う褐色 T.5W 4/2 に沿う褐色	や や や や	良	
533	22	64	■■■	縫	(15.2)	-	(3.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色	やや暗 やや暗 やや暗 やや暗	良	
534	22	64	■■■	縫	(17.0)	-	(2.3)	ナゾ	ナゾ	T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色	や や や や	良好	
535	22	64	■■■	縫	(18.2)	-	(4.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
536	22	64	■■■	縫	(19.0)	-	(3.6)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色	や や や や	良	
537	22	64	■■■	縫	(20.0)	-	(3.7)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色	や や や や	良	
538	22	64	■■■	縫	(24.4)	-	(2.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
539	22	64	■■■	縫	(27.0)	-	(4.2)	ナゾ	縦肋ミガキ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
540	22	64	■■■	縫	(24.6)	-	(4.2)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
541	22	64	■■■	縫	(26.6)	-	(4.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
542	22	64	■■■	縫	(28.6)	-	(4.4)	ナゾ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
543	22	64	■■■	縫	(15.2)	-	(3.4)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色	や や や や	良	
544	22	64	■■■	縫	(28.2)	-	(3.3)	ナゾ	ナゾ	T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色 T.5W 6/2 に沿う褐色	や や や や	良好	
545	22	64	■■■	縫	(19.2)	-	(4.6)	縦肋ミガキ	ヘターナゾ、縦肋ミガキ	T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色	や や や や	良好	
546	22	64	■■■	縫	(21.0)	-	(4.6)	ナゾ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
547	22	64	■■■	縫	(19.6)	-	(3.6)	ナゾ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
548	22	64	■■■	縫	(18.4)	-	(13.6)	縫跡ミガキ、縫跡ミガキ	ナゾ、縫跡ミガキ	T.5W 2/7 に沿う褐色 T.5W 2/7 に沿う褐色 T.5W 2/7 に沿う褐色 T.5W 2/7 に沿う褐色	や や や や	良	
549	22	64	■■■	縫	(28.0)	-	(3.4)	ナゾ	ナゾ(縫合部に剥離)	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
550	22	64	■■■	縫	(34.4)	-	(13.6)	ナゾ	ナゾ、筒オナホ	T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色 T.5W 7/4 に沿う褐色	や や や や	良好	
551	22	64	■■■	縫	17.7	7.0	(28.2)	ナゾ、縦肋ミガキ、筒オナホ	ナゾ、縦肋ミガキ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
552	22	64	■■■	縫	(26.6)	-	(8.4)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良好	
553	22	64	■■■	縫	(26.6)	-	(8.4)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
554	22	64	■■■	縫	(26.6)	-	(7.4)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
555	22	64	■■■	縫	(16.0)	(4.3)	ナゾ	ナゾ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
556	22	65	■■■	縫	(26.6)	-	(7.3)	縦肋ミガキ	縦肋ミガキ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良好	
557	22	65	■■■	縫	(26.6)	-	(5.6)	縦肋ミガキ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良	
558	22	65	■■■	縫	(26.6)	-	(3.7)	ナゾ	ナゾ	T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色 T.5W 6/1 に沿う褐色	や や や や	良好	

法量の欄()内の数値は復元値、[]内の数値は残存値を示す。また、基盤を特定できなかった個体は、()で出土した部位を示した。

石器 観察表 (1)

掲載番号	埠団番号	地区	器種	法量 (cm)			重量 (g)	石材	備考
				長さ	幅	厚さ			
1	24	E2	石礫	2.2	3.0	0.4	1.7	サヌカイト	切先と基部折損。両面：浅形細部調査。
2	24	E2	石礫	2.5	1.1	0.3	1.1	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～浅形細部調査。
3	24	E2	石礫	3.0	1.2	0.3	1.1	サヌカイト	高基式。切先折損。両面：施洗～浅形細部調査。
4	24	E2	石礫	2.5	1.6	0.3	1.1	サヌカイト	切先のみ残存。両面：大いに磨耗。
5	24	E2	尖頭石製品	5.6	2.5	0.4	7.1	サヌカイト	高基式。切先折損。両面：施洗～浅形細部調査。
6	24	E2	石礫未製品	3.7	2.7	1.6	8.3	サヌカイト	高基式。切先折損。両面：施洗～浅形細部調査。
7	24	E2	打削石包丁	6.3	3.9	0.9	25.6	サヌカイト	一部折損。骨面：背面加工。刃部：浅形細部調査。使用痕あり。
8	24	E2	打削石包丁	6.2	4.1	0.7	21.0	サヌカイト	一部折損。骨面：背面加工。刃部：浅形細部調査。使用痕あり。
9	24	E2	削器	3.2	2.9	0.7	7.3	サヌカイト	一部折損。骨面：背面加工。刃部：浅形細部調査。摩耗。
10	24	E2	削器	4.5	4.3	0.7	14.4	サヌカイト	一部折損。刃部：両面浅形細部調査。摩耗。
11	24	E2	標記石器	7.9	7.5	1.9	92.1	サヌカイト	石材素材。上：一面研削に覆れ。
12	24	E2	石核	8.2	10.2	2.3	275.1	サヌカイト	上：一面研削に覆れ。小型剥片を調査。
13	24	E2	砾石	6.2	7.7	3.4	241.0	砂岩	一部欠損。両面：浅形細部調査。
14	25	E3	石礫	2.1	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	高基式。完形。両面：浅形細部調査。
15	25	E3	石礫	3.5	1.7	0.6	4.0	サヌカイト	高基式。完形。両面：浅形細部調査。
16	25	E3	石礫未製品	3.7	1.7	0.6	2.2	サヌカイト	石材素材。上：一面研削に覆れ。
17	25	E3	石礫	2.6	1.3	0.3	0.8	サヌカイト	高基式。完形。両面：一部：西～浅形細部調査。
18	25	E3	石礫	3.8	1.2	0.5	2.6	サヌカイト	高基式。完形。両面：浅形細部調査。
19	25	E3	打削石包丁	3.3	3.4	0.9	8.3	サヌカイト	側面のみ残存。残りあり。骨面：背面加工。刃部：無い両面磨耗。
20	25	E3	打削石包丁	4.6	3.9	0.8	10.4	サヌカイト	一部折損。抉りあり。背部：背面加工。刃部：微細剝離痕あり。側面：研磨。
21	25	E3	打削石包丁	6.3	3.4	1.0	24.5	サヌカイト	一部折損。抉りあり。二部バナナあり。背部：背面加工。刃部：浅形細部調査。摩耗。
22	25	E3	玉髄未調査品	5.5	3.6	0.65	9.7	サヌカイト	高基式。完形。両面：刃部：浅形細部調査。
23	25	E3	打削石劍	4.5	3.1	0.8	15.0	サヌカイト	高基式。のみ残存。使用痕：刃部：刃部。
24	25	E3	M.F.	4.4	3.1	0.5	7.8	サヌカイト	一部折損。剥片表面：刃部：微細剝離痕あり。
25	25	E3	石核	1.9	1.0	0.5	5.8	サヌカイト	側面のみ残存。残りあり。刃部：研磨。
26	25	E3	石核	2.0	1.7	0.5	5.7	サヌカイト	側面のみ残存。残りあり。刃部：研磨。
27	25	E3	刮削器	2.7	3.6	0.5	8.3	サヌカイト	側面のみ残存。残りあり。刃部：研磨。
28	25	E3	石墨	18.0	7.2	5.8	590.8	砂岩	一部残存。研磨。
29	25	E3	砾片刀片石斧	3.7	3.2	1.1	19.0	砂岩	両面研磨。残りあり。刃部：やすり棒。
30	26	FS	石核	2.9	2.3	0.5	1.4	サヌカイト	高基式。完形。骨面：浅形細部調査。腹面：一部に毎改め研磨面。
31	26	FS	石核	3.0	1.7	0.4	1.4	サヌカイト	高基式。完形。両面：浅形細部調査。
32	26	FS	石核	2.4	1.6	0.4	1.4	サヌカイト	高基式。完形。両面：浅形細部調査。
33	26	FS	石核	2.1	1.3	0.5	1.4	サヌカイト	高基式。完形。両面：浅形細部調査。骨面：施洗形細部調査。腹面：浅形細部調査。
34	26	FS	打削石包丁	4.8	3.5	0.6	16.5	サヌカイト	一部研磨。刃部：背面：両面浅形細部調査。摩耗。側面部に自然面残存。
35	26	FS	打削石包丁	5.0	4.3	1.1	24.1	サヌカイト	一部研磨。刃部：背面：背面加工。刃部：研磨。
36	26	FS	打削石包丁	6.5	4.1	0.6	30.7	サヌカイト	一部研磨。刃部：背面：研磨。
37	26	FS	往突片刃石斧	7.9	3.3	2.2	130.7	練泥片岩	一部に歳差痕あり。石材：水晶石含む
38	27	E4	石核?	2.3	1.6	0.3	6.6	サヌカイト	高基式。完形。側面：施洗～浅形細部調査。
39	27	E4	石核?	2.3	1.6	0.3	1.1	サヌカイト	高基式。完形。側面：施洗～浅形細部調査。
40	27	E4	石核?	2.5	1.6	0.2	1.1	サヌカイト	高基式。完形。側面部と刃部の一部折損。大型石核。
41	27	E4	石核	2.7	2.0	0.5	1.9	サヌカイト	側面：施洗形細部調査。腹面：施洗形細部調査。
42	27	E4	石核	3.5	1.9	0.4	2.1	サヌカイト	高基式。基部の一帯が折損。両面：施洗～浅形細部調査。
43	27	E4	石核	2.9	2.4	0.5	2.6	サヌカイト	高基式。完形。両面：深形細部調査。
44	27	E4	石核	2.4	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	高基式。平甲式。先端部折損。両面：施洗～浅形細部調査。
45	27	E4	石核	2.3	1.7	0.3	1.1	サヌカイト	高基式。完形。骨面：施洗形細部調査。腹面：施洗～浅形細部調査。
46	27	E4	石核	2.3	2.2	0.4	1.9	サヌカイト	高基式。平甲式。先端部折損。骨面：施洗形細部調査。腹面：白色風化。
47	27	E4	石核	3.5	2.2	0.6	4.3	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～浅形細部調査。
48	27	E4	石核	3.3	1.3	0.3	1.8	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～浅形細部調査。
49	27	E4	石核	2.5	1.5	0.3	1.5	サヌカイト	高基式。側面の一部が折損。両面：施洗～浅形細部調査。生品か。
50	27	E4	打削石劍	3.8	2.3	0.6	9.6	サヌカイト	側面の一部が残存。理由：丸削り～施洗～浅形細部調査。
51	27	E4	石核未製品	2.5	2.0	0.4	1.9	サヌカイト	側面：一部に浅形細部調査。
52	27	E4	石核未製品	3.5	2.7	0.7	7.9	サヌカイト	側面：施洗形細部調査。
53	27	E4	打削石包丁	4.2	3.6	0.8	11.3	サヌカイト	一部欠損。抉りあり。刃部：新しい研磨面。
54	27	E4	打削石包丁	5.0	3.7	0.9	18.4	サヌカイト	一部欠損。背部：背面加工。刃部：研磨。
55	27	E4	削器	4.8	3.0	0.7	11.6	サヌカイト	一部欠損。背部：背面加工。
56	27	E4	削器	4.4	3.2	0.6	9.6	サヌカイト	一部折損。刃部：摩耗。
57	27	E4	削器	4.8	2.8	0.7	10.1	サヌカイト	一部折損。刃部：片面：施洗～浅形細部調査。
58	27	E4	削器	3.1	3.1	0.6	6.9	サヌカイト	側面折損。刃部：摩耗。
59	27	E4	削器	2.7	3.8	0.7	18.3	サヌカイト	側面折損。刃部：研磨。
60	27	E4	砾片刀片石斧	2.7	1.5	0.5	1.1	サヌカイト	側面の内側が研磨面。刃部：研磨。
61	27	E4	砾片刀片石斧	3.8	4.4	1.3	2.8	サヌカイト	側面研磨。刃部：刃部。
62	28	G2	石核	2.2	1.8	0.3	1.0	サヌカイト	高基式。切先折損。両面：施洗～深形細部調査。
63	28	G2	石核	2.6	1.4	0.3	1.0	サヌカイト	一部残存。骨面：背面加工。刃部：研磨。
64	28	G2	打削石包丁	9.9	3.4	0.9	60.2	サヌカイト	完形。2.5cm辺に抉りあり。背部：著しい背面加工。
65	28	G2	打削石包丁	6.4	3.2	0.8	20.0	サヌカイト	一部欠損。背部：背面加工。刃部：無い両面磨耗。摩耗。白色風化。
66	29	F3	石核	1.9	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	高基式。完形。骨面：施洗～浅形細部調査。腹面：浅形細部調査。
67	29	F3	石核	2.5	1.0	0.2	0.5	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～浅形細部調査。
68	29	F3	石核	2.4	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～浅形細部調査。
69	29	F3	石核	2.8	1.6	0.4	1.1	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～深形細部調査。
70	29	F3	石核	2.6	1.7	0.4	1.2	サヌカイト	高基式。完形。両面：深形細部調査。
71	29	F3	石核	2.8	1.6	0.3	1.2	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～深形細部調査。
72	29	F3	石核	2.5	1.2	0.3	1.2	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～深形細部調査。
73	29	F3	石核	2.5	1.5	0.3	1.3	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～深形細部調査。色斑：自然面残存。腹面：施洗細部調査。
74	29	F3	石核	5.8	1.1	0.3	1.6	サヌカイト	高基式。完形。両面：施洗～浅形細部調査。
75	29	F3	石核	3.6	1.1	0.4	1.8	サヌカイト	高基式。両面：施洗細部調査。
76	29	F3	石核	2.2	1.4	0.4	1.1	サヌカイト	高基式。切先折損。両面：施洗～浅形細部調査。
77	29	F3	石核	2.1	1.7	0.4	2.0	サヌカイト	一部折損。両面：施洗～浅形細部調査。理由：施洗細部調査。
78	29	F3	石核未製品	3.3	2.4	0.7	6.0	サヌカイト	未完成式。切先折損。両面：施洗～浅形細部調査。
79	29	F3	石核未製品	3.7	3.1	0.6	3.4	サヌカイト	未完成式。切先折損。両面：施洗～浅形細部調査。
80	29	F3	石核	4.2	1.2	0.5	2.1	サヌカイト	1期。先端部折損。両面：施洗～浅形細部調査。
81	29	F3	石核	4.1	0.9	0.4	3.1	サヌカイト	高基式。先端部折損。両面：施洗～浅形細部調査。
82	29	F3	石核	4.8	2.6	0.7	3.8	サヌカイト	高基式。先端部折損。丂面：施洗～浅形細部調査。
83	29	F3	石核	3.4	1.5	0.4	1.7	サヌカイト	高基式。先端部折損。丂面：施洗～浅形細部調査。

石器 観察表(2)

規 格 番 号	排 番 号	地 区	器種	法量(cm)			重 量 (g)	石材	備考
				長 さ	幅	厚 さ			
84	29	F3	打製石削	12.4	3.7	1.0	22.2	サヌカイト	先端部と基部を折れ、両面：浅形細部調査。
85	29	F3	所器	4.1	2.6	0.7	8.6	サヌカイト	背面：自然面を大きく残す。刃部：両面浅形細部調査。
86	29	F3	所器	3.7	4.6	0.6	10.5	サヌカイト	両面細部調査。背面：自然面を多く残す。刃部：両面浅形細部調査。
87	29	F3	所器	4.4	2.9	0.8	16.1	サヌカイト	背面：自然面を多く残す。刃部：両面浅形細部調査。
88	29	F3	所器	2.9	2.8	0.6	5.2	サヌカイト	背面：自然面を多く残す。刃部：無加工。
89	29	F3	所器	4.4	4.3	0.9	19.5	サヌカイト	背面：自然面を多く残す。刃部：無加工。表面：白色風化。
90	29	F3	打製石包丁?	7.8	3.7	1.1	35.6	サヌカイト	先端：背面部：刃部：無加工。刃部：無い・両面調査。一面に自然面残存。
91	29	F3	打製石包丁	9.9	4.3	1.0	60.6	サヌカイト	先端：背面部：刃部：無加工。刃部：無い・両面調査。一面に自然面残存。
92	29	F3 - F4	磨製石包丁	14.2	5.5	1.1	124.4	流紋岩	敲打痕あり。
93	30	F4	石削	1.5	1.0	0.3	0.5	サヌカイト	先端部折れ、両面：浅形細部調査。
94	30	F4	石削	1.6	1.0	0.3	0.5	サヌカイト	高部折れ、背面：浅形～深形細部調査。
95	30	F4	石削	2.1	1.2	0.4	0.5	サヌカイト	先端部折れ、背面：浅形～深形細部調査。
96	30	F4	石削	2.1	1.3	0.5	0.5	サヌカイト	先端部折れ、背面：浅形～深形細部調査。
97	30	F4	石削	2.3	1.6	0.5	0.6	サヌカイト	先端部折れ、背面：浅形～深形細部調査。
98	30	F4	石削	2.6	1.6	0.6	1.1	サヌカイト	先端部折れ、基部の一部欠損。背面：浅形細部調査。
99	30	F4	石削	2.9	1.8	0.4	2.2	サヌカイト	先端部折れ、背面：浅形～深形細部調査。
100	30	F4	石削	1.6	1.6	0.3	0.6	サヌカイト	先端部折れ、両面：浅形細部調査。
101	30	F4	石削	1.9	2.1	0.6	1.3	サヌカイト	先端部折れ、両面：浅形～深形細部調査。
102	30	F4	石削	3.1	1.9	0.4	1.4	サヌカイト	先端部、基部の一部折れ。両面：浅形細部調査。
103	30	F4	石削	3.2	1.5	0.4	1.0	サヌカイト	先端部、基部の一部折れ。両面：浅形～深形細部調査。
104	30	F4	石削	3.0	1.8	0.3	1.4	サヌカイト	先端部、空部。両面：浅形細部調査。
105	30	F4	石削	3.3	2.4	0.4	1.9	サヌカイト	先端部、空部。両面：棒状～浅形細部調査。
106	30	F4	石削	3.0	2.2	0.5	1.3	サヌカイト	先端部、空部の一部折れ。両面：浅形～深形細部調査。
107	30	F4	石削	2.2	1.6	0.4	1.0	サヌカイト	先端部、空部。両面：浅形細部調査。
108	30	F4	石削	2.0	1.7	0.5	0.8	サヌカイト	先端部折れ。両面：浅形細部調査。
109	30	F4	石削	2.7	1.6	0.5	1.0	サヌカイト	先端部折れ。両面：浅形細部調査。
110	30	F4	石削	3.1	1.7	0.6	1.9	サヌカイト	先端部、基部の一部折れ。両面：浅形～深形細部調査。
111	30	F4	石削	3.4	1.5	0.5	2.2	サヌカイト	先端部、空部。背面：浅形細部調査。腹面：浅形～深形細部調査。
112	30	F4	石削	1.5	0.8	0.3	0.1	サヌカイト	先端部、基部の一部折れ。両面：浅形細部調査。
113	30	F4	石削	2.6	1.0	0.3	0.6	サヌカイト	先端部、空部。両面：浅形細部調査。
114	30	F4	石削	2.2	1.0	0.3	0.9	サヌカイト	先端部、空部。両面：浅形細部調査。
115	30	F4	石削	3.1	1.3	0.4	1.4	サヌカイト	先端部、空部。先端折れ。背面：深形細部調査。腹面：複数細部調査。
116	30	F4	石削	2.1	1.1	0.3	0.7	サヌカイト	先端部、空部。背面：浅形細部調査。腹面：深形細部調査。
117	30	F4	石削	2.3	1.4	0.3	1.0	サヌカイト	先端部、空部。背面：浅形細部調査。腹面：深形細部調査。
118	30	F4	石削	3.1	1.0	0.3	0.9	サヌカイト	先端部、空部。両面：浅形～深形細部調査。
119	30	F4	石削	3.8	1.5	0.4	2.3	サヌカイト	先端部折れ。両面：浅形細部調査。
120	30	F4	石削木製品	3.1	2.0	0.5	3.1	サヌカイト	先端部折れ。両面：浅形細部調査。
121	30	F4	石削木製品	3.0	1.9	0.3	1.5	サヌカイト	先端部折れ。背面：自然面を多く残す。
122	30	F4	石削木製品	3.0	1.7	0.5	2.3	サヌカイト	背面：浅形細部調査。腹面：自然面～深形細部調査。
123	30	F4	大頭石斧	4.2	1.6	0.6	5.6	サヌカイト	圓盤部：側面：浅形細部調査。全体に自然面残存。白色風化。
124	30	F4	打製石削	3.0	2.2	0.7	5.0	サヌカイト	側面の存在感。両面：浅形細部調査。
125	30	F4	石削	4.2	1.2	0.5	1.9	サヌカイト	先端部折れ。両面：浅形細部調査。
126	30	F4	石削	4.1	1.8	0.7	3.3	サヌカイト	先端部折れ折損。両面：一部に浅形細部調査。
127	30	F4	石削	4.0	1.0	0.6	1.9	サヌカイト	圓盤部、先端部折れ折損。両面：浅形細部調査。
128	30	F4	石削	4.5	4.3	0.6	9.5	サヌカイト	先端部、空部。両面：浅形細部調査。刃部、背面両面：やや研磨面。二面バナナあり。
129	30	F4	所器	4.9	3.3	0.8	6.8	サヌカイト	一部折損。刃部、両面：浅形細部調査。腹面：複数細部調査。
130	30	F4	所器	4.5	5.6	0.8	13.3	サヌカイト	一部折損。両面：棒状～深形細部調査。腹面：複数刃部：摩擦。
131	30	F4	所器	4.9	2.9	0.8	12.7	サヌカイト	一部折損。両面：背面部：複数加工。刃部：粗い・両面調査。苦しく研磨。
132	30	F4	所器	5.2	2.7	0.8	15.6	サヌカイト	一部折損。刃部、両面：浅形細部調査。腹面：複数刃部：摩擦。
133	30	F4	所器	5.8	5.7	1.5	20.2	サヌカイト	一部折損。刃部、両面：浅形細部調査。腹面：複数刃部：摩擦。
134	31	F4	石削	8.3	3.7	0.9	26.7	サヌカイト	先端部、背面：自然面研磨。刃部：片面：浅形細部調査。
135	31	F4	打製石包丁	8.3	3.9	0.9	33.4	サヌカイト	刃部：背面部：複数加工。刃部：摩擦。背面：自然面研磨。
136	31	F4	打製石包丁	5.8	4.3	1.0	21.6	サヌカイト	一部折損。背部：複数加工。刃部：無い・両面調査。腹面：複数細部調査。
137	31	F4	打製石包丁	4.9	4.2	1.1	22.4	サヌカイト	一部折損。背部：複数加工。刃部：片面：浅形細部調査。腹面：複数刃部：摩擦。
138	31	F4	打製石包丁	5.4	3.5	0.8	20.2	サヌカイト	片面：深形細部調査。
139	31	F4	R.F.	5.9	3.0	0.7	13.5	サヌカイト	自然面研磨。側面：長脚片状素材。片面過度に微細研磨振り。
140	31	F4	R.F.	7.3	6.6	1.1	54.3	サヌカイト	一面に：次加工が確認できる。一面以自然面で構成。
141	31	F4	礫片	5.0	4.2	0.7	18.3	紅色シアン片岩	薄暗然。
142	31	F4	大頭石斧	6.6	5.8	4.0	76.6	輝緑岩	一部研磨。
143	31	F4	打製石削	10.8	5.7	2.8	244.6	輝緑岩	片面：深形細部調査。
144	31	F4	所器	8.5	5.6	4.4	300.3	輝緑岩	一部欠損。刃部：研磨。
145	31	F4	所器	8.5	5.6	4.4	300.3	輝緑岩	一部欠損。刃部：研磨。
146	31	F4	石斧?	6.6	6.7	4.2	517.8	安山岩	打製振り。
147	32	G3	石削	1.5	1.6	0.3	0.8	サヌカイト	先端部折れ。両面：浅形細部調査。
148	32	G3	石削	2.0	1.5	0.4	0.9	サヌカイト	先端部、空部。背面：深形細部調査。
149	32	G3	石削	2.4	2.0	0.5	1.4	サヌカイト	先端部、空部。側面：無い・複数加工。刃部：粗い・両面調査。苦しく研磨。
150	32	G3	石削	2.5	1.5	0.4	1.0	サヌカイト	片面：深形細部調査。
151	32	G3	石削	1.9	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	先端部折れ。両面：深形細部調査。
152	32	G3	石削	2.4	1.9	0.3	1.3	サヌカイト	先端部、空部。両面：深形細部調査。
153	32	G3	石削	3.2	1.2	0.4	1.3	サヌカイト	片面：深形細部調査。
154	32	G3	石削木製品	2.8	1.4	0.3	1.3	サヌカイト	片面：深形細部調査。
155	32	G3	石削木製品	1.8	2.6	0.4	1.3	サヌカイト	背面：自然面研磨。
156	32	G3	石削木製品	1.9	0.9	0.4	2.4	サヌカイト	背面：自然面研磨。
157	32	G3	石削木製品	1.8	0.8	0.3	1.5	サヌカイト	背面：自然面研磨。
158	32	G3	石削木製品	3.6	2.1	0.6	3.3	サヌカイト	片面：深形細部調査。
159	32	G3	石削	8.6	5.7	0.7	7.1	サヌカイト	刃部：背面部：一部に複数細部調査。背面：自然面残存。
160	32	G3	石削	3.0	2.2	0.7	2.7	サヌカイト	刃部：研磨。背面：一面に磨り込み。
161	32	G3	石削	2.9	0.9	0.4	1.2	サヌカイト	刃部：部分折れ。背面：一面に複数細部調査。自然面残存。
162	32	G3	石削	3.3	0.8	0.6	1.5	サヌカイト	刃部：一部折損。画面：一面に浅形細部調査。
163	32	G3	尖頭石斧	8.6	2.6	1.0	16.6	サヌカイト	先端部折れ。両面：浅形細部調査。
164	32	G3	打製石剣	3.0	2.4	0.7	9.0	サヌカイト	先端部折れ。背面：複数刃部：刃部加工。
165	32	G3	所器	3.3	2.9	0.7	7.2	サヌカイト	一部折損。刃部：両面：浅形細部調査。やや研磨。
166	32	G3	所器	3.6	3.0	0.6	8.6	サヌカイト	刃部折損。刃部：背面部：複数刃部。
167	32	G3	礫片	3.6	1.5	0.6	3.8	サヌカイト	刃部折損。刃部：無い。

石器 観察表 (3)

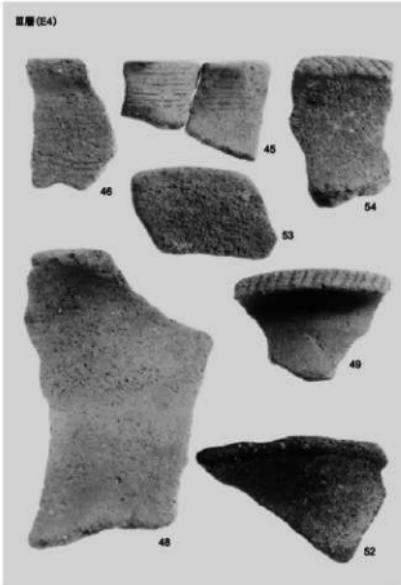
掲載番号	排団番号	地区	器種	法量 (cm)			重量 (g)	石材	備考
				長さ	幅	厚さ			
168	32	G3	石片	4.7	7.0	0.5	19.2	サヌカイト	背面：丸い底面もあり。背面：一辺に削痕あり。
169	32	G3	所置	5.8	5.5	0.9	サヌカイト	一面削鉋。背面：浅形細部調整。腹面：一面削鉋あり。	
170	32	G3	石片	7.2	5.7	1.0	48.9	霞緑岩	背面と側面、削痕あり。
32	-	磨き石?	6.0	4.5	1.0	1.0	サヌカイト	背面：丸い底面があり。	
172	33	G4	石片	2.6	1.4	0.5	0.8	サヌカイト	背面と側面、削痕あり。背面：改形～浅形細部調整。
173	33	G4	石片	2.9	1.3	0.3	0.6	サヌカイト	背面と側面、削痕あり。背面：浅形細部調整。
174	33	G4	石片	2.0	1.1	0.2	0.6	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
175	33	G4	石片	2.0	1.4	0.3	0.8	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
176	33	G4	石片	2.0	1.4	0.3	0.8	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
177	33	G4	石片	2.3	1.5	0.3	0.7	サヌカイト	背面と底面の一部を折鉋。背面：浅形～深形細部調整。白色風化。
178	33	G4	石片	2.5	1.6	0.3	0.7	サヌカイト	背面と底面の一部を折鉋。背面：浅形～深形細部調整。
179	33	G4	石片	2.7	1.3	0.4	1.2	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形～深形細部調整。
180	33	G4	石片	2.9	1.6	0.4	1.3	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形～深形細部調整。
181	33	G4	石片	3.0	1.4	0.5	1.4	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。腹面：浅形細部調整。
182	33	G4	石片	2.6	2.0	0.3	0.8	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。側縁部：崩壊状。
183	33	G4	石片	2.0	2.1	0.3	0.9	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
184	33	G4	石片	2.7	2.0	0.4	1.4	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
185	33	G4	石片	3.5	2.0	0.5	2.2	サヌカイト	背面と底面の一部自然欠落。背面：浅形細部調整。
186	33	G4	石片	3.6	2.5	0.5	4.3	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
187	33	G4	石片	3.7	2.1	0.4	2.8	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
188	33	G4	石片	1.6	0.9	0.3	0.5	サヌカイト	白基1式。背面：浅形細部調整。
189	33	G4	石片	2.4	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	切り先・基部の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
190	33	G4	石片	3.1	1.6	0.3	2.0	サヌカイト	白基1式。背面：浅形細部調整。側面：先端付近削痕あり。
191	33	G4	石片	1.6	1.6	0.3	1.2	サヌカイト	白基1式。背面：浅形細部調整。側面：一部に自然削痕。
192	33	G4	石片	5.2	1.4	0.5	3.4	サヌカイト	白基1式。切先の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
193	33	G4	石片	2.3	1.1	0.3	0.8	サヌカイト	白基1式。切先の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
194	33	G4	石片	2.1	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	白基1式。切先の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
195	33	G4	石片	1.8	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	白基1式。切先の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
196	33	G4	石片	2.3	1.7	0.3	0.9	サヌカイト	白基1式。背面：浅形細部調整。
197	33	G4	石片	3.2	1.6	0.5	2.8	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
198	33	G4	打製石包丁	5.4	4.0	0.9	28.6	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
199	33	G4	削鉋	3.2	3.1	0.6	6.0	サヌカイト	一部のみ存在。背面：背面欠損。刃部：摩耗。白色風化。
200	33	G4	所置	8.0	3.6	0.6	12.8	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。刃部：背面浅形細部調整。摩耗。
201	33	G4	削鉋	4.1	2.9	0.8	6.5	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。刃部：背面浅形細部調整。摩耗。
202	33	G4	打製石削	4.1	3.3	1.4	16.8	サヌカイト	一部のみ存在。側面：浅形細部調整。刃部加工。
203	33	G4	不明	2.4	2.8	2.4	19.4	砂鉄	背面：削痕あり。
204	34	-	石片	2.7	1.7	0.4	1.2	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。
205	34	-	石片	2.1	1.4	0.3	1.3	サヌカイト	切り先・基部欠損。背面：背面～浅形細部調整。
206	34	-	石片	3.0	2.0	0.5	3.1	サヌカイト	切り先・基部欠損。背面：背面～浅形細部調整。
207	34	-	打製石包丁	4.5	4.3	0.7	16.3	サヌカイト	切り先・刃部欠損。背面：背面～浅形細部調整。
208	34	-	所置	6.7	2.4	0.6	15.3	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：背面～浅形細部調整。
209	34	-	所置	6.1	3.2	0.8	20.4	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。刃部：背面浅形細部調整。摩耗。
210	34	-	所置	5.4	5.3	1.1	40.4	サヌカイト	完全。刃部：背面と底面の一部削鉋。刃部：背面浅形細部調整。摩耗。
211	35	F2	石片	2.0	1.3	0.2	0.6	サヌカイト	平面式。完全。背面：浅形～深形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。
212	35	F2	石片	2.7	1.7	0.3	1.0	サヌカイト	平面式。完全。背面：浅形～深形細部調整。
213	35	F2	石片	2.9	2.1	0.4	1.6	サヌカイト	平面式。完全。背面の一部削鉋。背面：浅形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。
214	35	F2	所置	4.8	2.6	0.8	16.4	サヌカイト	平面式。完全。刃部：背面浅形細部調整。白色風化。
215	35	F2	所置	5.0	2.6	0.8	16.4	サヌカイト	平面式。完全。刃部：背面浅形細部調整。白色風化。
216	35	F2	削鉋	6.8	4.3	0.8	29.0	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面刃部：背面～浅形細部調整。腹面刃部：一部に浅形細部調整。
217	35	F2	削鉋	8.4	5.4	0.7	25.3	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：背面～浅形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。
218	35	F2	削鉋	4.8	4.3	0.8	18.8	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。背面：背面～浅形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。
219	35	F2	石片?	4.3	4.3	3.7	59.6	砂岩	一部のみ存在。背面：背面～浅形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。
220	35	F2	磨削石斧	4.7	3.6	3.0	38.7	砂岩?	一部のみ存在。背面：背面～浅形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。
221	36	G5	所置	3.5	3.2	0.6	9.5	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。刃部：背面～浅形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。
222	因版13	F4	橢形石節	3.7	3.6	1.2	3.4	サヌカイト	背面と底面の一部削鉋。刃部：背面～浅形細部調整。腹面：複数部：崩壊状。

写真図版

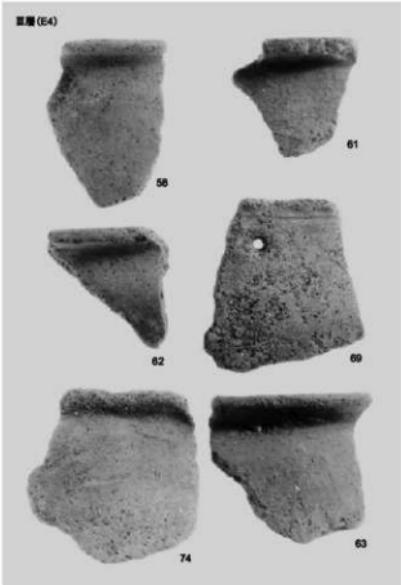


SK61226 出土土器

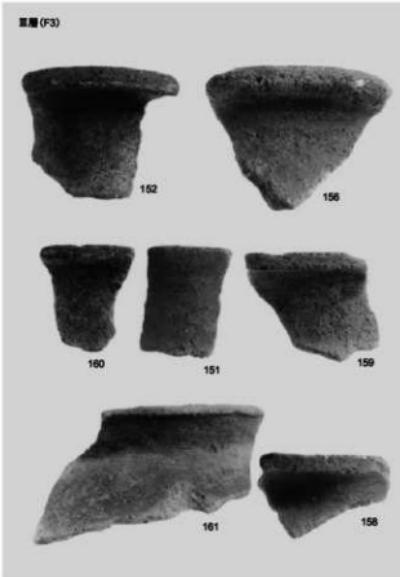
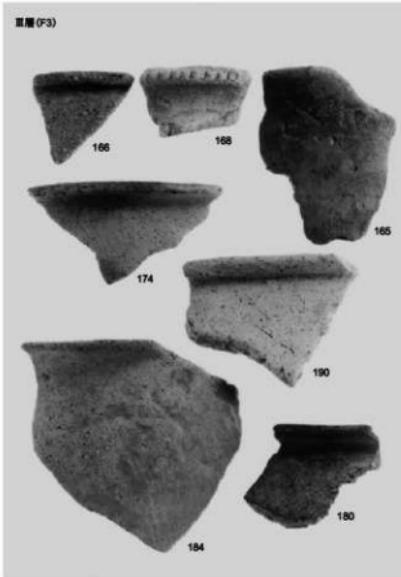
SK61226 出土土器



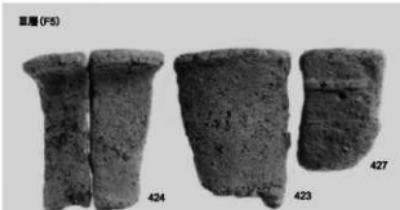
E 4 区 出土土器



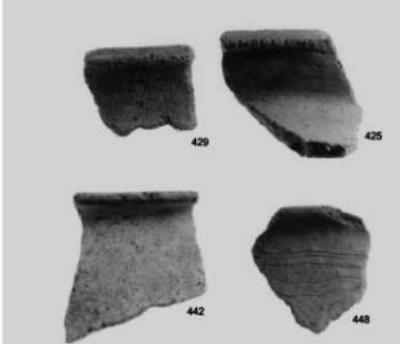
E 4 区 出土土器



F 3 区 出土土器



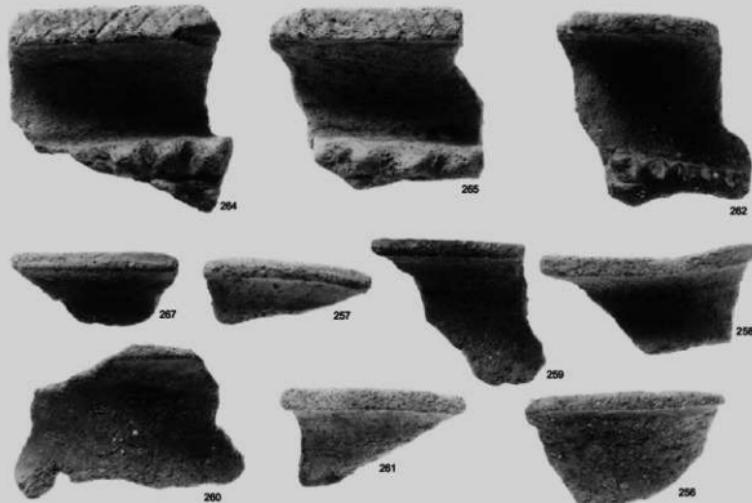
F 4 区 出土土器



F 5 区 出土土器

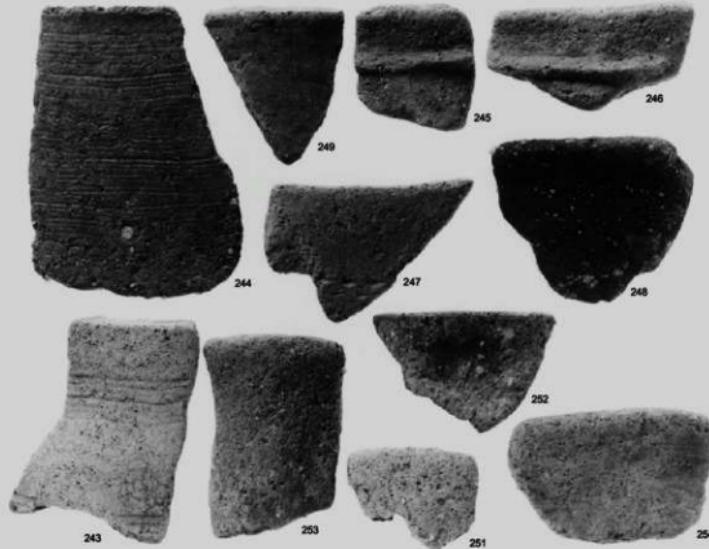
F 5 区 出土土器

Ⅲ層(F4)



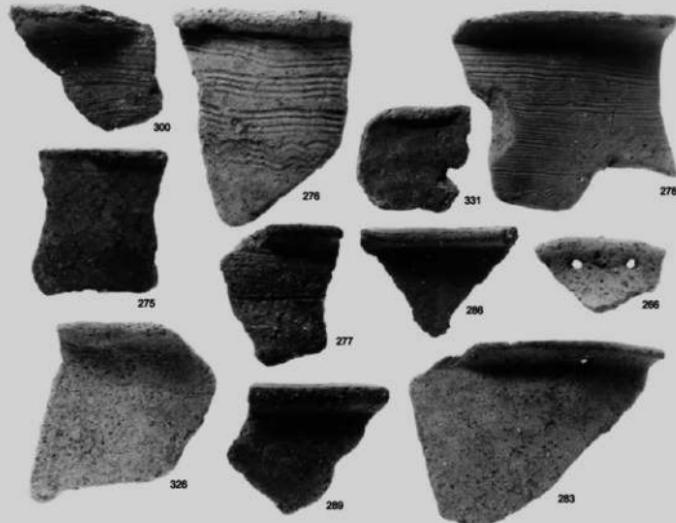
F 4 区 出土土器

Ⅲ層(F4)



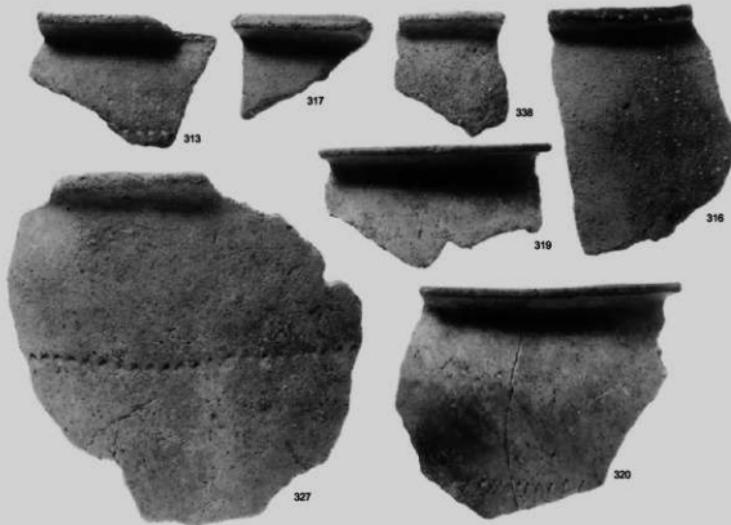
F 4 区 出土土器

Ⅲ層(F4)



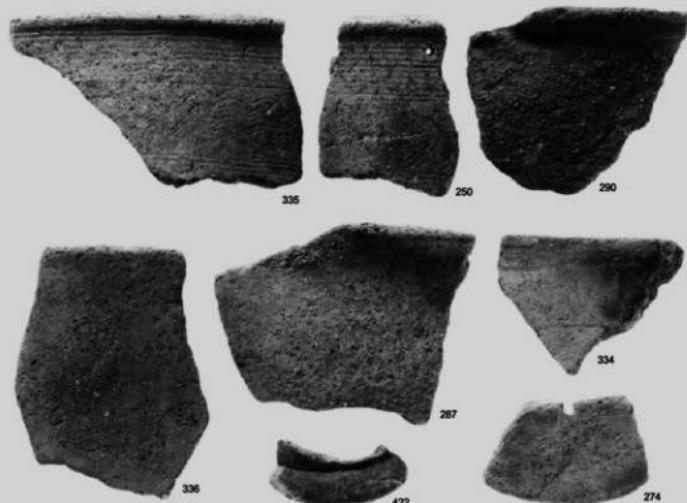
F 4 区 出土土器

Ⅲ層(F4)



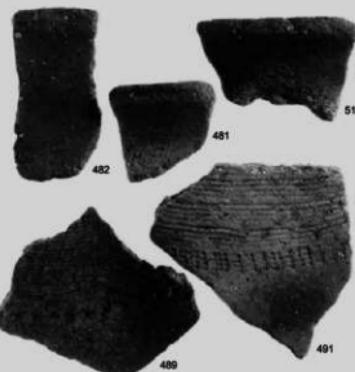
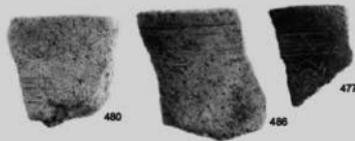
F 4 区 出土土器

三層(F4)



F 4 区 出土土器

三層(G3)



三層(G3)



G 3 区 出土土器

三層(G4)



G 3 区 出土土器

G 4 区 出土土器

Ⅲ層 (G4)

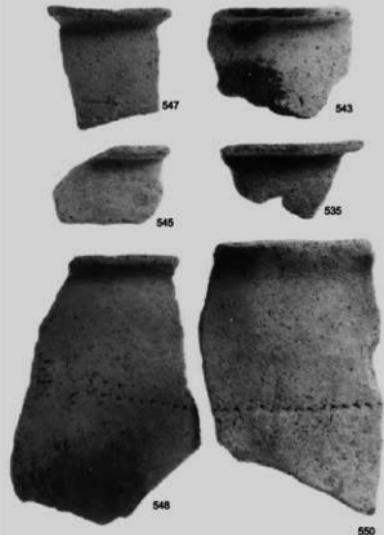


Ⅲ層 (G4)



G 4 区 出土土器

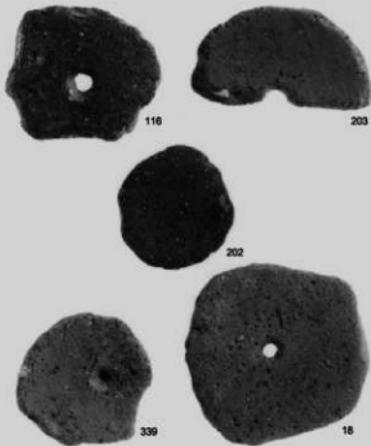
Ⅲ層 (G4)



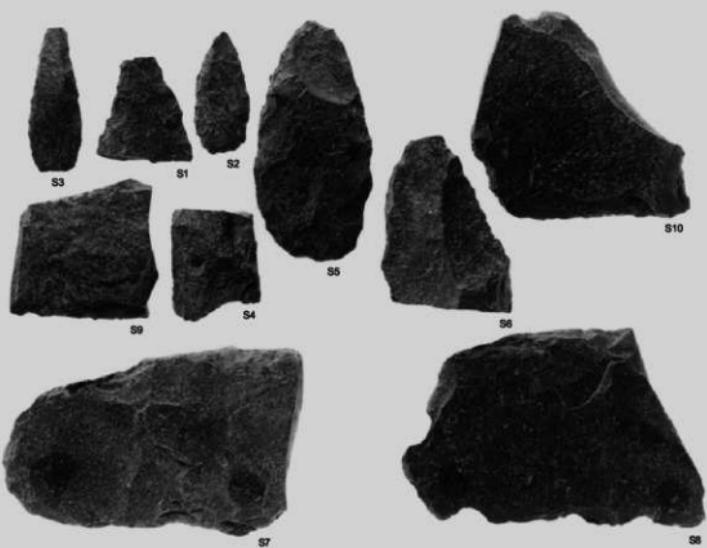
G 4 区 出土土器

G 4 区 出土土器

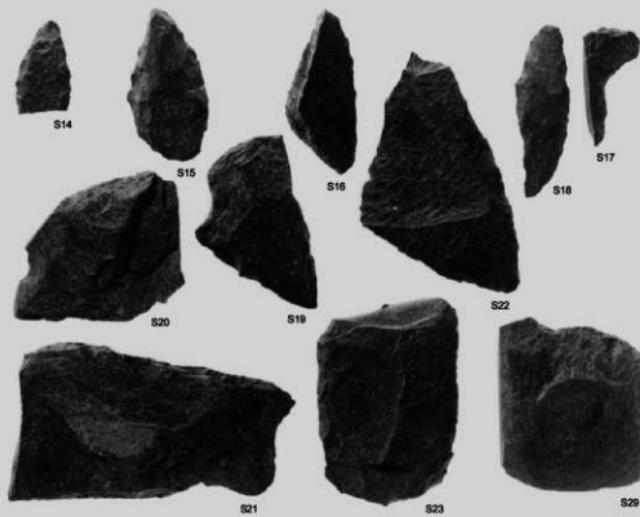
Ⅲ層



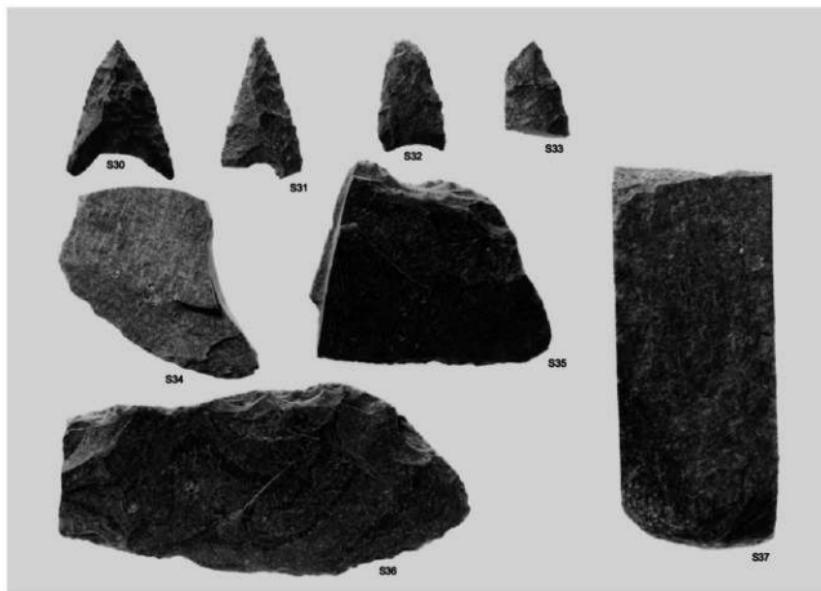
Ⅲ層 出土土製品



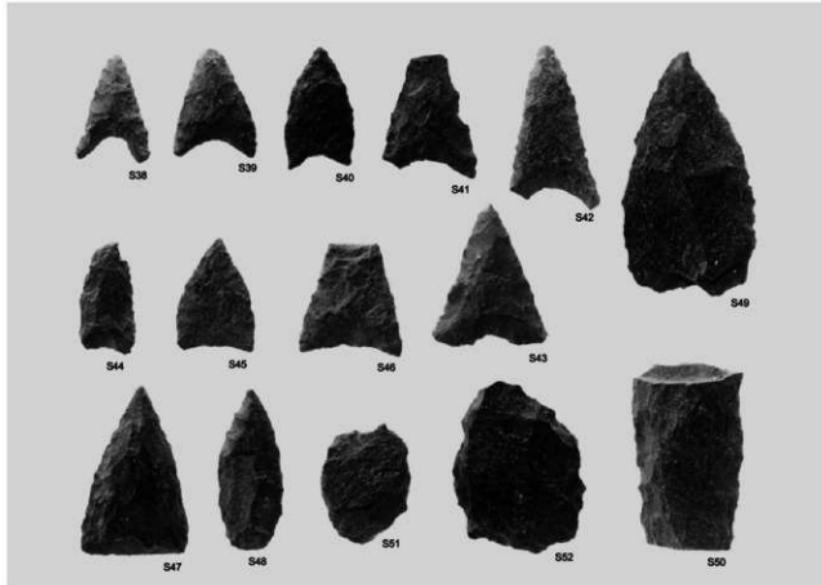
E 2区 出土石器①



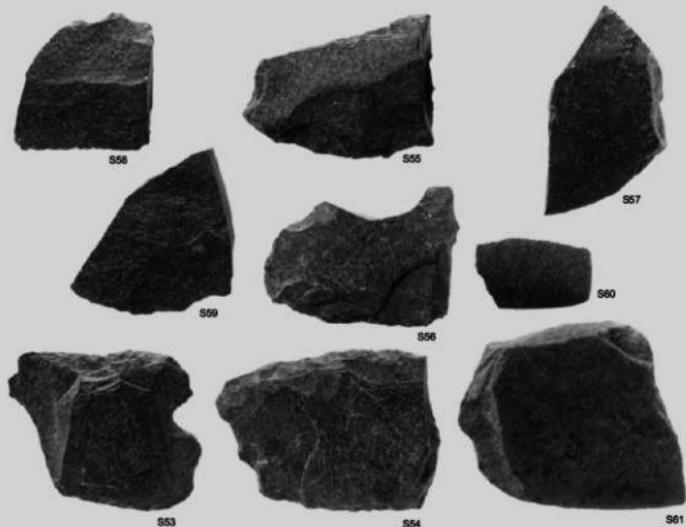
E 3区 出土石器



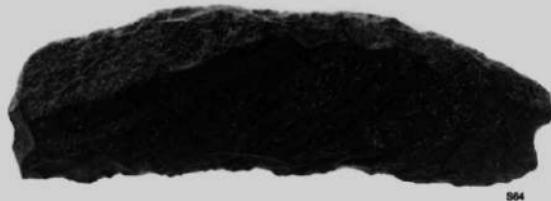
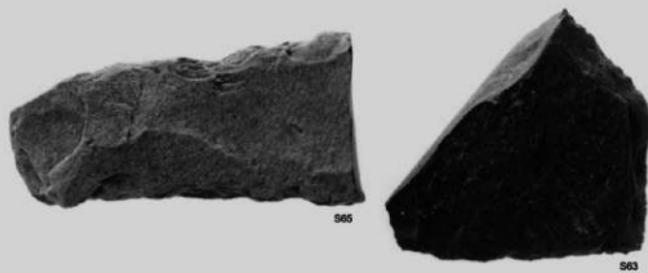
F 5 区 出土石器



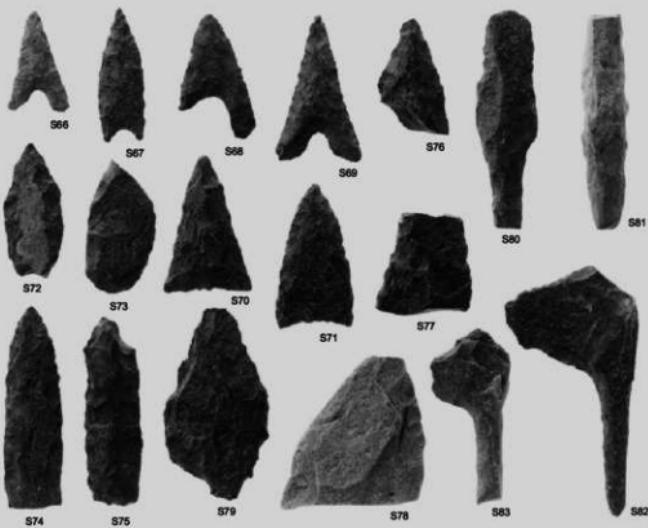
E 4 区 出土石器



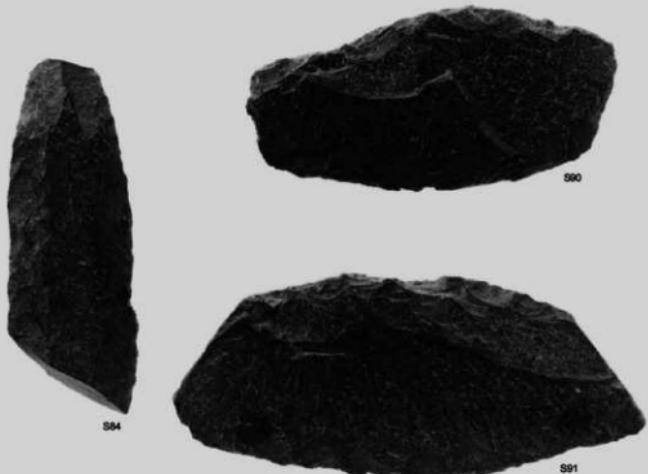
E 4 区 出土石器



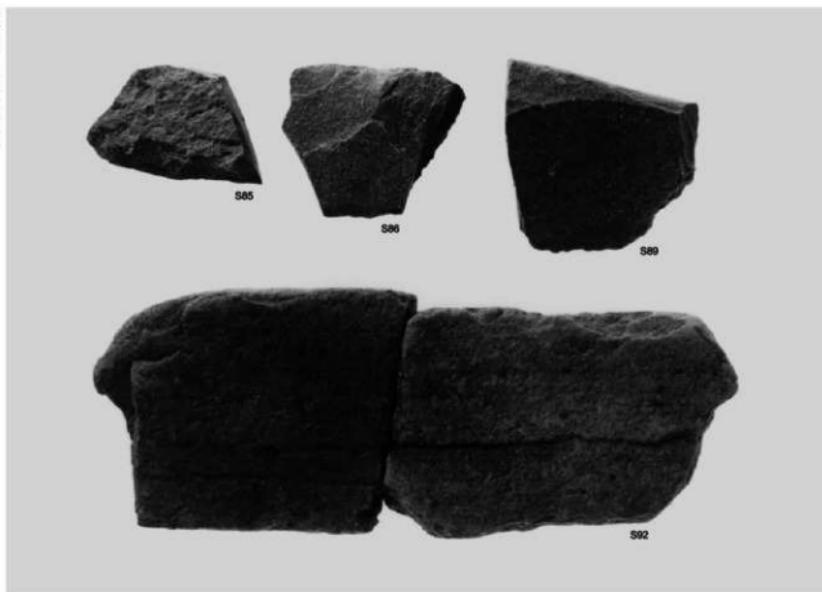
G 2 区 出土石器



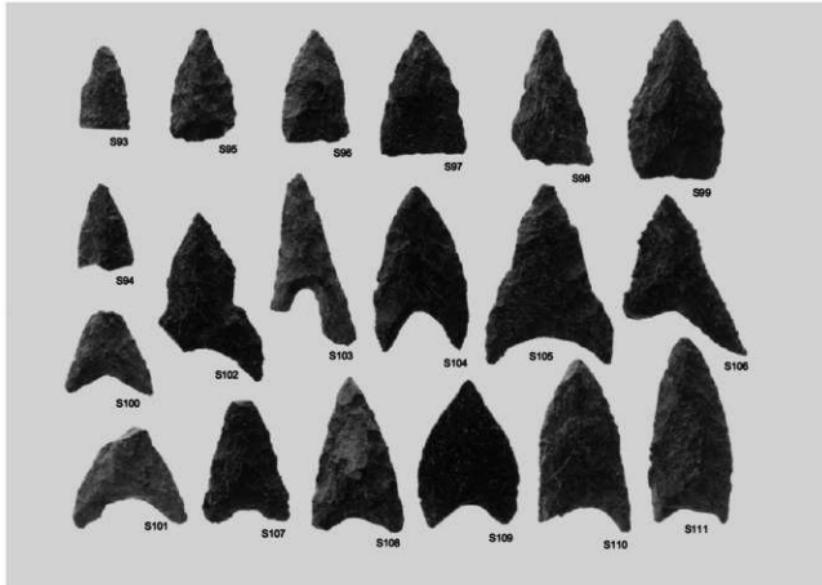
F 3区 出土石器①



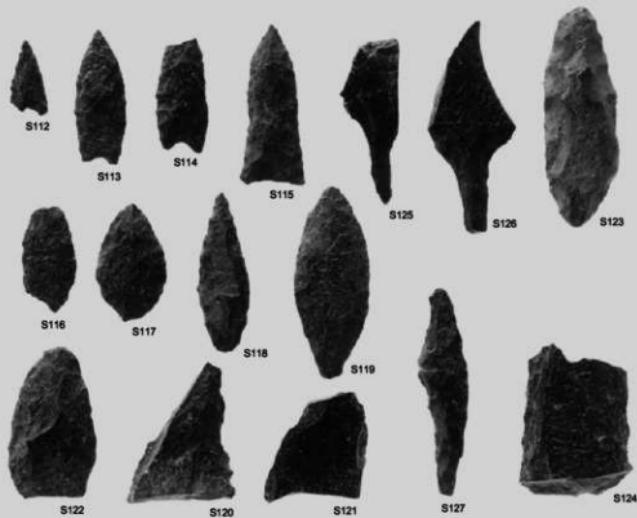
F 3区 出土石器②



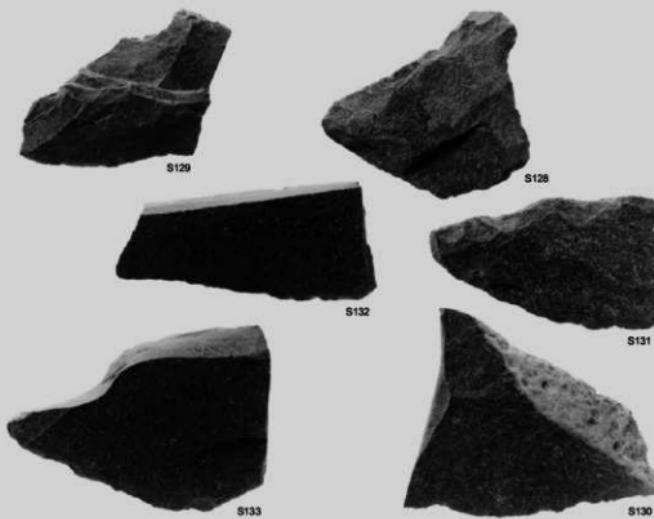
F 3 区 出土石器③



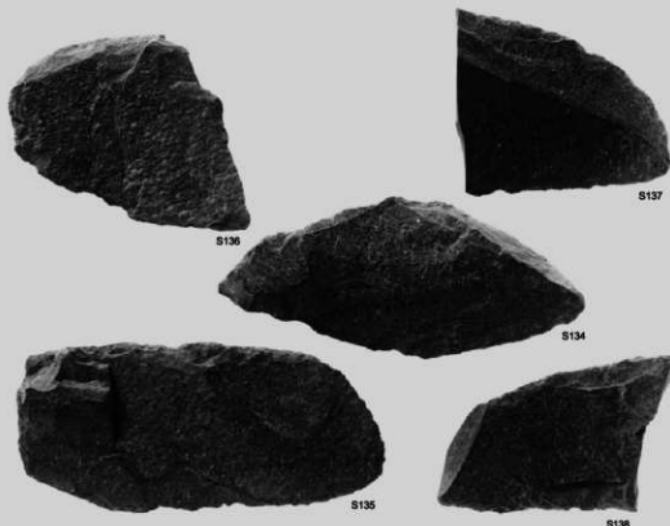
F 4 区 出土石器①



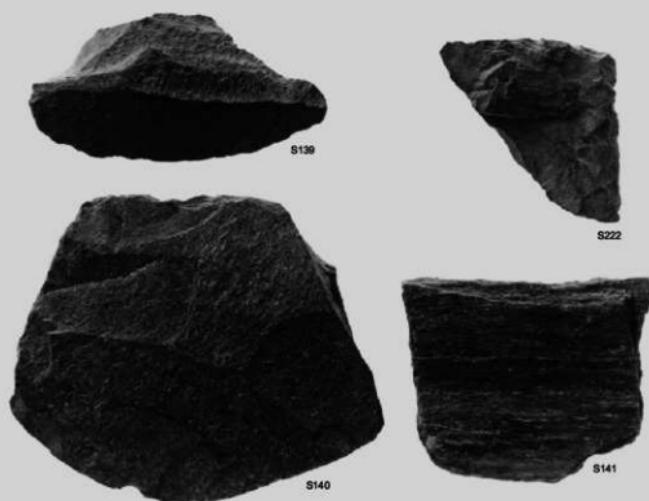
F 4区 出土石器②



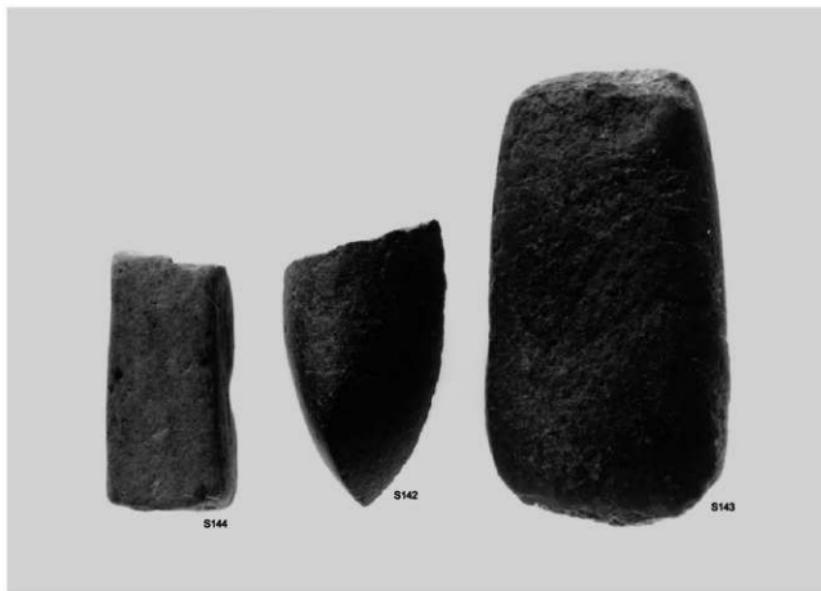
F 4区 出土石器③



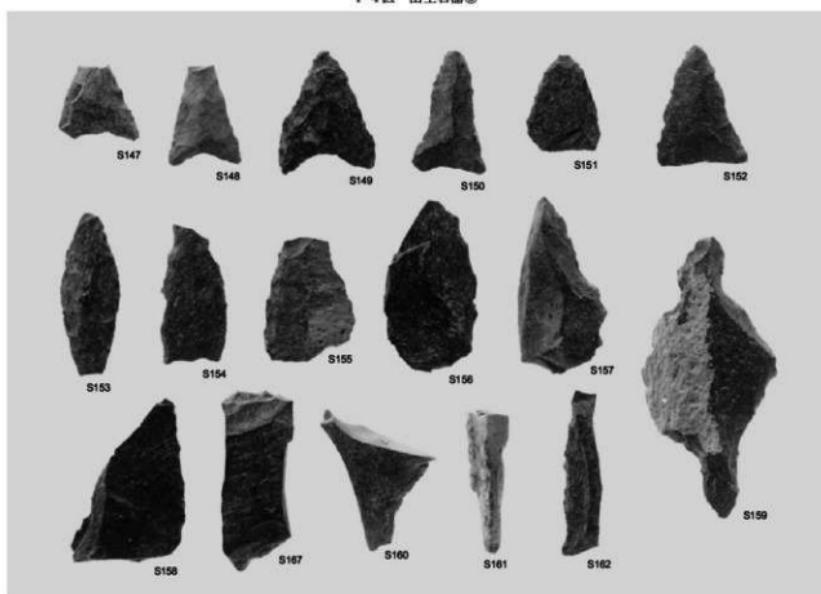
F 4区 出土石器④



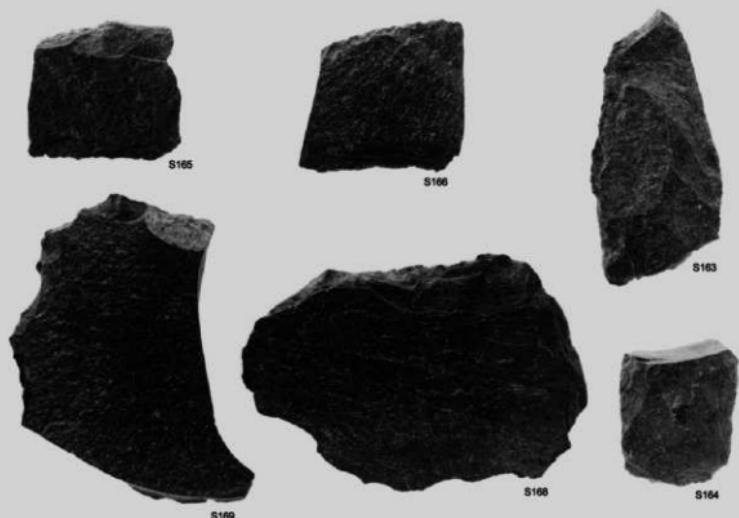
F 4区 出土石器⑤



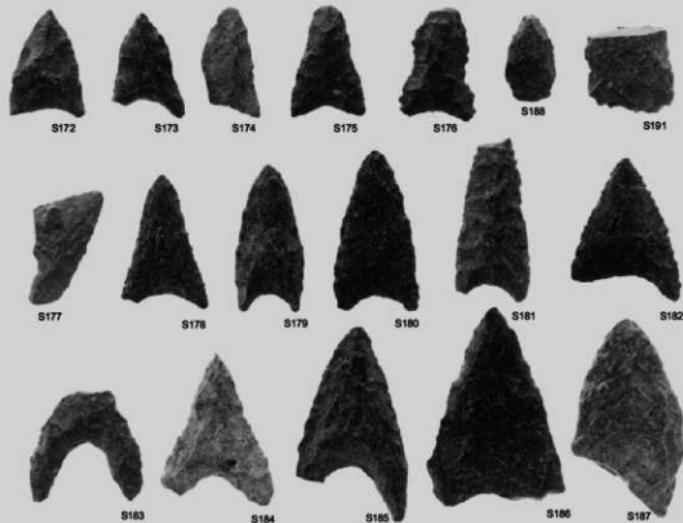
F 4区 出土石器④



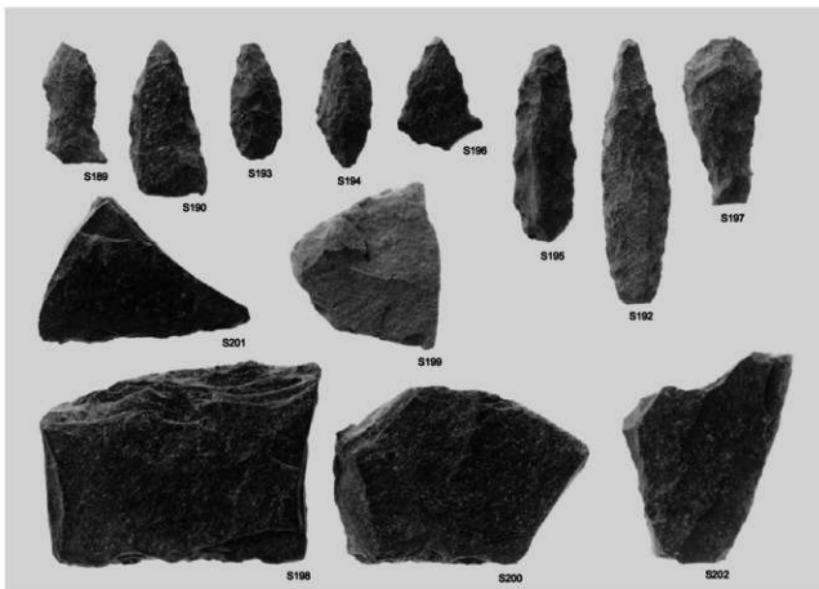
G 3区 出土石器①



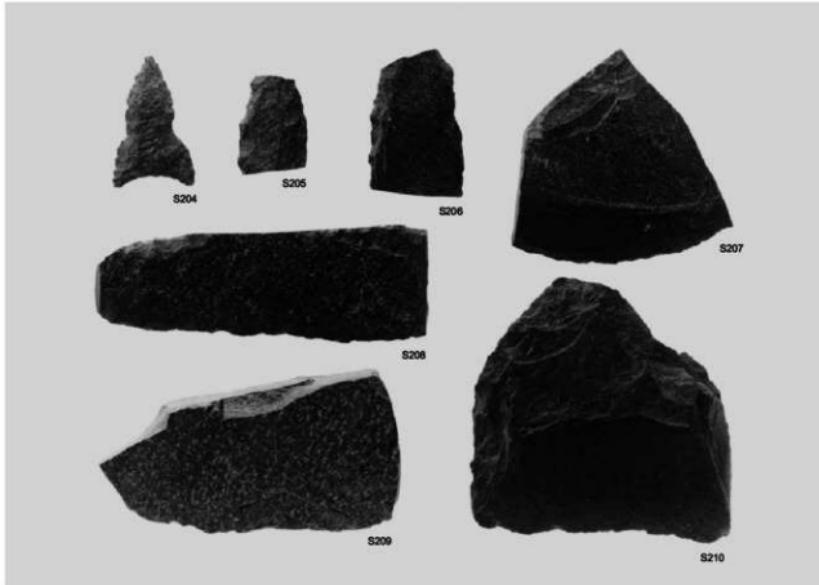
G 3区 出土石器②



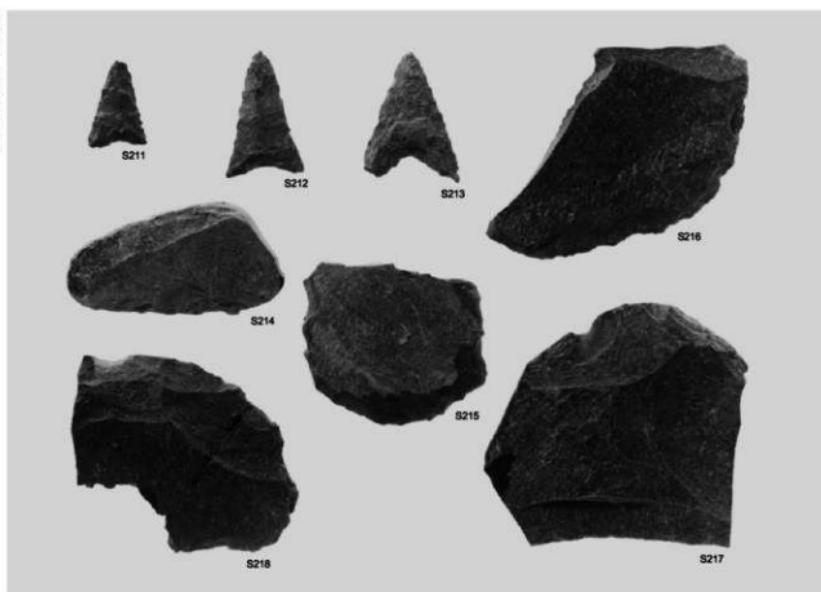
G 4区 出土石器①



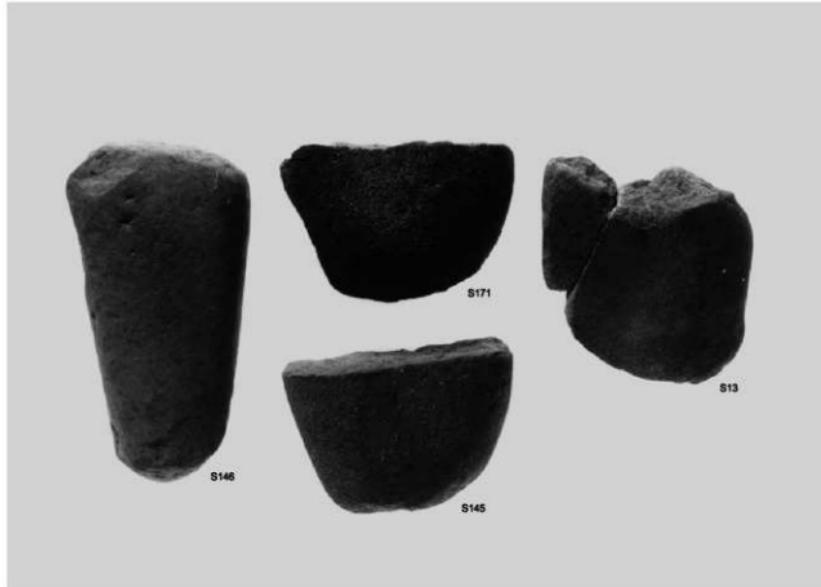
G 4 区 出土石器②



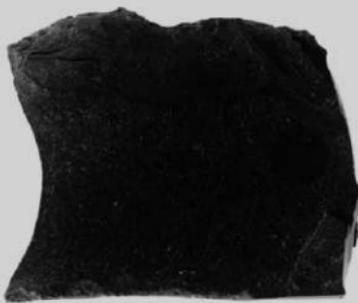
III層 出土石器



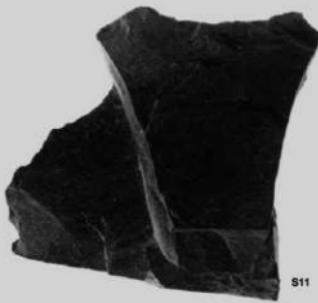
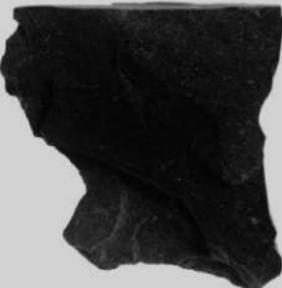
F 2区 出土石器①



出土石器



E 2 区 出土石器②



E 2 区 出土石器③



S203

G 4 区 出土石器③



G 3 区 出土石器③



S220

F 2 区 出土石器②

報告書抄録

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

第10冊

奥の坊遺跡群X

(奥の坊遺跡VI区 遺物包含層出土遺物編)

2012年3月30日

編集 高松市教育委員会
高松市番町一丁目8番15号
発行 高松市教育委員会
印刷 株式会社 中央印刷所

